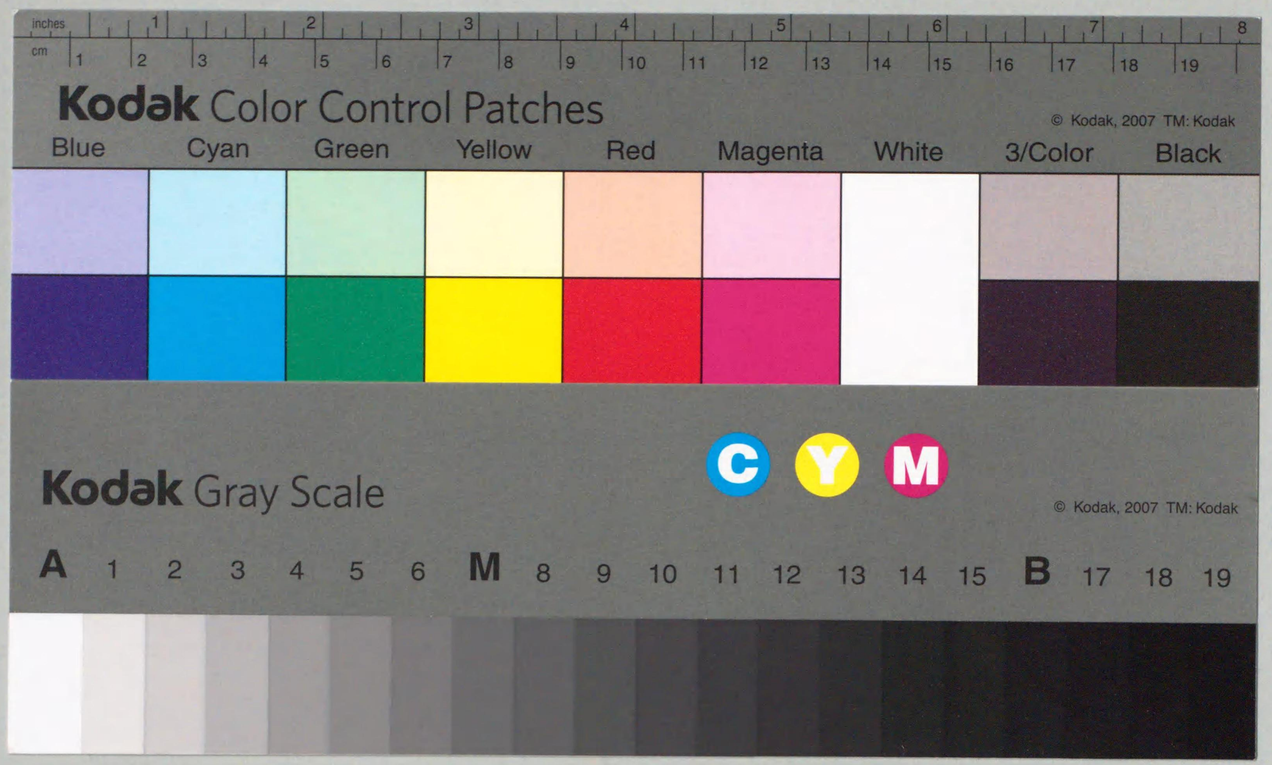


025.8
K0548k
0001808

國書刊行會出版目錄

日本古刻書史

全

日本古刻書史

國書刊行會出版目錄

全

029
12a
025.8
K0548B
III

12808

國書刊行會出版圖書目錄

例言

一、本會に於て選擇し、校訂して出版したる圖書七十一册一帖、七百六十四種二千八百三十四卷を各種の目的に依りて搜索するに當り、成るべく便宜の多からんことを慮り、總目錄、書名目錄、著者名目錄、分類目錄の四部に立てゝ、之を整理し排列せり。されどなほ遺漏誤謬等の無きを保しがたし。覽者希くは其意を諒せられんことを。

一、總目錄は刊行の七十一册一帖を大體に依りて記載せしものにて、書目の重複せるもの無し。

一、書名目錄は前述の七百六十四種の書目を五十音順に排列して、其書の著者卷數及び其書を載せたる册數等を知る爲にしたる

ものにて、もし一書にて別名あるもの等は其別名等をも重出せしめたり。其例を擧ぐれば舊事紀玄義を其一名神道書紀緣起よりも引くことを得、元祿七年賀茂祭記は賀茂祭記よりも石川忠總家臣大坂陣覺書は大坂陣覺書よりも引くを得べし。

一著者名目錄は七百六十四種の圖書の著作者の名に依りて其著作を知るべく整理したるものにて、一書にして二人以上の合著に成りしものは何れの著者名よりも引くことを得べし。例へば今井弘濟の下にも、安積覺の下にも舜水先生行實を擧げ瀨名貞雄よりも太田南畝よりも瀨田問答を索むるを得べし。但し古今要覽稿藩翰譜續編の編纂關係者の如きは省略せしもあり、宇治加賀掾山本土佐掾の如きは著作者にはあらざれどもなほ之を擧げ著者の詳ならざる書は之を除きて載せず。

一分類目錄は七百六十四種の圖書を其內容に依りて順序を立て

たるものにて其書の性質に依りては二箇所以上に重出せるもの少しとせず。例へば棚守房顯手記は續々群書類從史傳部に收めたれば國史の條にも載せ、嚴島神社に關する事を多く記したれば嚴島の條にも載せ、續南行雜錄のごときは春日興福寺、大和等の條に並に記したけり。これ從來世に行はるゝ分類目錄とはやゝ體例を異にする點あれどもなほ搜索の便宜の爲を思ひてなり。

一書名目錄著者名目錄並に分類目錄に於て各書の所屬編名及び冊數は之を略記せり。例へば續々三史傳とあるは、續々群書類從第三史傳部の略にして、新井五とあるは、新井白石全集第五の略なり。其他の編名皆初めの二字若くは一字を取りて略語とせり。近藤(近藤正齋全集)菅(菅政友全集)、伴(伴信友全集)、新群(新群書類從)、燕石(燕石十種)續燕(續燕石十種)の類是なり。

一本目錄は赤堀又次郎氏の考案によりて編成せり。茲に記して謝意を表す。

一附錄として本册に收めたる日本古刻書史は、本會か朝倉龜三氏に囑して新に編纂せしめたるものにて圖書刊行の源流、沿革を知るに最も便なるを以て公刊することゝせり。

明治四十二年三月

國書刊行會出版圖書目錄

目次

總目錄……一
書名目錄……二七
著者名目錄……五五
分類目錄……七七
附錄
日本古刻書史……一
第一期刊行顚末……一

本目錄ノウチ續々群書類從第五記錄部ニ屬スル

左ノ四種ヲ削除ス

南都衆徒入洛記一卷
文保三年記一卷
長祿二年記一卷
見聞雜記一卷

國書刊行會出版圖書總目錄

（明治四十二年二月調）

（イ）總目

○一、叢書（細目ハ下ニ擧グ）

續々群書類從十六冊本會編 原本三百六種、七百三十五卷

一神祇　五記錄　九地理　十三詩文
二史傳　六法制　十教育　十四歌文
三史傳　七法制　十一宗教　十五歌文
四史傳　八地理　十二宗教　十六雜

新群書類從十冊本會編 原本二百種、三百八十二卷

一演劇　三演劇　五歌曲古淨瑠璃　七書目　九歌曲金平本
二演劇　四演劇　六歌曲　八舞曲幸若　十狂歌

燕石十種三冊活東子（岩本左七）編 原本六十種、百十九卷

續燕石十種二冊本會編 原本四十種、五十八卷

○二、類書

古今要覽稿六冊屋代弘賢等撰 五百八十四卷（原本內閣幷所藏）（圖入）

一　神祇、姓氏、時令
二　地理、曆占、歲時、器財上
三　器財下、冠服、裝束、政事、雜藝
四　草木上（松、櫻、梅、椿、紅葉、其他）
五　草木下（竹、蘭、升麻、菊、油料、水草、其他）
六　人事、（放鷹其他）、病痾
　禽獸（杜鵑、鷹、馬、駱駝、鹿、羊、猪等）
　蟲介（龜、松虫、鈴虫、きりぐす、蝶等）
　魚介（堅魚、鮪、其他）
　飲食（餅、五辛）
　菜蔬（韮、うはぎ、春の七草等）
　雜（字體、人物、長人、居處、鵄尾、災異）

○三、全集（細目ハ下ニ擧グ）

新井白石全集六冊新井君美著、本會編 八十二種、百九十六卷
近藤正齋全集三冊近藤守重著、本會編 十四種、百十六卷
伴信友全集五冊伴信友著、本會編 四十一種、百二卷
菅政友全集一冊菅政友著 八種、二十卷

◎四、歷史

玉葉三十册藤原兼實著、一名玉海
六十六卷（源平時代記錄）（圖入）
高麗史三十册朝鮮鄭麟趾等撰
（高麗史一百三十九卷、八十册本）
（高麗太祖ヨリ恭讓王マデ）（我陽成天皇ヨリ後龜山
天皇時代マデ）

◎五、文學

夫木和歌抄幷索引二册藤原長清撰、僧契沖等校
索引ハ本會編、三十六卷永仁二年成
太平記一册神田本
二十六卷（原本神田男爵所藏）
平家物語一册長門本
二十卷（原本長門赤間宮所藏、國寶）
源注餘滴一册石川雅望著
五十四卷、附錄清石問答

◎六、隨筆

松屋筆記三册高田與清（原本東京帝國大學所藏）
百二十卷（內二十二卷缺）

◎七、筆蹟及圖畫

灌頂記一帖弘法大師眞筆寫眞
（原本高雄神護寺所藏、國寶）
集古十種四册松平樂翁侯撰
八十五卷

一　肖像、扁額、文房具、七福寶、牧溪玉澗八景、
　　小倉色紙
二　碑銘、鐘銘、銅器
三　甲冑
四　弓矢、旌旗、刀劍、馬具、樂器、印章

◎八、目錄

國書刊行會出版圖書目錄一册
附日本古刻書史朝倉龜三編

以上七十一册一帖

（ロ）細目

◎續々群書類從　十六册

◎第一册　神祇部

類聚神祇本源十五卷度會家行
元應二年成　（井上本）
豐葦原神風和記三卷僧慈遍
與國元年成　（井上本）
舊事本紀玄義五卷（神道書紀錄起）僧慈遍
元弘二年成（二六七八十缺）　（佐伯本）
瑚璉集二卷度會家行　（井上本）
神祇靈應記一卷僧春山　（鈴木本）
神皇系圖一卷聖德太子撰ト云フ　（眞福寺本）
神皇實錄一卷藤原顯人撰ト云フ
弘仁六年成　（佐伯本）
天口事書一卷（伊勢神宮ノコトヲ記ス）
本朝諸社一覽八卷坂內直賴
貞享二年成　（佐伯本）
神社便覽一卷白井宗因
寬文四年成　（黑川本）
二十二社略記一卷長島泓昌
元祿十二年成　（黑川本）
和歌兩神記一卷長島泓昌
（前書ノ附錄）　（黑川本）
皇太神宮殿舍考證一卷度會延經
（圖入）　（黑川本）
豐受皇太神宮殿舍考證一卷度會延經
（圖入）　（黑川本）
外宮神領目錄一卷鎌倉時代カ

內宮氏經日次記二卷荒木田氏經
（永享十三年、嘉吉二年、三年、文安五年、六年、寶德二年、三年、四年）　（佐伯本）
神宮祕傳問答一卷度會延貞
萬治三年成　（佐伯本）
賀茂注進雜記一卷加茂保可等
延寶九年成　（內閣本）
元祿七年賀茂祭記一卷野宮定基
一名賀茂祭再興記　（內閣本）
石上神宮御事抄一卷（物部光一傳本）　（黑川本）
月能桂二卷（日吉祭禮記）猿樹叟松順
貞享五年　（平田本）
東照宮大權現緣起一卷　（佐伯本）
出雲大社記一卷（千家正統傳本）　（佐伯本）
宇佐八幡宮緣起二卷（一名宇佐太神宮緣起
建武二年寫）　（黑川本）
三社託宣略抄一卷慶安三年成
陽復記二卷度會延佳
慶安中成（承應中覆覽アリシモノ）
土德編一卷吉川惟足
延寶七年成　（佐伯本）
未生土之傳一卷吉川惟足、八重垣翁伴部安案解
享保廿年成　（佐伯本）
神學承傳記一卷（視吾堂吉川惟足傳）　（佐伯本）
土津靈神正學記一卷跡部良顯
正德二年　（佐伯本）
（土津靈神ハ保科正之）
會津神社之訓詞一卷吉川惟足
寬文十一年成　（佐伯本）
神道生死之說一卷跡部光海（良顯）
寶永中成

病後手習一卷（八重垣翁伴部安元文三年成）（佐伯本）
八重垣大明神由祝詞、固碑（碑ハ秋野信妙）（佐伯本）
神道辨草一卷（源忠義享保八年成）（佐伯本）

◎第二冊　史傳部（一）

續皇年代略記一卷（小野高潔（後水尾天皇ヨリ光格（皇迄）（黑川本）
本朝歷代法皇外記一卷（僧元策附錄三種）（史料本）
貴胤碩臣出家標目一卷
貴胤執政幷諸名家入道雜髮目錄一卷
武將家落髮標目一卷
法皇外紀緇門鴻寶一卷（僧元策）
議奏歷一卷（延寶六年ヨリ弘化三年マデ）（史料本）
傳奏次第一卷（一名武家傳奏次第　慶長八年ヨリ寛政五年マデ）（史料本）
辨官補任九卷（建久八年ヨリ享和二年マデ）（萩野本）
新撰座主傳三卷（進藤爲善　八十八代ヨリ百二十三代マデ）（內閣本）
天台要曆一卷（卷六八）（明治三年マデ）（內閣本）
東寺長者補任五卷（弘仁十一年ヨリ寛永十一年マデ）（史料本）
興福寺別當次第六卷（天平勝寶中ヨリ元禄元年マデ）（興福寺本）

◎第三冊　史傳部（二）

常德院畫像贊一卷（僧周麟　足利義尙ノ事ヲ記ス）（內閣本）
細川賴之祠堂記一卷（僧元肇　承應三年成）（史料本）
加藤光泰貞泰軍功記一卷（寛延四年成）（原本大洲曹溪院本）
曹溪院行狀記一卷（原本大洲曹溪院本）
尊語集抄一卷（明德嘉言誌　蜂須賀家政以下三代ノ言行ヲ記ス）（史料本）
立齋舊聞記二卷（立花宗茂ノ事ヲ記ス）（矢野本）
事語繼志錄二卷（奥村保之　松平信綱ノ事ヲ記ス）（刊行會本）
紀侯言行錄三卷（德川賴宣ノ事ヲ記ス）（內閣本）
吉備烈公遺事一卷（湯淺元禎　池田光政ノ言行ヲ記ス）（內閣本）
土津靈神言行錄二卷（保科正之ノ事ヲ記ス）（黑川本　帝國本）
桃源遺事五卷（水戸黃門ノ傳及言行ヲ記ス）（帝國本）
宗長居士傳一卷（稻住道話　寬文八年成）（史料本）
惺窩先生行狀一卷（林羅山）（惺窩文集附錄）
羅山先生行狀一卷（林晴　萬治二年成）（羅山文集附錄）
舜水先生行實幷略譜一卷（今井弘濟　安積覺）（史料本）
貞慧傳一卷（綠足ノ子僧貞慧ノ事ヲ記ス）（原本飯田武郷氏藏）
行基年譜一卷（泉高父寄綱　安元元年成）（史料本）
弘法大師弟子傳二卷（僧智證）（刊本）
大法師淨藏傳一卷（原本法隆寺藏）
圓照上人行狀三卷（僧凝然　原本京都花園妙心寺藏）

存覺上人一期記三卷（流布版本）
普照國師年譜二卷（僧性日、僧性派　黃檗山ノ開祖隱元ノ行實ヲ記ス）（史料本）
楠木合戰注文一卷（原本前田侯爵藏）
忽那軍忠次第一卷（原本伊豫忽那氏本）
忽那島開發記一卷（原本伊豫忽那氏本）
瑠璃山年錄殘編二卷（南北朝ノ頃ヨリ應永年中ニ至ルマデ）（史料本）
金剛寺古記寫一卷（史料本）
續南行雜錄一卷（佐々宗淳）（原本彰考館藏）
大乘院日記目錄三卷（尋尊僧正）（史料本）
西征日記一卷（僧天荊　文祿之役ノ從軍日記ナリ）（原本前田侯爵藏）
田邊城合戰記一卷（細川幽齋ノ籠城ヲ記ス）（黑川本）

◎第四冊　史傳部（三）

餘目氏舊記一卷（留守氏舊記（文治中ヨリ文正十一年マデ）　長尾昌賢影像記、上杉像來記）（原本陸中國餘目氏藏）
雙林寺傳記一卷（黑川本）
公方兩將記二卷（應仁ヨリ永正中マデ）（黑川本）
小弓御所樣御討死軍物語一卷（天文七年國府臺戰記）（黑川本）
平嶋記一卷（阿波平嶋公方三好氏ノコトヲ記ス）（黑川本）
多賀谷七代記一卷（常陸下妻城主多賀谷氏ノコトヲ記ス）（黑川本）
世田谷私記一卷（武藏世田谷ノ領主吉良氏ノコトヲ記ス）（水戸本）
沼田記一卷（上野沼田城主平經信ノ家ノコトヲ記ス）（黑川本）
棚守房顯手記一卷（嚴島ノ神官棚守氏ノ舊記）（史料本）
佐野宗綱記一卷（下野佐野城主宗綱等ノ事蹟ヲ記ス）（黑川本）
香宗我部氏記錄七卷（土佐ノ香宗我部氏ノコトヲ記ス）（史料本）
菅谷傳記一卷（常陸小田氏ノ幕下菅谷氏ノコトヲ記ス）（黑川本）
箱根山中城責由來一卷（天正十八年秀吉山中城攻ノコトヲ記ス）（黑川本）
忍城戰記一卷（天正十八年忍城主成田長氏籠城ノコトヲ記ス）（史料本）
清正高麗陣覺書一卷（下川兵太夫）（黑川本）
石川忠總家臣大坂陣覺書一卷（史料本）
大坂陣山口休庵咄一卷（豐臣氏ノ臣山口休庵カ冬役ノ働ヲ記ス）（史料本）
土屋忠兵衛知貞私記一卷（大坂兩役ノコトヲ記ス）（史料本）
嶋原一揆松倉記一卷（寬永十四年嶋原一揆ノ始末）（內閣本）
嶋原天草日記一卷（松平甲斐守輝綱ノ從軍日誌）（史料本）
山田右衛門作以言語記十六卷（嶋原一揆ノコトヲ記ス）（史料本）
体明光記九卷（松前泰行羽太正養蝦夷地ニ關スルコトヲ記ス）（黑川本）

◎第五冊　記錄部

三代御記三卷（宇多天皇、醍醐天皇村上天皇宸記）（殘闕日記本增補）

貞信公記一卷（藤原忠平　延喜七年天曆二年）　（九條家本）
九曆一卷（九記、御暦、九條右丞相之記　藤原師輔、天暦元ー天徳四）　（東叡山本）
平記一卷（行親記、平行親　長暦元年）　（内閣本）
高野山御參詣記一卷（伊豫守平範國　永承三年關白頼通高野參詣記事）　（殘闕日記本）
江記一卷（大江匡房　天仁元年十一月會記事）　（黒川本）
平知信朝臣記一卷（長承四年頼長任大將ノ儀）　（殘闕日記本）
南都衆徒入洛記一卷（崇徳近衛両帝時代）　（殘闕日記本）
爲經卿記一卷（藤原爲經、吉田）　寛元四年　（黒川本）
冬平公記一卷（後稱念院關白冬平　延慶元年、元享四年）　（内閣本）
文保三年記一卷（東大寺八幡神輿入洛　圍滅寺炎上、玄上等記）　（殘闕日記本）
匡遠記一卷（小槻匡遠　觀應三年）　（圖書寮本）
北面假名記一卷（一名院北面始記、源康成　應安四年）　（殘闕日記本）
齋藤某恒記一卷（幕府日記　永享十二ー康正二）　（前田本）
長祿二年記一卷（宗承　東寺ノ日記）　（殘闕日記本）
見聞雜記一卷（宗承東寺日記　應仁ノ亂ノ事ミユ）　（同　上）
東大寺法華堂要錄一卷（三月堂記錄　應仁ノ亂等ノ事ミユ）　（黒川本）

繼芥記一卷（元亀元年、天正七年）　（黒川本）
東大寺綱所日記一卷（原本手向山八幡所藏　天文中）　（史料本）
惟房公記一卷（萬里小路惟房　崇源院）　（内閣本）
天正日記一卷（内藤清成　天文十一、永祿元ー名蟬ヲ魚同　天正十八年）附注釋　（小宮山本）
親綱卿記一卷（中山親綱　文祿四年）　（黒川本）
九州下向記一卷（是齋重鑑　慶長三年）　（史料本）

◎第六冊　法制部（一）

講令備考十卷（稻葉正邦等　文政中成）　（東京大學本）
律逸八卷石原正明　（久米本）
格逸五卷　格逸々黒川春村
式逸二卷和田英松　（黒川本）
延喜式工事解三卷（春田永年　附工事通解文化三年刊）　（井上本）
延喜式工事解圖錄一卷（圖入）　（圖書寮本）
江次第鈔七卷（一條兼良　正月ヨリ六月マデ）（圖入）　（東京大學本）

◎第七冊　法制部（二）

建官考一卷（諏井孝徳、寶暦十二年成　舊幕府ノ官名ト支那官名ト對譯）　（黒川本）
吏徽二卷（偶堂（向山篤）弘化二年舊幕府ノ官制ヲ記ス）　（向山本）
吏徽別錄二卷（向山篤）　（向山本）

吏徽附錄一卷（向山篤）　（向山本）
三代制符一卷（建久、寛喜、文永）　（三浦本）
公家新制一卷（弘長三年）
御成敗式目注一卷　（内閣本温故堂本）
貞應弘安式目一卷　（内藤本）
建武式目注一卷（清原業賢　天文廿三年）　（三浦本）
增補田園類說一卷（小宮山本竒撰、谷本敎等增補）　（萩野本）
侍中群要十卷（橘廣相　藏人ノ職掌ヲ記ス）　（丹鶴本）
寛文記一卷　（黒川本）
當今年中行事一卷（中御門院時代）　（黒川本）
條々聞書貞丈抄五卷（伊勢貞頼入道宗五撰、貞文注ニ宗五大双紙（圖入）　（刊行會本）
諸國御關所覺書一卷　（黒川本）

◎第八冊　地理部（一）元祿以前ノ還述ヲ聚ム

本朝地理志略一卷（林羅山　寛永二十年成）　（黒川本）
日本略記一卷　（黒川本）
雍州府志十卷（黒川道祐　天和二年刊　山城國ノ地志）（圖入）　（刊　本）
和州舊跡幽考二十卷（林宗甫　延寶九年刊（圖入）　（刊　本）
堺鑑三卷（衣笠一閑　天和三年刊　大阪ノ地志）（圖入）　（刊　本）
蘆分船六卷（一無軒道治　延寶三年刊）　（刊　本）

江戸名所記七卷（淺井了意）（圖入）　（刊　本）
兵庫名所記二卷（植田下省子　寛永七年刊）　（刊　本）
長崎緣起略記一卷（僧法昭　正德二年成）　（内閣本）
前橋風土記一卷（古市胤　貞享元年成（附錄アリ）　（黒川本）
會津風土記一卷（保科正之　寛文十一年成）　（内閣本）
端部風土記一卷（越後蒲原郡小川庄地志）　（村岡本）
磐城風土記一卷（寛文九年成）

◎第九冊　地理部（二）

寛文印知集二十四卷（寛文四年調、諸大名領地ヲ記ス）　（黒川本）
琉球國鄉帳一卷（寛文八年調、琉球國ノ草高ヲ記ス）　（黒川本）
松前島鄉帳一卷（元祿十三年調、蝦夷ノ地名ヲ記ス）　（帝圖本）
藝備國郡志二卷（黒澤三右衛門　寛文三年（安藝備後ノ地志）　（内閣本）
懷橋談二卷（黒澤申（由豐）ノ地志）（圖入）　（内閣本）
隱州視聽合紀四卷（寛文七年　承應中）　（内閣本）
仙道會津元和八年老人覺書一卷　（内閣本）
東奥白河往昔之記一卷
辰巳無人島訴狀幷口上留書一卷（小笠原民部　延寶八年小笠原島へ航海ノ記（圖入）　（史料本）
蝦夷記一卷（寛文九年ノ記）　（内閣本）

蝦夷島記一卷　（內閣本）
吉野記一卷飛鳥井雅章　（內閣本）
和紀記行一卷岡西惟中　（帝圖本）
貞德他行道の覺一卷天正十一年（伊勢ヨリ上万ヘ紀行）　（檜垣本）
宋雅道すがら之記一卷飛鳥井雅綠　慶永卅四年　（帝圖本）
元和七年東海紀行一卷（江戶ヨリ）　（帝圖本）
鎌倉記二卷僧澤庵　（內閣本）
立圖東の記行一卷　（帝圖本）
宗因東の記行一卷　（帝圖本）
中山日錄一卷那古庵　寬永十三年（日光紀行）　（帝圖本）
于役日錄一卷林羅山子新　寬文三年（日光紀行）　（內閣本）
江海風帆草三卷宮本重利等　寬永元年（長崎ヨリ大阪ヘノ海上紀行）　（帝圖本）
白水郎子紀行三卷（岡西惟十マヽノコノスサビ）　（帝圖本）

◎第十冊　教育部

朝倉宗滴話記一卷（一名宗滴物語、萩原某筆記敎訓ノ書）　（史料本）
北條幻庵覺書一卷（女ヘ遺シタル敎訓）　原本千葉縣宮崎氏藏　（史料本）
黑田家老士物語一卷（黑田如水父子等ノコト）　（史料本）
千代茂登草一卷藤原惺窩　天明八年刊（儒學ノ大意）　（刊本）

春鑑抄一卷林道春　慶安元年刊（五常ノ訓）　（內閣本）
三德抄二卷林道春　（內閣本）
古板（智仁勇ノコトヲ記ス）　（內閣藏刊本）
敵戒說一卷林道春、春齋、春德　古板　（內閣藏刊本）
翁問答八卷中江藤樹、林充筆記　慶安三年刊　（刊本）
謫居童問六卷山鹿素行　寬文八年成　（井上本　松浦本）
光圀卿敎訓一卷德川光圀　元文版　（內閣本）
學問關鍵一卷伊藤東涯　（帝圖本）
本朝學原浪華鈔七卷松下見林著、眞野時繩抄　正德六年刊　（黑川本）
荷田大人創學啓一卷（荷田東麿春葉集附錄）　（內閣本）
和學大概一卷村田春海　（黑川本）
漢學紀源五卷伊地知季安　（島津本）
古點譜一卷（高雄寺傳來）（圖入）　（黑川本）
乎古止點譜一卷（圖入）　（黑川本）
京都往來一卷鈴鹿定親　延寶二年成、古版本　（刊本）
自遣往來一卷一名江戶往來　古版本　（刊本）
源平往來二卷元祿十四年刊　（白石本）
商賣往來一卷流布版本　（刊本）
名產諸色往來一卷松業軒龍水　鱗形屋版本　（刊本）
諸職往來一卷古版本　（內閣藏刊本）

消息往來一卷高井蘭山　流布版本　（版本）

◎第十一冊　宗敎部（一）

東大寺要錄十卷（僧觀嚴）　長承三年成　原本醍醐寺所藏國寶　（東京大學本）
同醍醐本一卷（原本東大寺所藏）　（小杉本）
東大寺續要錄九卷（原本東大寺所藏國寶）　（黑川本）
招提千歲傳記九卷（僧義澄）　元祿十四年成（招提寺本）　（小杉本）
興福寺濫觴記一卷（享保二年マヂ）　（黑川本）
藥師寺黑草紙一卷（鎌倉時代ヨリ寬永十二年マヂ）　（藥師寺本）
同新黑草紙一卷（黑草紙ノ續編）　（藥師寺本）
法隆寺記補忘集一卷（僧良訓）（圖入）　（黑川本）
南都七大寺巡禮記一卷上（下卷逸）

◎第十二冊　宗敎部（二）

東寶記八卷（凉寶（圓入）　敎王護國寺ノ記錄）（原本東寺所藏）　（內閣本）
入唐求法巡禮行記四卷（圓仁等入唐求法ノ記　圓寶）（原本東寺所藏）　（史料本）
顯戒論緣起一卷最澄（上卷、下卷逸）　享保元年刊　（前田本）
大師先德明匠記一卷常州小野道壽寺定珍　（天台宗ノ故實）　萬治三年刊　（前田本）
聲明源流記一卷凝然　（聲明ノ源流ヲ記ス）　（原本東大寺眞言院藏）　（黑川本）
踏雲錄事一卷行智　（修驗山伏ノコトヲ記ス）　（內閣本）
木葉衣二卷（同上圖入）

諸宗階級二卷（德川時代各宗階級衣躰等ノ記）　（黑川本）
寺格帳二卷　（黑川本）
吉利支丹物語二卷寬永十六年刊　（以下耶蘇敎ノコトニ關スルモノ）　（黑川本）
切支丹宗門來朝實記一卷一名賊宗來朝記　（黑川本）
伴天連記一卷　（黑川本）
肥前國有馬古老物語一卷肥前高來郡島原領內　北有馬村農夫覺記　（黑川本）
查沃餘錄一卷（切支丹組屋敷日記）　（黑川本）
契利斯督記一卷　（史料本）
破提宇子一卷巴毗耆著

◎第十三冊　詩文部

後水尾天皇御製詩集一卷　（內閣本）
鳳嘯集一卷後光明天皇御製詩集　（小杉本）
機山十七首一卷武田信玄　（島津本）
惟新公自記一卷島津義弘　（島津本）
貞山公詩抄一卷伊達政宗　（堀田本）
戰言錄一卷堀田正俊　（堀田本）
勸忠書一卷堀田正俊　（刊本）
惺窩先生文集十二卷後光明天皇御製序　冷泉爲經校　（內閣本）
尺五先生全集二卷松永尺五　（刊本）
恭靖先生遺稿三卷木下錦里　（刊本）
垂加文集七卷山崎闇齋　（刊本）

澹泊齋文集八卷安積澹泊（内閣本）
靚瀾集一卷三宅靚瀾（内閣本）
玉仲遺文一卷十德寺玉仲宗琇（牧野本）

◎第十四冊　歌文部（一）

風葉和歌集二十卷文永八年成（物語ノ歌ヲ集ム）（丹鶴本）
新撰六帖題和歌六卷新撰六帖寛元二年成（家良爲家和家行家光俊歌）（黒川本）
千五百番歌合二十卷（歌合中ノ最歌數多キモノ）建仁元年成（黒川本）
集外歌仙一卷後水尾上皇御撰寛政九年刊
慶長千首一卷慶長十年成（黒川本）
沙彌惠空百首一卷九條禀通天正十八年成（黒川本）
天正十六年聚樂亭御歌會御歌一卷（黒川本）
文祿三年吉野山御會御歌一卷（高臺寺本）
後柏原院御日次結題一卷永正十六年成正德六年刊（黒川本）
後水尾院御集一卷（黒川本）
後十輪院内大臣詠草一卷中院通村（黒川本）
爲兼卿家集補遺一卷藤原爲兼文政元年刊
惺窩先生倭謌集五卷刊本
衆妙集一卷細川元旨寛文十一年奥書（彌富本）
草山集一卷僧元政寛文十二年刊（内閣本）
梶の葉三卷梶女寶永四年刊
佐遊李葉三卷百合女享保十二年刊（内閣本）

◎第十五冊　歌文部（二）

顯昭古今集註二十卷僧顯昭文治元年成（内閣本）
俊賴口傳集二卷源俊賴（黒川本）
續歌林良材集二卷下河邊長流貞享元年刊
梨本集三卷戸田茂睡元祿十二年刊（黒川本）
和歌會式一卷（二條家流ノ式）
新撰菟玖波集二十卷僧宗祇明應中成寛保三年刊（連歌ノ集）（内閣本）
連集良材一卷寛永八年刊（連歌ノ書）（丹鶴本）
岩清水物語二卷（黒川本）
風爾津連奈幾物語二卷（黒川本）
兵部卿物語一卷（黒川本）
源家長日記一卷（建仁中ヨリ承元中マデ）（黒川本）

◎第十六冊　雜部

雙倉北雜物出用帳一卷（天平勝寶八ー延曆三）（徵古雜抄本）
延曆六年曝涼帳一卷（同　上）
延曆十二年曝涼帳一卷（同　上）
弘仁二年官物勘錄一卷（同　上）

雜物出入帳一卷（弘仁五ー天長三）（同　上）
裸物出入繼文一卷（天平勝寶四ー齊衡三）（同　上）
東大寺敕封藏目錄記二卷（建久五年寛元元年弘安十一年）（同　上）
天正二年截香記一卷（同　上）
東大寺三藏御寶物御敎之帳一卷慶長十七年（同　上）
慶長十九年藥師院寶祐記一卷（同　上）
正倉院御開封記草書一卷（元祿六年）（同　上）
東大寺正倉院開封記一卷（元祿六年）（同　上）
東大寺三倉開封勘例一卷金珠院庸性（同　上）
二倉道具目錄一卷（元祿六年）（同　上）
正倉院御開封勘例等御尋之日記一卷（享保七年）（同上）
東大寺古文書目錄一卷（享保十二年寫）（同　上）
正倉院寶物御開封事書一卷（天保四年）（同　上）
正倉院御寶物目錄一卷（天保四年）（同　上）
仁和寺御寶物實錄一卷（天曆四年）（同　上）
本朝法家文書目錄一卷（同　上）
寺社寶物展閱目錄五卷（黒川本）
編修地誌備用典籍解題總目錄二卷池田（松平）定常原撰幕府學問所補（早稻田本）
但馬國太田文一卷太田政顯注進（弘安八年）（同　上）
下京中出入之帳一卷（元龜四年）（早稻田本）
絲割符由緒書一卷寛正十二年（農商務省本）
中家實錄二十卷（中原家ノ秘書）（黒川本）
書大体一卷齋藤越前入道浮玄（武家ノ書札禮、文明中成）（黒川本）
大安寺碑文一籍溪海三船（寶龜六年）（徵古雜抄ノ内）
三州俗聖起請十二箇條事一卷（天治二年寫）（黒川本）
僧妙達蘇生注記一卷（天仁二年寫）（黒川本）
美福門院御文一通（早稻田本）
六條判官書狀四通源爲義（早稻田本）
源義經捜索宣下請文一通文治二年（徵古雜抄ノ内）
興福寺法隆寺牒狀二通建久九年乾元二年（同　上）
宋人陳和卿濫妨停止下文一卷小野隨心院藏（元久三年）（同　上）
筆海要津二卷藤原通憲撰文、海惠僧都編（田中本）
上賀茂松下文書一卷松下民藏（黒川本）
假面譜一卷喜多古能（寛政九年）（刊　本）
和學講談所御用留抄一卷（早稻田本）

◎新群書類從　十冊

◎第一冊　演劇（一）

西澤一鳳小傳

傳奇作書初編（言狂作書）三卷西澤一鳳（饗庭本）（鹿田本）
傳奇作書拾遺三卷同上（歌舞妓淨瑠璃ノ故實ヲ記セル珍書）（小栗本）
傳奇作書殘編三卷同上（圖入）（殿村本）
傳奇作書續編三卷同上（平瀨本）
傳奇作書附錄三卷同上（饗庭本）
傳奇作書後集三卷同上（圖入）（平瀨本）
皇都午睡初編三卷同上（平瀨本）
皇都午睡二編三卷同上（平瀨本）
皇都午睡三編三卷同上（平瀨本）

◎第二冊　演劇（二）

濱松歌國小傳
腳色餘錄自序西澤一鳳（平瀨本）
腳色餘錄初編三卷同上（圖入）（平瀨本）
腳色餘錄二編三卷同上（圖入）（平瀨本）
腳色餘錄三編三卷同上（圖入）（平瀨本）
讃佛乘初編三卷同上（平瀨本）
讃佛乘二編三卷同上（平瀨本）
綺語文章二卷同上（有馬溫泉記、暮秋北山遁ヲ、花洛紅葉見紀行）（關根本）
南水漫遊初編五卷濱松歌國（圖入）
南水漫遊拾遺五卷同上（圖入）
南水漫遊續編五卷同上（圖入）（鹿田本）

◎第三冊　演劇（三）

役者論語刊本（小栗本）
舞臺百箇條一卷杉九兵衛（殿村本）
藝鑑一卷富永平兵衛（平瀨本）
あやめぐさ一卷芳澤あやめ造、福岡彌五四郎記（饗庭本）
耳塵集二卷金子吉左衛門（平瀨本）
續耳塵集一卷民屋四郎五郎江音（平瀨本）
賢外集一卷染川十四兵衛述、東三八記（平瀨本）
佐渡島日記一卷佐渡島長五郎蕨智坊（平瀨本）
古今いろは評林二卷八文字屋編、天明五年刊（帝圖本）
芝居乘合話五卷中村重助故一（帝圖本）
作者店おろし一卷三升屋二三治（帝圖本）
並木正三一代咄一卷刊本（永田本）
岩井半四郎さいご物語一卷刊本（永田本）
市正德追善會我五卷（原名賓永忠信物語、正德六年刊本、元祖市川團十郎橫死ノ顚末圖入）（安田本）
梅幸集一卷天明四年刊、附錄菊五郎一代狂言記（圖入）（安田本）
中山文七一代狂言紀一卷天明三年刊（圖入）（安田本）
眠獅選二卷八文字舍自笑（寬政二年刊本、圖入）

西澤文庫傳奇作書追加三卷西澤一鳳（新訂書類從第一冊ニ入ルベキモノ）

以上古名優逸事傳記幷ニ演劇ニ關スル雜書

娘孝行記一卷富永平兵衛刊本
熊野山開帳一卷富永平兵衛刊本
業平河內通一卷富永平兵衛刊本
御曹司初寅詣一卷近松門左衛門刊本
傾情一張弓一卷津打治兵衛資永五年刊
傾城三鱗形一卷元祿十四年刊
京ひながた一卷山下半左衛門刊本
一谷坂落一卷刊本
當麻中將姬まんだらの由來一卷刊本
箱傳受一卷刊本
今川かな手本一卷若後家卯の花重刊本
有卦入万倍曾我一卷刊本

以上狂言本

◎第四冊　演劇（四）

花江都歌舞妓年代記續編幷三卷（鸚芥子編、文化二一安政六ノ圖入）（原本田村成義氏藏）
◎第五冊　歌曲（一）古淨瑠璃（金平ごんぼうやぶり）
四天王高名物語寬文二年

賴義金剛山合戰幷ひやうぶ物語寬文三年
釋迦八相記附佛母山婦人寬文九年
善導記寬文十年
日本王代記幷神武天皇のゆらひ延寶二年（井上播磨少掾正本）
玉津島の御本地延寶五年
四天王大田合戰すけたけ牢やぶり寬文二三年頃
那須與市竹生島詣附舟いくさの事同上
賴光跡目論同上
津戶三郎（宇治加賀掾正本）
義經追善女舞（同上）
愛染明王影向松（同上）
酒天童子（同上）
念佛往生記（竹本筑後掾正本）
清水觀音利生物語（松本治太夫正本）
小栗判官
隅田川（山本土佐掾正本）
善光寺（同上）
阿漕平次
薩摩外記正本の序文
出世太平記（薩摩外記正本）

土佐淨瑠璃目錄及序文
名古屋山三郎（寶永五年刊　土佐少掾正勝正本）
京四條おくに歌舞妓（同上）
土佐日記（同上）
對面曾我（同上）
花筏芳野內裏（同上）
源氏六條通（同上）
定家（同上）
三世二河白道（同上）
源氏花鳥大全（同上）
艷色萬歲頼政（同上）
和國女眉間尺（同上）
通俗傾城三國誌（同上）
博多露左衛門色傳授（同上）
（以上イヅレモ一卷宛）

◎第六冊　歌曲（二）

糸竹初心集三卷（中村宗三（圖入）　寬文四年刊）（琴三味線尺八ノ手引）（黑川本）
松の葉五卷（秀松軒　元祿十六年刊（小唄テアツム））
若綠五卷（靜雲閑主人　寶永三年（小唄集））
增松の落葉六卷（大木扇德　寶永元年刊寶永七年增補（圖入））
淋しき座の慰み一卷（延寶四年成　（寬永ヨリ延寶マデノ流行唄））（帝圖本）
諸國盆踊唱歌一卷（我自刊本）
（淨瑠璃文難波土產五卷（德積以貫　句評注）（圖入））
瑠璃天狗五卷（賽笠翁　淨瑠璃ノ注ノ文化丙寅刊）
今昔操年代記二卷（正本屋九左衛門（西澤一鳳）　享保十二年刊）
竹豐故事三卷（一樂　寶曆六年刊）
歌系圖一卷（流石庵羽積　小唄ノ作者、作曲家ノ名寄）刊本

◎第七冊　書目

江戶狂歌書目（野崎左文　（天明年間ヨリ慶應年間マデ））
俳諧書籍目錄（阿誰軒編、漆山天童補）
浮世草子目錄（大久保豐編　天和二年ヨリ文化十二年マデ）
好色本目錄（柳亭種彥）
吉原書籍目錄（同上）
續吉原書籍目錄（大久保豐）
前期青本書目（同上　正德三年ヨリ安永三年マデ）
增補青本年表（漣水散人編、大久保豐增補　安永四年ヨリ文化三年マデ）

增補續青本年表（五東齋燕主人編、大久保豐補　文化四年ヨリ天保十四年マデ）
合卷外題集
草雙紙書目（大久保豐）
笑話書目（大久保豐　元和九年ヨリ慶應二年マデ）
洒落本目錄（大久保豐　享保十三年ヨリ天保六年マデ）
中本書目（大久保豐　寶曆六年ヨリ文久三年マデ）
人情本目錄（大久保豐　文政二年ヨリ安政六年マデ）
讀本年表（滋山天童　正德三年ヨリ明治十二年マデ）
參考今昔操淨瑠璃外題年鑑（一樂撰、齋藤素彫訂）
（以上いづれも一卷宛）

◎第八冊　舞曲（幸若舞ノ本）

入鹿（寬永本）
大職冠（寬永本）
百合若大臣（寬永本）
志田（寬永本）
滿仲（寬永本）
硫黃が島（寬永本）
築島（寬永本）
鎌田（內閣本）
伏見常盤（寬永本）
常盤問答（寬永本）
文覺（寬永本）
伊吹（寬永本）
夢合せ（寬永本）
馬揃（寬永本）
木曾願書（幸若本）
敦盛（明曆本）
那須與一（寬永本）
未來記（內閣本）
笛之卷（寬永本）
薮馬山（古寫本）
鳥帽子折（寬永本）
腰越（寬永本）
堀河夜討（寬永本）
四國落（寬永本）
靜（內閣本）
富樫（寬永本）
笈さがし（寬永本）
八島（寬永本）

清重　（寛永本）
高館　（寛永本）
濱出　（寛永本）
景清　（寛永本）
切兼曾我　（内閣本）
元服曾我　（寛永本）
和田酒盛　（寛永本）
小袖曾我　（寛永本）
劍讃歎　（寛永本）
夜討曾我　（幸若本）
十番切　（寛永本）
新曲　（寛永本）
張良　（内閣本）

（以上いづれも一卷宛）

◎第九冊　歌曲（三）金平本

金平本表紙本文及插畫見本
清原右大將延寶五年、八文字屋板
四天王若盛　うろこがたや板
四天王女大力手捕軍　うろこがたや板
京今宮本地　うろこがたや板

日本兩武將始岡五郎兵衛
源平武將論寛文二年、山本九兵衛板
敵討のいこん寛文八年、八文字屋板
四天王筑紫責延寶五年、八文字屋板
末武印問答　山本九兵衛板
きさき爭ひ貞享四年、うろこがたや板
天狗羽打萬治三年
四天王むしや執行萬治二年
綱金時最後寛文元年
賴光蜘蛛切寛文二年、山本九兵衛板
子四天王北國合戰寛文二年
四天王最後
公平誕生記　鶴屋喜右衛門板
濱根惡太郎寛文四年
公平花壇破萬治四年
公平化生論寛文四年、山本九兵衛板
公平關破寛文二年、山本九兵衛板
公平末春いくさ論萬治三年、山本九兵衛板
公平天句問答和泉太夫正本　正德六年、うろこがたや三左衛門板
八幡太郎誕生記　藤屋板

渡邊智略討寛文五年、八文字屋板
矢はぎ合戰
勇金平正德六年、西村傳兵衛板
渡邊三田合戰寛文三年
菅原親王寛文三年
公平劍のりつ火　うろこがたや板
公平むしや執行貞享二年、うろこがたや板
公平入道山めぐり　うろこがたや板
いかづち論　鶴屋板
殿上闇討女袖鑑延寶五年
賴政寛文五年、鶴屋板
賴朝三島詣延寶六年、山本九兵衛板
碁盤忠信延寶四年、八文字屋板
義經地獄破寛文元年、山本九兵衛板
朝夷島わたり寛文二年

（以上いづれも一卷宛）

◎第十冊　狂歌

古今夷曲集十卷　生白堂行風　寛文五年刊
後撰夷曲集十卷　生白堂行風　寛文十二年刊　附夷歌式
狂言鷺蛙集二十卷　朱樂菅江、四方赤良　天明四年刊　一名古今ノ馬鹿集

德和歌後万載集十七卷　四方赤良　天明五年刊

（以上總集）

吾吟我集十卷　石田未得　慶安年中刊
卜養狂歌集二卷　中井卜養　寛文年中刊
狂歌鳩杖集一卷　寶嶽坊信海　享保十四年刊
家土產一卷　永田貞柳　享保十四年
狂歌醉竹集二卷　唐衣橘洲　享和二年刊
六樹園家集一卷　宿屋飯盛　野崎左文編
朱樂館家集一卷　朱樂菅江　野崎左文編
滄洲樓家集一卷　馬場金埒　野崎左文編

（以上別集）

狂歌酒百首一卷　曉月坊商珍　文和四年刊
めでた百首夷歌一卷　蜀山人　天明三年刊
仙臺百首一卷　馬場金埒
夷歌百鬼夜狂一卷　蔦唐丸　天明五年刊
飲食狂歌合一卷　宿屋飯盛

（以上狂歌雜書）

◎燕石十種（活東子　岩本左七）編　三冊（六千頁）

◎第一冊　初輯二輯

高尾考　一卷（原武太夫盛和撰　太田南畝等補）
（遊女高尾ノ事蹟、圖入）

蜘の糸卷二卷　岩瀨京山　弘化四年成（圖入）

浪花五俠傳　一卷（大阪五人男ノコト圖入）

猿樂沿革考　一卷（一名茶番由來　川崎重恭）
（相塲長昭）

遊女考　一卷（藤原時代ヨリ德川時代マデ遊女）
（藤原時代ヨリ德川時代マデ遊女ノ古書ニ散見セルモノヲ抄錄ス）

三升屋二三治戲場書留　二卷（享保中成）

◎第二冊　三輯四輯

猿樂傳記　二卷　一名僊樂傳記　享保中成

獨寐　一卷（柳澤里恭）
（隨筆）

江戶眞砂六十帖　五卷　寶曆中成（江戶ノ出來事ヲ記ス）

神代餘波　二卷　齋藤彦麿　弘化四年（隨筆、圖入）

我衣　一卷　曳尾庵南竹（加藤玄悅）　文化八年成（德川時代ニ於ル風俗ヲ記ス圖入）

俗耳鼓吹　一卷　太田南畝　天明八年（隨筆）

賤のをだまき　一卷　森山孝盛　享和二年成（江戶市中ノ風俗ヲ記ス圖入）

塵塚談　二卷　小川顯道　文化中成（隨筆）

後は昔物語　一卷　手柄岡持（平澤常富）　享和二年成（隨筆）

瀨田問答　一卷　太田南畝問、瀨名貞雄答　（江戶ノ地理等）

奴師勞之　一卷　太田南畝　文化十五年成（隨筆）

戲作者小傳　一卷（岡澤兵衛ヨリ筮亭仙果マデ八十六人）

戲作六家撰　一卷（活東子）
（京傳、三馬、馬琴、一九、種彥、爲永係入）

後見草　三卷　上卷一名明曆忘錄、龜岡宗山　中下卷、杉田鷄鳴、附錄淺間山噴火記事、志賀紀豐

事蹟合考　五卷　柏崎具元　（江戶ノコトヲ記ス）

南向茶話　一卷　伊達考、酒井忠昌　明和二年成（江戶ノ地理）

墨水消夏錄　三卷　東關洲　（江戶ノ地理等）

蜘の糸卷二卷　岩瀨京山　弘化四年成（圖入）

浪花五俠傳　一卷（大阪五人男ノコト圖入）

猿樂沿革考　一卷（一名茶番由來　川崎重恭）

三升屋二三治戲場書留　二卷

◎第二冊　三輯四輯

獨寐　一卷（柳澤里恭）
（隨筆）

神代餘波　二卷　齋藤彦麿　弘化四年（隨筆、圖入）

俗耳鼓吹　一卷　太田南畝　天明八年（隨筆）

竹本豐竹淨瑠璃譜　二卷　文化元年、太田南畝序　（圖入）

平賀源內實記　五卷　槃齋老人　天明八年（圖入）

無名翁隨筆　二卷（池田義信（十一利綸）師、浮世繪、吾妻錦繪ノ考畫師ノ傳）

新吉原略說　一卷　山崎美成（附玉菊考）　（圖入）

劇場新話　二卷

江戶眞砂六十帖廣本　十卷（江戶ノ出來事ヲ記ス五卷本ノ補遺）

當世武野俗談　一卷　馬塲文耕　寶曆七年（江戶ニアリタル珍ラシキ人ノ事ヲ記ス）

藻屑物語　一卷（伊丹左京ノ事ヲ記ス）附馬琴ノ評

夢の浮橋　二卷（太田南畝編）　文化四年　永代橋ノ落チシトキノ記、圖入

江戶節根元記　二卷　可柳

江戶三座由緒書　一卷　立川焉馬　（江戶三座芝居ノ由緒及ビ家ノ狂言ヲ記ス圖入）

中古戲場說　二卷（江戶俳優ノ逸話、江戶、京雜波俳優名家略系及ビ江戶淨瑠璃略系）

近世江都著聞集　十一卷　馬塲文耕　（江戶ニ出來タル事ヲ記ス）

相撲傳書　一卷　木村守直　（圖入）

吾妻めぐり　二卷　原名色音論、德永種久著　（江戶見物ノ紀行、圖入）

葛飾記　二卷　齊山某　（葛飾ノ名所古蹟ヲ記ス）

駿河臺志　一卷（江戶駿河臺ノ事ヲ記ス、圖入）

◎第三冊　五輯六輯

異本洞房語園　二卷（庄司勝富（道怨）撰）　（吉原ノ事ヲ記ス、圖入）

大盡舞考證　一卷　山東京傳、鼈甲子弁溪舍和山人補　享和四年（圖入）

吉原雜話　一卷　一本青樓雜話

北里戲場隣の疝氣　一卷　原武太夫盛和　（吉原及ビ劇場ノ變遷ヲ記ス）　寶曆十三年

老のたのしみ抄　一卷　市川柏莚　（柏莚日次ノ雜記享保十九ー元文五）

寬天見聞記　一卷　（寬政以降ノ世事變遷ヲ記ス、圖入）

夢の浮橋附錄　一卷　春の舍成文　文化五年（深川八幡祭禮ノ賑ヲ描キ永代橋ノ落チタル事ヲ記ス、圖入）

江戶塵拾五卷　文化六年ー江戶ノ名所名物ヲ記ス）

望海每談　一卷（江戶ノ舊事古蹟ヲ記ス）

戲作外題鑑　一卷（安永四年ヨリ文化三年マデ）

江戶往古圖說　二卷　大橋方長

慶長年間江戶圖考　一卷　中神守節　（附御曲輪內圖說圖入）

麓の花　二卷　山崎美成　（隨筆圖入）

鹿の卷筆五卷　鹿野武左衛門　（元祿五年落語集、圖入）

繪そらごと　一卷（石野廣道）
（繪馬ノ事ヲ記ス）

なら柴　一卷　原武太夫盛和、一名三絃根元記　（淨瑠璃ノコト）

吉野傳　一卷　經邦　文化九年（圖入）

道成寺考　一卷　屋代弘賢　（圖入）

吉原町定書　一卷　寬政七年

芝居町燭書　一卷　東關洲　寶曆（慶安ー）

◎續燕石十種　國書刊行會編　二冊

◎第一冊　初輯二輯

書證錄　一卷　喜多村信節　（黑川本）
（下卷欠）（德川時代風俗、圖入）

式亭雜記　一卷　式亭三馬　（朝倉本）
文化七八年日記（圖入）

釣客傳　二卷　黑田五柳　（農商務省本）
（釣魚ノ手引、圖入）

莘野茗談　一卷　平秩東作　（帝國圖書館本）
（隨筆）

過眼錄　一卷（社會風俗ノコト）（帝國圖書館本）
反古染　一卷（越智治久染色紋章等ノコト、圖入）（黑川本）
洞房語園後集　一卷（庄司道恕勝富）（同　上）
武江年表補正略　一卷（喜多村信節）（帝圖本）
博戲犀照　一卷（山崎美成雙六ちよぼ一ノ考、圖入）（黑川本）
國字小說通　一卷（木村默翁）（黑川本）
京攝戲作者考　一卷（鳥有山人木村默翁）（黑川本）
一蝶流謫考　一卷（涼仙老樵山東京山）（帝圖本）
柳淇園先生一筆　一卷（柳里恭）（內閣本）
深川珍者錄　四卷（東京大學本）
浪速人傑談　二卷（政田義彥）（大槻本）
戲財錄　一卷（地木五瓶圖入）（演劇ニ關スル事）（帝圖本）
忘れ殘り　二卷（四壁庵茂鳥社會風俗ノ事）（同　上）
德永種久紀行　一卷（德永種久元和三年柳川ヨリ江戶へ）（黑川本）
反古籠　一卷（万象亭隨筆）（朝倉本）
俳諧古文庫　二卷（曲亭馬琴俳文ノ集）（早稻田本）

◎第二冊　三輯四輯

異聞雜稿　二卷（曲亭馬琴隨筆天保四ー同七）（早稻田本）
吉原源氏五十四君　一卷（榎本其角圖入貞享四年刊遊女ノ評）（帝圖本）
筠庭雜錄　二卷（喜多村信節隨筆、圖入）（帝圖本）
清神秘錄　一卷（北流山人刊本俄ノ種本）（同　上）
十八大通　一卷（三升屋二三治江戶ノ通人ノコト）（帝圖本）
山東京傳一代記　一卷（圖入）（饗庭本）
江都百化物　一卷（資暦頃）（東京大學本）
金杉日記　一卷（山崎美成）（帝圖本）
京高尾考　一卷（山東京山遊女高尾ノ事）（同　上）
紙屑籠　一卷（三升屋二三治演劇ニ關スル雜記）（同　上）
須々美草　一卷（建部綾足）（內閣本）
壺すみれ　一卷（黑川春村狂歌ノ傳統）（黑川本）
舞曲扇林　二卷（河原崎權之助刊本演藝ノコト）（早稻田本）
改過筆記　一卷（曲亭馬琴家相タトリノ事）（帝圖本）
柳亭遺稿　一卷（柳亭種彥隨筆）（黑川本）
其昔がたり　一卷（三木隆盛社會風俗ノコト）（朝倉本）
無垢衣考　一卷（山東京傳刊本）（早稻田本）
疑問錄　一卷（山崎美成編雜事問答）（帝圖本）
只今お笑草　一卷（二代目瀨川如皐門附物實ノコト、圖入）（早稻田本）
色道大鏡　九卷（畠山箕山圖入十八卷ノ內九卷闕）（帝圖本）

◎新井白石全集　六冊

◎第一冊

藩翰譜　十二卷附系圖五卷（元祿十四年）（大槻本）（萩野本）

◎第二冊

藩翰譜續編　十二卷（近藤吉左衛門等文化三年）（早稻田本）

◎第三冊

折たく柴の記　三卷（正德六年白石自傳）（大槻本）（內藤本）
新井家系　一卷（享保八年）（刊行會本）
岩松家系附錄序說　一卷（刊行會本）
古史通　四卷（正德六年神代ヨリ神武天皇迄鬼躰ノ概要ヲ論ジタルモノ）（板　本）
古史通或問　二卷（正德六年古史通ニ或問ヲ設ケ記述ジタルモノ）（刊行會本）
讀史餘論　三卷（正德二年將軍家宣ノ御前ニテ歷史ヲ講ジタルモノ）（今泉本）
畿內治河記　一卷（河村瑞賢安治川木津川ヲ修セシコト）（甘雨亭叢書本）
奧羽海運記　一卷（河村瑞賢ガ奧羽ニ於ケル官米濟運ノ航路ノ擴張セシコト）（甘雨亭叢書本）
五十四郡考　一卷（奧州五十四郡ヲ建置沿革ニ就キ考說ジタルモノ）（甘雨亭叢書本）
五事略　二冊（五卷）
殊號事略　一卷
外國通信事略　一卷
琉球國事略　一卷
本朝寶貨通用事略　一卷
高野山事略　一卷
蝦夷志　一卷
南島志　二卷

◎第四冊

東雅　二十卷（享保四年）（內閣藏自筆本）
東音譜　一卷（刊行會本）
同文通考　四卷（正德中）（同　上）
朝鮮聘禮事　一卷（正德元年）（同　上）
朝鮮信使進見儀注　一卷（同上）（同　上）
朝鮮信使賜饗儀注　一卷（同上）（同　上）
朝鮮信使辭見儀注　一卷（同上）（同　上）
奉命敎諭朝鮮使客　一卷（同上）（同　上）
朝鮮國信書之式の事　一卷（同上）（同　上）
朝鮮信使議　一卷（同　上）（同　上）
朝鮮聘使後議　一卷（同　上）（同　上）
朝鮮應接記及抄釋　一卷（同　上）（同　上）
朝鮮冠服の事　一卷（同　上）（同　上）
國書復號紀事　一卷（同　上）（同　上）
以酊菴事議草　一卷（同　上）（同　上）

坐間筆語一卷（一名觀樂筆談、內殿飛樂筆談　正德元年）
江關筆談一卷（正德元年）
白雉帖一卷（正德元年（朝鮮へ贈リシ屏風ノ畫讃）
西洋紀聞三卷
采覽異言五卷（正德三年）

◎第五册

白石先生遺文二卷（附白石新井先生傳（甘雨亭叢書本）
白石先生遺文拾遺二卷（甘雨亭叢書本）
白石詩草一卷
白石先生餘稿三卷
高子觀遊記一卷
白石先生手簡一卷（刊行會本）
　與土肥元成書一通（刊行會本）
　與小瀨復庵書二通（新復手簡）（刊行會本）
　同五（名山藏手簡）（刊行會本）
　與安積澹泊書二通（新安手簡）（刊行會本）
　與室鳩巢書十通（新室手簡）（萩野本）
　與佐久間洞巖書四通（刊行會本）
　與建部內匠頭書一通（刊行會本）
退私錄三卷（刊行會本）
退私錄附言一卷（刊行會本）
白石先生紳書十卷（刊行會本）

◎第六册

鬼神論一卷（刊行會本）
孫武兵法擇十三卷（內閣本）
孫武兵法擇副言一卷（內閣本）
那須國造碑釋文并跋一卷（刊行會本）
樂對一卷（同　上）
正德年號辨一卷（萩野本）
經邦典例卷之六一卷（刊行會本）
白石建議八卷（庶政建議、改貨議、改貨後議（靜嘉堂本）
（改貨儀原本松方侯藏）
將軍宣下三拾一度儀不同次第一卷（內閣本）
進呈之案一卷（刊行會本）
決獄考一卷（刊行會本）
本朝軍器考十二卷（刊行會本）
本朝軍器考集古圖說二卷（圖入）（萩野本）
人名考一卷（刊行會本）
淮后考一卷（刊行會本）
武家官位裝束考一卷（刊行會本）
祭祀考一卷（刊行會本）

聖像考一卷（刊行會本）
國郡名考一卷（刊行會本）
日東行程考一卷（刊行會本）
地名河川兩字通用考一卷（刊行會本）
玉考一卷（刊行會本）
樂考一卷（刊行會本）
俳優考一卷（刊行會本）
品革威考一卷（刊行會本）
鎧直垂考一卷（刊行會本）
木瓜考一卷（刊行會本）
本佐錄考一卷（刊行會本）
新野問答一卷（小中村本）
車服制度手記一卷（黑川本）
新近問答一卷（大槻本）
文廟遺命一卷（刊行會本）
白石先生學訓一卷（同　上）
停雲集二卷（內閣本）
室新詩評一卷（同　上）
天爵堂壽言一卷（刊行會本）
天爵堂壽詩一卷（內閣本）

白石先生年譜一卷三田葆光
白石先生著述書目并附錄一卷堤朝風

◎近藤正齋全集　三册

◎第一册

近藤守重事蹟考一卷村尾元長（水哉叢書本）
幽囚後之近藤重藏一卷淺見安左衛門、東野善二郎共編
外蕃通書二十七册（朝鮮、阿蘭陀、明、安南、暹羅、柬埔寨、占城、太泥、田邏、呂宋、阿媽港、新伊西把、爾亞、漢文、利亞、交趾ヲ記ス）（內閣本）
邊要分界圖考八卷（吸夷唐太ト外國トノ境界ノ考）（井上本）
安南紀略藁二卷（史料本）
亞媽港紀略藁二卷（圖入）（史料本）

◎第二册

正齋書籍考四卷（卷首卷第一、二、三、經類、史類）（刊自筆本）
右文故事十六卷（文政六年刊）（史料本）
右文故事十六卷（御本日記注、寫本譜、文事、表詩歌慶長勅版等ノコト）（史料本）
同附錄五卷（金澤文庫、足利學校ニ關スルコト）（內閣本）（萩野本）
同餘錄四卷（宋本、刻本、摺寫、活字、點圖等ノコト）（內閣本）

◎第三册

好書故事三十六卷（缺本十數卷）（諸藝學校撰集、書籍ノコト）（自筆本）
正齋書籍考一卷（卷第三、經類）（重野本）
牙籤考及附錄二卷幷附記（書物ノ數ノ考）（圖入）（黑川本）
錢錄七卷幷存錄附錄（和漢古錢ノ考）（圖入）（史料本）

◎伴信友全集　五冊

◎第一冊

神名帳考證十四冊（延喜式神名帳ノ考）（圖入）（黑川本）
神名帳考證土代附考一冊黑川春村（圖入）（黑川本）

◎第二冊

肖像傳記略年譜和田信二郎
神社私考六卷（井上本）
神名帳標目私考一卷
神名帳標目私考附錄一卷
若狹國官社私考二卷
若狹國神名帳私考二卷
瀨見小河四卷（加茂神宮ノ考）（黑川本）
驗の杉一卷（稻荷神社ノ考）（黑川本）
八幡考一卷（若狹國遠敷郡八幡宮ノ考）（內閣本）
蕃神考一卷（朝鮮及支那人ヲ祀レル平野、飛鳥月、當宗神社ノ考）（黑川本）
正卜考三卷安政五年刊（太占、龜卜等ノ考、圖入）
中臣祓詞要解一卷（中臣祓ノ雜語ノ考）（小杉本）
神璽三辨一卷（三種神器ノ考）（黑川本）
大刀契考一卷（古來宮中ニ傳ハレル大刀、契ノ考）（自筆本）
鎭魂傳一卷（鎭魂法ノ考）（內閣本）
長谷寺多寶塔銘文長谷寺緣起劍僞一卷（大和國長谷寺千体佛銘文考　菅公ノ書ト云フ緣起ノ考）（黑川本）
上野國三碑考一卷（上野國多胡郡下池村碑同綠野郡山名村碑同山名上村碑文ノ考）（小杉本）

◎第三冊

竹葉祕抄一卷（皇族ノコト）（黑川本）
宇知津志麻幷餘言一卷（大和國ノコト）（黑川本）
高橋氏文考註一卷
松の藤靡幷附錄一卷（藤原氏ノコト）（黑川本）
殘櫻記二卷（南朝ノコト）
荒山大捷之碑一卷（朝鮮荒山ノ碑文）（小杉本）
中外經緯傳六卷（外交ノコト）
假字本末二卷（假字ノ考、木版入）（內閣本）
應聲考一卷（應答ノ聲ノ考）（黑川本）

◎第四冊

比古婆衣二十卷（內四卷刊本）（圖入）（自筆本）
長等山風二卷（弘文天皇御事蹟ノ考）（圖入）（自筆本）
同附錄四卷（自筆本）

◎第五冊

寶鏡秘考一卷（賢所神鏡ノコト　附日矛考）（圖入）（著者原稿本）
倭姬世記考一卷（谷森本）
佛神論一卷（附霧島山逆矛考）（內閣本）
方術源論二卷（一名方術考說）（內閣本）
周易私論二卷（一名易占辨）（井上本）
論鬼神新論一卷（平田篤胤ノ問ニ答ヘシモノ）（內閣本）
若狹舊事考一卷（圖入）（谷森本）
弓矢古義推考一卷（小杉本）
麻々伎考一卷（圖入）（小杉本）
靭考補證一卷（圖入）（小杉本）
神樂歌考一卷（小杉本）
古詠考一卷（小杉本）
表章伊勢日記附證一卷（內閣本）
動植名彙十卷（動植名ノ辭書未版二千餘箇入）（早稻田本）

◎菅政友全集　一冊

南山皇胤譜六卷（自筆本）
古事記年紀考一卷（同上）
淡能碁呂島考一卷（同上）
漢籍倭人考三卷（同上）
任那考三卷（同上）
藤原氏擅權考一卷（同上）
熊澤蕃山幽居始末一卷（同上）
雜稿四卷（同上）

國書刊行會出版圖書書名目錄

（五十音順、卷數ハ書名ノ下ニ）
（數字ノミヲ記シ卷字ヲ省ケリ）

●あ

愛染明王影向松 一 宇治加賀掾正本
奥羽海運記 一（河村瑞賢カ奥羽ニ於ケル官米漕運ノ航路ノ擴張セシコト）
朱樂館家集 一 朱樂菅江（アケラ）
阿漕平次 一（古淨瑠璃）
安積澹泊ニ與フル書 二 新安手簡
朝倉宗滴話記 一 宗滴物語
朝夷島わたり 一 寛文二年刊（金平本）
淺間山噴火記事 志賀紀豐（後見草附錄）
蘆分船六 一 無軒道治 延寶三年刊（土阪ノ地志）
東の紀行 一 野々口立圃
東の紀行 一 天滿梅翁宗因
吾妻めぐり 二 總永種久 色音論（江戸見物紀行）
敦盛 明曆本（孝若）
會津元和八年老人覺書 一
會津神社之訓詞 一 吉川惟定 寛文十一年成
會津風土記 一 保科正之 寛文十一年成
亞媽港紀略 藁二（圖入）
白水郎子紀行 三 岡西惟中（アマノスサビ）（四國ノ紀行）
（參考今昔）操淨瑠璃外題年鑑 一 樂撰（アヤツリ） 齋藤素彩訂

（今昔）操年代記 二 正本屋九左衛門（西澤一鳳） 享保十二年刊
あやめぐさ 一 芳澤あやめ述、（役者論語ノ中） 福岡彌五四郎記
新井家系 一 享保八年成
新井白石全集六 新井君美 八十二種、百九十六卷
有馬温泉記 一 西澤一鳳
（前期）青本書目 一 大久保豐（正德三安永三）
（增補）青本年表 一 蓮水散人編、大久保豐補 安永四ー文化三）
（增補續）青本年表 一 五車樓主人編、大久保豐補 文化四ー天保十四）
安南紀略 藁二

●い

幽囚後之近藤重藏
遊女考 一 相場長昭 藤原時代ヨリ德川時代マデ古書ニ見エタル遊女ノコトヲ抄出ス

新群五歌曲
新井三
新群十狂歌
同 五歌曲
新井五
續々十教育
新群九歌曲
燕石一
續々八地理
同 九同
同 上
燕石二
新群八舞曲
續々九地理
同 一神祇
續々八地理
近藤一
續々九地理
新群二演劇
同 七書目
同 上
同 上
近藤一
燕石一

右文故事十六　御本日記注、寫本譜、文事表、詩歌、慶長敕版　近藤二
同附錄五　金澤文庫足利學校　同　上
同餘錄四　宋本、活字、刻本、摺寫、點圖　同　上
いかづち論一（金平本）鶴屋板　新群九歌曲
（公平末春）いくさ論（金平本）萬治三年由本九兵衛板　同　上
勇金平（金平本）正德六年、西村傳兵衛板　同　上
石川忠總家臣大阪陣覺書一　續々四史傳
（表章）伊勢日記附證一　伴五
石上神宮御事抄一（物部光由傳本）　續々一神祇
一蝶流謫考一　凉仙老樵（山東京山）　續燕一
一谷坂落一　新群三演劇
出雲大社記一（千家正延傳本）　續々一神祇
以酊菴事議草一　新井四
糸竹初心集（三中村宗三寬文四年）琴三味線尺八ノ手引　新群六歌曲
絲割符由緒書一（伊藤權左衛門寬政十二年）　續々十六雜
磐城風土記一寬文九年成　同　八地理
岩清水物語二　同十五歌文
岩松家系附錄序說一　新井三
岩井半四郎最後物語一　新群三演劇

（ノヘツト）家土產一油煙齋眞柳　新群十狂歌
伊吹一（幸若）　同　八舞曲
異本洞房語園二庄司勝富（吉原ノコト）　同　上
今川かな手本一一名若後家卯の花重（京）今宮本地一（金平本）　新群三演劇
異聞雜稿二曲亭馬琴　同　九歌曲
伊豫守平範國記一永承三年高野山參詣記　續々五記錄
入鹿一（幸若）　新群八舞曲
（古今）いろは評林一（忠臣藏ノ評）　同　三演劇
隱州視聽合紀四寬文七年成　續々九地理
飲食狂歌合一宿屋飯盛判　新群十狂歌
筠庭雜錄二喜多村信節　續燕二

○う

于役日錄一林同陽子衡寬文三年（日光紀行）　續々九地理
浮世草子目錄一大久保豐（天和二―文化十二）　新群七書目
有卦入万倍曾我一　同　三演劇
宇佐太神宮緣起二（宇佐八幡宮緣起ニ同ジ）　續々一神祇
宇佐八幡宮緣起二一名宇佐太神宮緣起（建武二年寫）　同　上
歌系圖一流石庵羽積（小唄ノ作者、作曲者名寄）　新群六歌曲

宇多天皇宸記一（三代御記ノ中）　續々五記錄
宇知津志麻井餘言一（大和國ノコト）　伴三
（內宮）氏經日次記二（荒木田氏經永享、嘉吉、文安、寶德）　續々一神祇
馬揃一（幸若）　新群八舞曲

○え

易占辨周易私論ノ原名　伴五
蝦夷記一（寬文九年ノ記）　續々九地理
蝦夷志一　新井三
蝦夷島記一　續々九地理
江戶三座由緒書一立川焉馬（江戶三座芝居ノ由緒及ビ家ノ狂言ヲ記ス）　燕石二
江戶狂歌書目一野崎左人（天明年間ヨリ慶應年間マデ）　新群七書目
（近世）江都著聞集十一馬場文耕　燕石二
江戶塵拾五（江戶ノ名所名物ヲ記ス）　同　三
（慶長）江戶圖考一　同　上
江都百化物一　續燕二
江戶節根元記二可柳　燕石二
江戶眞砂六十帖五寶曆中成（江戶ノ出來事ヲ記ス）　同　一
江戶眞砂六十帖廣本十（江戶ノ出來事ヲ記ス五卷本ノ補遺）　同　二

江戶名所記七淺井了意　續々八地理
江戶往古圖說一　燕石三
江戶往來一貞德往來ノ一名　續々十教育
烏帽子折一（幸若）　新群八舞曲
延喜式工事解三春田永年附工事通解文化三年刊　續々六法制
延喜式工事解圖錄一（圖入）　同　上
艷色萬歲賴政一寶永五年刊（土佐少掾正勝正本）（古淨瑠璃）　新群五歌曲
燕石十種三冊活東子編原本六十種九十七卷
（續）燕石十種二冊本會編原本四十種　續々五記錄
院北面始記（北面假名記ニ同ジ）　同　十六雜
延曆六年曝凉帳一（卷首闕）　同　上
延曆十二年曝凉帳一

○お

老のたのしみ抄一市川柏筵（柏筵日次ノ雜記）　燕石三
應聲考一（應答ノ聲ノ考）　續々十教育
翁問答八中江藤樹慶安三年刊　新群八舞曲
（京四條）おくに歌舞妓一（古淨瑠璃）　續々十教育
忍城戰記一（天正十八年忍城主成田長氏籠城ノコトヲ記ス）　新群五歌曲
大坂陣山口休庵咄一（豐臣氏ノ臣山口休庵カ冬役ノ働ヲ記ス）　續々四史傳
　同　上

（石川忠總家臣）大坂陣覺書一　續々四史傳
淡能碁呂島考一　菅
笈さがし一（幸若）　新群八舞曲
御曹司初寅詣一　近松門左衞門　同　三演劇

○か

改貨議、改貨後議（正德貨幣改鑄ノ意見）　新井六
改過筆記一　曲亭馬琴　續燕二
高子觀遊記一　新井五
好色本目錄一　柳亭種彦　新群七書目
好書故事三十六（缺本十數卷）　近藤三
香宗我部氏記錄一（講筵、皇校、撰集、書籍ノ事）　續々四史傳
上野國三碑考一（土佐ノ香宗我部氏ノコトヲ記ス）　伴二
（四天王）高名物語一（古淨瑠璃）　新群五歌曲
高野山事略一　新井三
高野山參詣記一（上野國多胡郡下池村碑同綠野郡山名村碑同山名上村碑文ノ考）　續々五記錄
高麗史二冊（朝鮮鄭麟趾等奉勅撰一百三十ヵ卷）　續々六法制
（清正）高麗陣覺書一（高麗太祖ヨリ恭讓王マデノ歷史、我陽成天皇ヨリ後龜山天皇時代ニ當ル）　續々四史傳
講令備考十（稻葉正邦等文政中成）　續々六法制
樂考一　新井六
樂對一　同　上
（白石先生）學訓一（伊藤東涯元文版）　同　上
學問關鍵一　續々十敎育
神樂歌考一　伴五
景清一（幸若）　新群八舞曲
風爾津連奈幾物語二（金平本）　續々五歌文
敵討のいこん一（寬文八年、八文字屋板）　新群九歌曲
荷田大人創學啓一（荷田東麿春葉集附錄）　續々十敎育
梶の葉三（梶女寶永四年刊）　同十四歌文
葛飾記二（青山某葛飾ノ名所古蹟ヲ記ス）　燕石二
加藤家傳一（山崎闇齋曾溪院行狀記ノ內）　續々三史傳
加藤光泰貞泰軍功記一（寬延四年成）　同　上
金杉日記一（山崎美成）　續燕二
假字本末二（假字ノ考）　伴三
（業平）河內通一　新群三演劇
（花江都）歌舞妓年代記續編卅三（豐芥子）　同　四演劇
合卷外題集一　同　七書目

鎌倉記二（僧澤庵）　續々九地理
鎌田一（幸若）　新群八舞曲
紙屑籠一三升屋二三治　續燕二
神代餘波二（齋藤彦麿弘化四年隨筆）　燕石二
假面譜一（喜多古能寬政九年）　續々十六雜
上賀茂松下文書一（後鳥羽天皇ニ關スル）　同　上
賀茂祭再興記一（元祿七年賀茂祭記ニ同ジ）　續々一神祇
賀茂注進雜記一（加茂保可等延寶九年成）　同　上
（元祿七年）賀茂祭記一（野々宮定基一名賀茂祭再興記）　同　上
（續）歌林良材集二下河邊長流　續々五歌文
漢學紀源五伊地知季安　同　十敎育
漢籍倭人考三　菅

○き

貴嵐執政幷諸名家入道薙髮目錄一　續々二史傳
貴嵐領臣出家標目一　同　上
九州下向記一（是齋重鑑慶長三年）　續々五記錄
休照光記九（松前奉行羽太正養蝦夷地ニ關スルコトヲ記ス）　同　四史傳
九曆一（藤原師輔天曆ー天德）　同　五記錄
紀侯言行錄二（德川賴宣ノ事ヲ記ス）　續々三史傳
綺語文草二（西澤一鳳有馬溫泉記、暮秋北山廻リ、花洛紅葉見紀行）　新群二演劇
戲財錄一（並木五瓶）　續燕一
議奏歷一（延寶六年ヨリ弘化三年マデ）　續々二史傳
きさき爭ひ（金平本）貞享四年、うろこがたや板　新群九歌曲
機山公十七首一武田信玄　新井六
鬼神論一（論）鬼神新論一　伴五
木曾願書一（幸若）　新群八舞曲
畿內治河記一（河村瑞賢安治川木津川ヲ修セシコト）　新井三
（癸卯）于役日錄一（林尚陽子衡寬文三年日光紀行）　續々九地理
吉備烈公遺事一（湯淺元禎池田光政ノ言行ヲ記ス）　同　三史傳
疑問錄一（山崎美成）　續燕二
京今宮本地一（金平本）うろこがたや板　新群九歌曲
（江戶）狂歌書目（野崎左文）　續々五歌文
狂歌酒百首一曉月坊　同　十狂歌
狂歌醉竹集一（唐衣橘洲）　同　上
狂歌鳩杖集一（豐藏坊信海）　同　上
行基年譜一（泉高父宿禰安元元年成）　續々三史傳
狂言鷺蛙集二十（朱樂菅江等名古今馬鹿集）　新群十狂歌

京四條おくに歌舞妓實永五年刊（土佐少掾正勝正本）（古淨瑠璃）　新群五歌曲
恭靖先生遺稿三（木下貞幹文章ノ部）　續々十三詩文
京攝戲作者考一（鳥有山人）（木村默翁）　續燕一
京都往來一（鈴鹿定親）延寶二年成　續々十教育
京ひな形一（山下半左衛門）　新群三演劇
格五逸附格逸々（黑川春村）　續々六法制
脚色餘錄自序（西澤一鳳）　新群二演劇
脚色餘錄初編三同上　同上
脚色餘錄二編三同上　同上
脚色餘錄三編三同上　同上
玉葉三冊（藤原兼實）六十六卷（源平時代ノ記錄）
玉考一　新井六
玉仲遺文一（釋宗琇）　續々十三詩文
清重一（幸若）　新群八舞曲
清原右大將一（金平本）延寶五年、八文字屋板　同　九歌曲
清正高麗陣覺書一（下川兵太夫）　續々四史傳
清水觀音利生物語一（松本治太夫正本）（古淨瑠璃）　新群五歌曲
切兼曾我一（幸若）　同　八舞曲
切支丹宗門來朝實記一一名誠宗來朝記　續々十三宗教

吉利支丹物語二寬永十六年刊　續々十三宗教
契利斯督記一　同　上
近世江都著聞集十一（馬場文耕）（江月ノ出來事ヲ記ス）　燕　石　二
公平花壇破一（金平本）萬治四年　新群九歌曲
公平化生論一（金平本）　同　上
公平末春いくさ論一（金平本）萬治三年、山本九兵衛板　同　上
公平關破一（金平本）寬文二年、山本九兵衛板　同　上
公平誕生記一（金平本）鶴屋喜右衛門板　同　上
公平劍のりつ火一（金平本）うろこがたや板　同　上
公平天句問答一（金平本）和泉大夫正本正德六年、うろこがたや三左衛門板　同　上
公平入道山めぐり一（金平本）うろこがたや板　同　上
公平本表紙本文及挿畫見本（金平本）　同　上
公平むしや執行一（金平本）貞享二年、うろこがたや板　同　上

○く

公家新制一（弘長三年）　續々七法制
草雙紙書目一（大久保豐）　新群七書目
舊事本紀玄義五（神道書紀綠起）（僧慈遍元弘二年成（一六七八十缺）　續々一神祇
楠木合戰注文一　同　三史傳

忽那軍忠次第一（原本伊豫忽那氏本）　續々三史傳
忽那島開發記一（同上）　同　上
九條右丞相記一（九曆二同ジ）　續々五記錄
公方兩將記二（應仁ヨリ永正中マデ）　同　四史傳
熊澤蕃山幽居始末一　菅
熊野山開帳一（富永平兵衛）　新群三演劇
蚓の糸卷二（岩瀨京山弘化四年成）　燕石一
鞍馬出一（幸若）　新群八舞曲
黑田家老士物語一　續々十教育
懷橘談二（黑澤三右衛門承應中出雲ノ地志）　同　九地理
外國通信事畧一　新井三
外蕃通書二十七（朝鮮、阿蘭陀、明、安南、暹邏、爪哇、柬埔寨、占城、太泥、田彈、呂宋、阿媽港、新伊西把、儼亞、漢叉利亞ノ交通ノ記ス）（近藤一）
荒山大提之碑一（朝鮮荒山ノ碑文）　伴三
皇太神宮殿舍考證一（度會延經）（圖入）　續々一神祇
皇都午睡初編三（西澤一鳳）　新群一演劇
皇都午睡二編三同上　同　上
皇都午睡三編三同上　同　上
過眼錄一　續燕一
畫證錄一（喜多村信節）（下卷闕）（風俗ノコト圖入）　同　上

○け

繼芥記一　續々五記錄
藝鑑一（富永平兵衛）（役者論語ノ中）　新群三演劇
敬義先生集七（山崎闇齋垂加文集ニ同ジ）　續々十三詩文
契情阿波の鳴門　新群三演劇
傾情一張弓一津打治兵衛　同　上
（通俗）傾城三國誌一（古淨瑠璃）　同　上

傾城三鱗形一　新群三演劇
慶長十九年藥師院寶祐記一（天正二年、慶長十九年參詣正倉院ノコト）　續々十六雜
慶長千首一（慶長十年成）　同十四歌文
經邦典例（卷之六）一　新井六
藝備國郡志二（黑川道祐寬文三年（安藝備後ノ地志）　續々九地理
劇場新話二　燕石二
外宮神領目錄一（鎌倉時代カ）　續々一神祇
戲財錄一（並木五瓶）　續燕一
戲作外題鑑一（安永四年ヨリ文化三年マデ）　燕石三
（京攝）戲作者考一（木村默翁）　續燕一
戲作者小傳一（岡清兵衛ヨリ笠亭仙果マデ八十六人）　燕石一
戲作六家撰一（活東子）　同　上
（公平、花生論一（金平本）　新群九歌曲
牙籤考并附錄二及附記（書物ノ戲ノ考）　近藤三
決獄考一　新井六
顯戒論緣起一（最澄、上卷、下卷逸）享保元年刊　續々十二宗教
言狂作書三（傳奇作書初編ニ同ジ）　新群一演劇
賢外集一（染川十郎兵衛役者論語ノ中）　同　三演劇

建官考一（澁井孝德寶曆十二年成（舊幕府ノ官名ト支那官名トノ對譯）　續々七法制
源氏花鳥大全一（古淨瑠璃）（土佐少掾正勝正本、寶永五年刊）　新群五歌曲
源氏六條通一（古淨瑠璃）（土佐少掾正勝正本、寶永五年刊）　同　上
顯昭古今集註二十（僧顯昭文治元年成）　續々十五歌文
源注餘滴一冊（石川雅望五十四卷附清石問答）　新群八舞曲
元服曾我一（幸若）（寬永本）　同　九歌曲
源平武將論一（金平本）寬文二年、山本九兵衛板　續々十敎育
源平往來二元祿十四年刊　同　七法制
建武式目注一（清原業賢天文廿三年）　同　五記錄
見聞襍記一（宗承、長祿元ノ文明十年）（東寺ノ日記）　同　一神祇
元祿七年賀茂祭記一（野々宮定基一名賀茂祭再興記）　同　九地理
元和七年東海紀行一（江戶ヨリ）

こ

江海風帆草三（宮本重利等寶永元年（長崎ヨリ大阪ヘノ海上紀行）　續々九地理
江記一（大江匡房天仁元年）　同　五記錄
江關筆談一（正德元年）　新井四

江次第鈔七（一條兼良正月ヨリ六月マデ、圖入）　續々六法制
弘仁二年官物勘錄一（卷首欠）　同　十六雜
興福寺別當次第六（天平勝寶中ヨリ元龜元年マデ）　同　二史傳
興福寺法隆寺牒狀二（建久九年、乾元二年）　同　十六雜
興福寺濫觴記一（享保二年マデ）　同十一宗敎
弘法大師弟子傳二（僧智燈）　同　三史傳
古詠考一　伴五
後柏原院御日次結題一（永正十六年成正德六年刊）　續々七歌文
（日本）古刻書史一（朝倉龜三）
（顯昭）古今集註二十（僧顯昭）　續々十五歌文
故混馬鹿集二十（狂言鷺蛙集ニ同ジ）　新群十狂歌
古今夷曲集十（生白堂行風寬文五年）　同　上
吾吟我集十（石田未得慶安中）　同　上
古今いろは評林一（忠臣藏ノ評）　新群三演劇
古今要覽稿六冊（屋代弘賢等五百八十四卷（原本內閣等所藏傳寫本無ジ）
　部門　神祇、姓氏、時令、地理、曆占、歲時、器財、冠服、裝束、政事、遊戲、雜藝、伎藝、草木、人事、病痾、禽獸、蟲介、魚介、飲食、菜蔬、雜

國郡名考一　新井六
國字小說通一（木村默翁）　續燕一

後水尾天皇御製詩集一（金平本）、八文字屋板　國書復號紀事一
後水尾院御集一（延寶四年）　古事記年紀考一
　（慶越一（幸若）（寬永本）
　古史通四（正德六年（神代ヨリ神武天皇迄史蹟ノ概要ヲ論ジタルモノ）
　古史通或問二（正德六年（古史通ニ或問ヲ設ケ記述シタルモノ）
　子四天王北國合戰（寬文二年）
　五十四郡考一（奧州五十四郡ヲ建置沿革ニ就キ考說シタルモノ）
後十輪院內大臣詠草一（中院通村）
五事略五
御成敗式目注一
與小瀨復庵書二（新復手簡）
同五（名山藏手簡）
後選夷曲集十（生白堂行風）
小袖曾我一（幸若）（寬永本）
古點譜一（高雄寺傳來）
木葉衣二（行智修驗山伏ノコトヲ記ス）
葬盤忠信一（金平本）

（萬里小路）惟房公日記一　續々五記錄
瑚璉集二度會家行　同　一神祇
（賴義）金剛山合戰一（古淨瑠璃）　新群五歌曲
金剛寺古記寫一　續々三史傳
今昔操年代記二正本屋九左衛門（西澤一鳳）　新群六歌曲
近藤守重事蹟考一村尾元長　近藤一
（幽囚後之）近藤重藏一淺見安左衛門、東野善一郎共編　同　上
近藤正齋全集三冊近藤守重著、本會編
十五種百十六卷

◎さ

祭祀考一　新井六
（岩井半四郎）さいご物語一　新群三演劇
齋藤基恒日記一　續々五記錄
采覽異言五正德三年　新井四
曹溪院行狀記一（原本大洲曹溪院本）　續々三史傳
雙倉北雜物出用帳一（天平勝寶八ー延曆三）　同　十六雜
滄洲樓家集一馬場金埒　新群十狂歌
增補續青本年表一五車書樓主人編、大久保豐補
（文化四年ヨリ天保十四年マデ）　同　七書目
雙林寺傳記一長尾昌賢影像記、上杉傳來記　續々四史傳
堺鑑三衣笠一閑
天和三年刊　續々八地理
坐間筆語一一名內殿燕樂筆記、　新井四
作者店卸一　新群三演劇
與佐久間洞巖書四　新井五
（狂歌）酒百首一曉月坊　新群十狂歌
（新撰）座主傳三進藤爲善
（八十八代ヨリ百二十三代マデ）　續々二史傳
雜稿四菅政友　菅
薩摩外記正本の序文（古淨瑠璃）　新群五歌曲
佐渡島日記一佐渡島長五郎蛇智坊　同　十狂歌
（役者論語ノ中）
佐野宗綱記一（下野佐野城主宗綱　續々四史傳
等ノ事蹟ヲ記ス）
淋しき座の慰み一延寶四年成　新群六歌曲
（寬永ヨリ延寶マデノ流行唄）
續物出入繼文一（天平勝寶四ー齊衡三）　續々十六雜
雜物出入帳一（弘仁五ー天長三）　同　上
佐遊李葉三百合女　續々古歌文
享保十二年刊
査沃餘錄一（甸支丹組屋敷日記）　同十二宗教
猿樂沿革考一一名柴番由來、川崎重恭　燕石一
猿樂傳記二一名傒樂傳記　同　一
享保中成
殘櫻記二（南朝ノコト）　伴三

參考今昔操淨瑠璃外題年鑑一一樂撰、齋藤素影訂　新群七書目
三絃根元記一（なら柴三同ジ）　燕石三
三州俗聖起請十二箇條事一　續々十六雜
三社託宣畧抄一慶安三年成　同　一神祇
三世二河白道一（古淨瑠璃）寬永五年刊　新群五歌曲
（土佐少掾正勝正本）
三代制符一（建久、寬喜、文永）　續々七法制
三代御記三（宇多、醍醐、村上三帝ノ宸記）　同　五記錄
山東京傳一代記一　續燕二
三德抄二林道春
古板
讀佛乘初編三西澤一鳳　新群十敎育
讀佛乘二編三同　上　新群二演劇
三藐院殿記一（近衛信尹）　同　上
（天正十八年）　續々五記錄

◎し

周易私論一原名易占辨　伴五
衆妙集一細川元旨　續々古歌文
寬文十一年奧書　同　十三宗教
寺格帳二　燕石三
鹿の卷筆五鹿野武左衛門（落語集）　續々六法制
式逸二和田英松

色音論二東めぐりニ同ジ　燕石二
色道大鏡九（卷九缺）畠山淇山　續燕二
式亭雜記一式亭三馬　同　一
（文化七、八年）
自遣往來一一名江戶往來　續々十敎育
古板本
四國落一（幸若）（寬永本）　新群八舞曲
事語繼志錄二奧村保之　續々三史傳
（松平信綱ノ事ヲ記ス）
寺社寶物展閱目錄五寬政四年　同　十六雜
耳塵集二（金子吉左衛門　新群三演劇
役者論語ノ中）
事蹟合考五柏崎具元　燕石一
（江戶ノコトヲ記ス）
志田一（幸若）（寬永本）　新群八舞曲
侍中群要十橘窗相　續々七法制
（藏人ノ職掌ヲ記ス）
（南都）七大寺巡禮記一　同十一宗教
靜一（幸若）　新群八舞曲
室新詩評一　新井六
賤のをだまき一森山孝盛　燕石一
享和二年成（江戶市中ノ風
俗ヲ記ス）
四天王高名物語一金平ぐんぼうやぶり　新群五歌曲
寬文二年（古淨瑠璃）
四天王最後一（金平本）　同　九歌曲
四天王大田合戰一すけたけ牢やぶり　同　五歌曲
寬文二三年頃（古淨瑠璃）

四天王筑紫責一（金平本）延寶五年、八文字屋板
四天王むしや執行一（金平本）萬治二年
四天王若盛一（金平本）うろこがたや板
四天王女大力手捕軍一（金平本）うろこがたや板
品革威考一
芝居乘合話一中村重助放一（劇場新話ノ原本）
芝居町觸書一東關洲
集外歌仙一後水尾上皇御撰　寛政九年刊
集古十種四冊松平樂翁　八十五卷
十八大通一三升屋二三治
十番切一（幸若）（寛永本）
島原天草日記一（松平甲斐守綱ノ從軍日誌）
島原一揆松倉記一（寛永十四年島原一揆ノ始末）
下京中出入之帳一元龜四年
（法皇外紀）綸門鴻寶一僧元策
將軍宣下三拾一度儀不同次第一
正倉院御開封記草書一元祿六年
正倉院御開封勘例等御尋之日記一享保七年
正倉院寶物御開封事書一天保四年
天保四年　正倉院御寶物目錄一

新群九歌曲
同　上
同　上
同　上
新井六
新群三演劇
燕石三
續々古歌文
續燕二
新群八舞曲
續々四史傳
同　上
續々十六雜
同　二史傳
新井六
續々十六雜
同　上
同　上
同　上

（大法師）淨藏傳一
（神道）生死之說一跡部光海（真顯）
正德追善會我一一名寶永忠信物語（市川十牛ノコト）
正德年號辨一
商賣往來一流布版本
聲明源流記一（聲明ノ源流ヲ記ス）（原本東大寺眞言院藏）
竹本豐竹　淨瑠璃譜二文化元年、太田南畝序
釋迦八相記一附佛母山蟻人　寛文九年（古淨瑠璃）
車服制度手記一
沙彌惠空百首一九條植通　天正十八年成
洒落本目錄一大久保豐（享保十三年ヨリ天保六年マデ）
殊號事略二
准后考一
出世太平記一（古淨瑠璃）（薩摩外記正本）
酒天童子一（古淨瑠璃）（宇治加賀掾正本）
春鑑抄一林道春　慶安元年刊
舜水先生行實幷略譜一今井弘濟、安積覺
（南都七大寺）巡禮記一
（入唐求法）巡禮行記四

續々三史傳
同　一神祇
新群三演劇
新井六
續々十教育
同十二宗教
燕石二
新群八舞曲
新井六
續々古歌文
新群七書目
新井三
同　六
新群五歌曲
同　三歌曲
續々十六雜
同　三史傳
同十一宗教
同十二宗教

（天正十六年）聚樂亭御歌會御歌一
常德院畫像贊一僧周麟（足利義尙ノ事ヲ記ス）
諸國御關所覺書一
諸國盆踊唱歌一
諸宗階級二（德川時代各宗階級衣躰等ノ記）
（本朝）諸社一覽八坂內直賴
諸職往來一古版本
庶政建議八
書大體一齋藤淨玄　文明中
（東奧）白河往昔之記一
驗の杉一（稻荷神社ノ考）
（末武）印問答一（金平本）山本九兵衛板
神學承傳記一（觀音堂吉川惟足傳）
（類聚）神祇本源十五度會家行
新安手簡二（安積澹泊ニ與フル書ニ同ジ）
新近問答一
新室手簡十（與室鳩巢書ニ同ジ）
新曲一（幸若）（寛永本）
神祇靈應記一僧春山
神宮祕傳問答一度會延貳　萬治三年成

續々古歌文
同　三史傳
同　七法制
新群六歌曲
續々十三宗教
同　一神祇
同　十教育
新井六
續々十六雜
同　八地理
伴二
新群九歌曲
續々一神祇
同　上
新井五
同　六
同　五
新群八舞曲
續々一神祇
同　上

神皇系圖一（眞福寺本）聖德太子撰ト云フ
神皇實錄一藤原圓人撰ト云フ　弘仁六年成
新群書類從十二冊本會編　百九十九種三百八十二卷
神璽三辨一（三種神器ノ考）
神社私考六
神社便覽一白井宗因　寛文四年成
（白石先生）紳書十
新撰菟玖波集二十僧宗祇（連歌ノ集）　明應中成寛保三年刊
新撰座主傳三進藤爲善（八十八代ヨリ百二十三代マデ）
新撰六帖題和歌六寬元二年成（家良爲家知家行家光俊歌）
神道生死之說一跡部光海（真顯）　寶永中成
神道書紀緣起五（舊慈遍）（舊事本紀玄義ニ同ジ）
神道辨草一源忠義　享保八年成
進呈之案一
（豐葦原）神風和記三僧慈遍
新復手簡二（與小瀨復庵書ニ同ジ）
神名帳考證十四（延喜式神名帳ノ考）（圖入）
神名帳考證土代附考一黑川春村（圖入）

續々一神祇
同　上
續々一神祇
新井五
續々一神祇
新井六
伴一
同　上

神名帳標目私考一、同附錄一　伴二
人名考一　新井六
莘野茗談一 平侯東作　續燕一
新野問答一　新井六
新吉原略說一 山崎美成　燕石二

●す

（狂歌）醉竹集一 唐衣橋洲　新群十狂歌
菅谷傳記一（常陸小田氏ノ幕下菅谷氏ノコトヲ記ス）　續々四史傳
菅原親王一（金平本）寬文三年　新群九歌曲
漉根惡太郎一（金平本）寬文四年　同　上
須々美草一 建部綾足　續燕二
相撲傳書一 木村守直　燕石二
隅田川一（古淨瑠璃）（山本土佐掾正本）　新群五歌曲
駿河臺志一（江戶駿河臺ノ事ヲ記ス）　燕石二
垂加文集七 山崎闇齋　續々十三詩文
末武印問答一（金平本）山本九兵衛板　新群九歌曲

●せ

惺窩先生行狀一 林羅山　續々三史傳
惺窩先生文集十二 藤原惺窩　續々十三詩文
惺窩先生倭訓集五　同十四歌文
正齋書籍考四（卷首卷第一、二、三、經類、史類）文政六年刊　近藤二
正齋書籍考一（卷第三、經類）　同　三
聖像考一　新井六
清神秘錄一 北流山人　續燕二
西征日記一 僧天荊（文祿之役ノ從軍日記ナリ）　續々三史傳
清石問答一（源注餘滴ノ附錄）
正卜考三 安政五年刊（太占、龜卜等ノ考）　伴二
西洋紀聞三　新井四
（國字）小說通一 木村默翁　續燕一
消息往來一 高井蘭山　續々十教育
招提千歲傳記九 僧義澄　同十一宗教
元祿十四年成（招提寺本）
笑話書目一 大久保豐（元和九年ヨリ慶應二年マデ）　新群七書目
尺五先生全集二 松永尺五　續々十三詩文
（諸國御）關所覺書一　同　七法制
（公平）關破一（金平本）　新群七歌曲
是齋重鑑九州下向記一（慶長三年）　續々五記錄
世田谷私記一（武藏世田谷ノ領主蒔田氏ノコトヲ記ス）　同　四史傳
瀨田問答一 太田南畝問、瀨名貞雄答（江戶ノ地理等）　燕石一
瀨見小河四（加茂神宮ノ考）　伴二
善光寺一（古淨瑠璃）　新群十五歌曲
千五百番歌合二十（歌合中ノ最歌數多キモノ）建仁元年成　續々古歌文
仙臺百首一 馬場金埒　新群十狂歌
仙道曾津元和八年老人覺書一　續々九地理
善導記一（古淨瑠璃）寬文十年　新群五歌曲
錢錄七卉 存錄附錄（和漢古錢ノ考）（圖入）　近藤三

●そ

宗因東の記行一　續々九地理
宋雅道すがら之記一 飛鳥井雅緣　同　上
（應永卅四年）
宗五大双紙五　同　七法制
宋人陳和卿濫妨停止下文一 元久三年四月　同　十六雜
宗長居士傳一 福住道祐　同　三史傳
寬文八年成
宗滴物語一（朝倉宗滴話記ニ同ジ）　同　十教育
增補松の落葉六　新群六歌曲
僧妙達蘇生注記一 天治二年　續々十六雜
續燕石十種二冊 本會編　續々十五歌文
原本四十種
續歌林良材集二 下河邊長流　同　五記錄
貞享元年刊
續皇年代略記一 小野高潔　同　二史傳
賊宗來朝記一（切支丹宗門來朝實記ニ同ジ）　續々十三宗教
俗耳鼓吹一 太田南畝　燕石二
天明八年（蹟華）
續耳塵集一 民屋四郎五郎（江音）　新群三演劇
（役者論語ノ中）
續々群書類從十六冊 木會編　三百六種七百卅五卷
部門　神祇、史傳、記錄、法制、地理、
歌育、宗教、詩文、歌文、雜、
續南行雜錄一 佐々宗淳　續々三史傳
續吉原書籍目錄一 大久保豐　新群七書目
其昔がたり一 三木隆盛　續燕二
存覺上人一期記一　續々三史傳
尊語集抄一（明德嘉言誌）（峰須賀家政以下三代ノ言行ヲ記ス）　同　上
孫武兵法擇十三　新井六
孫武兵法擇副言一　同　上

●た

大安寺碑文一 淡海三船　續々十六雜
寶龜六年
醍醐天皇宸記一（三代御記ノ中）　同　五記錄
大師先德明匠記一 常州小野逢善寺定珍　同十二宗教
（天台宗ノ故實）萬治三年刊
大乘院日記目錄三卷 尋尊僧正　同　三史傳
大職冠一（幸若）（寬永本）　新群八舞曲

退私錄三　新井五
退私錄附言一　同　上
大盡舞考證一（山東京傳享和四年）　燕石三
大刀契考一（古來宮中ニ傳ハレル太刀、契ノ考）　伴二
大法師淨藏傳一　續々三史傳
大平記一冊廿六卷（神田本）（原本神田男爵所藏、傳寫本無シ）
當麻中將姬まんだらの由來一　新群三演劇
對面曾我一（古淨瑠璃）（寶永五年刊（土佐少掾正勝正本）　同　五歌曲
桃源遺事五（永戸黃門ノ傳及言行ヲ記ス）　續々三史傳
當今年中行事一（中御門院時代）　同　七法制
道成寺考一（屋代弘賢）　燕石三
當世武野俗談一（馬場文耕寶曆七年（江戸ニアリタル珍ラシキ人ノ事ヲ記ス）　同　二
高館一（幸若）（寬永本）　新群八舞曲
高橋氏文考註一　伴三
多賀谷七代記一（常陸下妻城主多賀谷氏ノコトヲ記ス）　續々四史傳
高尾考一（原武太夫盛和太田南畝等補）　燕石一
高尾考一（山東京山）　續燕二
（貞德）他行道の覺一　續々八地理
輿建部內匠頭書一　伴五

竹本豐竹　淨瑠璃譜二太田南畝序　燕石二
只今お笑草一二代目瀨川如皐　續燕二
匡遠記一（左大史小槻宿禰タントホ（親應））　續々五記錄
但馬國太田文一弘安八年　同　十六雜
辰巳無人島訴狀幷口上留書一（小笠原民部延寶八年小笠原島へ航海ノ記（圖入））　同　九地理
田邊城合戰記一　同　三史傳
棚守房顯手記一（嚴島ノ神官棚守氏ノ舊記）　同　四史傳
平知信記一（中宮大進知信（長承四年））　同　五記錄
平範國記一（高野山參詣記ニ同ジ）　同　上
踏雲錄事一（行智（修驗山伏ノコトヲ記ス）　同十二宗教
玉菊考一（山崎美成）　燕石二
玉津島の御本地一（古淨瑠璃）延寶五年　新群五歌曲
爲兼卿家集補遺一（藤原爲兼文政元年刊）　續々古歌文
（吉田）爲經卿記一　同　五記錄
端郡風土記一（越後蒲原郡小川庄地志）　同　八地理
澹泊齋文集八安積覺　同十三詩文

◎ち

中外經緯傳六（外交ノコト）　伴三

中家實錄二十（有職故實ニ關スル中原家ノ秘記）　續々十六雜
中古劇場說二（江戸俳優ノ逸話、江戸京雛波俳優名家畧系及江戸淨瑠璃畧系）　燕石二
中山日錄一（堀杏庵寬永十三年（日光紀行））　續々九地理
中本書目一（大久保豐寶曆六年ヨリ文久三年マデ）　新群七書目
親綱卿記一（文祿四年）　續々五記錄
竹榮祕抄一（皇族ノコト）　伴三
（那須與市）竹生島詣一（古淨瑠璃）　新群五歌曲
竹豐故事三一樂寶曆六年成　同　六歌曲
（編修）地誌備用典籍解題總目錄二（松平（池田、定常原撰幕府學問所補）　續々十六雜
地名河川兩字通用考一　新井六
貞應弘安式目一　續々七法制
（東寺）長者補任五　同　二史傳
張良一（幸若）　新群八舞曲
長祿二年記一（東寺ノ日記）　續々五記錄
貞慧傳一　同　三史傳
茶番由來一（川崎重恭（戲樂沿革考ニ同ジ）　燕石二
千代茂登草一（藤原惺窩天明八年刊）　續々十敎育
塵塚談二（小川顯道文化中成（隨筆））　燕石一

鎭魂傳一（鎭魂法ノ考）　伴二

◎つ

通俗傾城三國誌一（古淨瑠璃）寶永五年刊（土佐少掾正勝正本）　新群五歌曲
築島一（幸若）（寬永本）　同　八舞曲
月能桂二（日吉祭禮記）綠樹軒松順　續々一神祇
月天王）筑紫責一（金平本）　新群九歌曲
（新撰）菟玖波集二十僧宗祇　續々古歌文
土御門右府記一（師房長元七年）　同　五記錄
土屋忠兵衛知貞私記一（大坂兩役ノコトヲ記ス）　同　四史傳
津戶三郎一（古淨瑠璃宇治加賀掾正本）　新群五歌曲
綱金時最後一（金平本寬文元年）　同　九歌曲
壺すみれ一黑川春村　續燕二
劍鑽歎一（幸若）（寬永本）　新群八舞曲
（公平）劒のりつ火一（金平本）　同　九歌曲

◎て

停雲集二　新井六
定家一（古淨瑠璃寶永五年刊（土佐少掾正勝正本）　新群五歌曲
貞山公詩鈔一伊達政宗　續々十三詩文

貞信公記一（藤原忠平）　續々五記錄
貞德他行道の覺一（天正十一年ヨリ上方へ紀行）　同　八地理
釣客傳二（黑田五柳）　續燕一
朝鮮應接記及抄釋一　新井四
朝鮮冠服の事一　同上
朝鮮國信書之式の事一（正德元年）　同上
朝鮮信使議一　同上
朝鮮信使進見儀注一（正德元年）　同上
朝鮮信使賜饗儀注一同上　同上
朝鮮信使辭見儀注一同上　同上
朝鮮聘使後議一　同上
朝鮮聘禮事一（正德元年）　同上
條々聞書貞丈抄五（伊勢貞頼入道宗五撰、貞丈注一名宗五大双紙、圖入）　續々七法制
敵戒說一（林道春、春齋、春德古板）　同　十敎育
謫居童問六（山鹿素行寬文八年成）　同上
傳奇作書初編（言狂作書）三（西澤一鳳）　新群一演劇
傳奇作書拾遺二同上（歌舞妓淨瑠璃ノ故實ヲ記セル珍書）　同上
傳奇作書殘編三同上　同上
傳奇作書續編三同上　同上
傳奇作書附錄三同上　同上

傳奇作書後集三（西澤一鳳）　新群一演劇
傳奇作書追加一同上（下ノ卷）　同　三演劇
天口事書一（伊勢神宮ノコトヲ記ス）（金平本）　續々一神祇
天狗羽打一（萬治三年）　新群九歌曲
（公平）天句問答一（金平本）　同上
傳奏次第一（一名武家傳奏次第慶長八年ヨリ寬政五年マデ）　續々二史傳
天正十六年聚樂亭御歌會御歌一　同十四歌文
天正日記一（內藤清成天正十八年）　同　五記錄
天正二年截香記一　同　十六雜
殿上闇討女袖鑑一（金平本）延寶五年　新群九歌曲
（皇太神宮）殿舍考證一度會延經　續々一神祇
（豐受皇太神宮）殿舍考證一同上　同上
天爵堂壽言一　新井六
天爵堂壽詩一　同上
天台要曆一（卷六）（明治三年マデ）　續々二史傳
（增補）田園類說一（小宮山本進撰、谷本敎等增補天保十三年校正）　同　七法制

◎と

東奧白河往昔之記一　續々九地理
東音譜一　新井四

東雅二十享保四年（元和七年）東海紀行一　新井四
東寺長者補任五（弘仁十一年ヨリ寬永十一年マデ）　續々九地理
動植名彙十　同　二史傳
東照宮大權現緣起一　伴五
東大寺要錄十（信親嚴原本東大寺所藏國寶）　續々一神祇
同醍醐本一（原本醍醐寺所藏）　同十一宗敎
東大寺續要錄九（原本東大寺所藏國寶）　同上
東大寺古文書目錄一享保十二年寫　同上
東大寺正倉院開封記一（元祿六年四聖坊ノ記錄）　同　十六雜
東大寺敕封藏目錄記二（建久四、寬元四、弘安十一年）　同上
東大寺三藏御寶物御改之帳一慶長十七年　同上
東大寺三倉開封勘例一（金珠院庸性天平ー寬文六）　同上
東大寺法華堂要錄一　同上
東大寺繪所日記一（天文四年）　續々五記錄
（異本）洞房語園二　燕石三
洞房語園後集一（庄司道祖判宮）　續燕一
同文通考四正德中　新井四
東寶記八（杲寶敎王護國寺ノ記錄）（原本東寺所藏）　續々十三宗敎
富樫一（幸若）（寬永本）　新群八舞曲

言國卿記一（文明六ー十三年）　續々五記錄
常盤問答一（幸若）（寬永本）　新群八舞曲
讀史餘論三（正德二年將軍家宣ノ御前ニ於テ歷史ヲ論ジタルモノ）　新井三
德永種久紀行一元和三年　續燕一
德和歌後萬載集十七（四方赤良等天明五年）　新群十狂歌
土佐淨瑠璃目錄及序文（古淨瑠璃）　同　五歌曲
土佐日記一（古淨瑠璃寶永五年刊（土佐少掾正時正本））　同上
俊賴口傳集二源俊賴　續々十五歌文
土德編一（吉川惟足延寶七年成）　同　十六雜
（北里蟻塲）隣の疝氣一原武太夫盛和　同上
與士肥元成書一　燕石三
軻考補證一　新井五
（平）知信記一中宮大進知信　伴五
豐葦原神風和記三（僧慈遍與國元年成）　續々五記錄
豐受皇太神宮殿舍考證一（度會延經圖入）　同　一神祇

◎な

內宮氏經日次記二（荒木田氏經永享十三年、嘉吉二年、三年、文安五年、六年、寶德二年、三年、四年）　續々一神祇
內殿燕樂筆記一（坐間筆語ニ同ジ）　新井四

長崎緣起略記　一　僧法昭　正德二年成
中臣祓詞要解　一（中臣祓ノ雜詁ノ考）
中山文七　一代狂言集　一
長等山風二、附錄四（弘文天皇御事蹟ノ考）
梨本集　三戸田茂睡　元祿十二年刊
名古屋山三郎　一（古淨瑠璃、寬永五年刊　土佐少掾正勝正本）
那須國造碑釋文并跋　一
那須與一　一（幸若）（寬永本）
那須與市竹生島詣　一（古淨瑠璃）　附舟いくんの事　寬文二三年頃
浪花五俠傳　一（土阪五人男ノコト）
浪速人傑談　二　政田義彦
淨琉璃文　難波土產五穗積以貫
旬評注
並木正三　一代話　一
なら柴　一（原武太夫盛和、一名三絃根元記　淨瑠璃ノコト）
業平河內通　一
（續）南行雜錄　一　佐々宗淳
南向茶話　一　付追考酒井忠昌　明和二年成（江戶ノ地理）
南山皇胤譜　六
南水漫遊初編　五濱松歌國
南水漫遊拾遺　五濱松歌國
南水漫遊續編　五同上
南島志　二
南都衆徒入洛記　一（保延五ー久安六年）
南都七大寺巡禮記　一　上（下卷迭）

○に

二倉道具目錄　一　元祿六年
西澤一鳳小傳
二十二社略記　一　長島泓昌　元祿十二年成
耳塵集　二　金子吉左衛門（役者論語ノ中）
（續）耳塵集　一　民屋四郎五郎（江音）（役者論語ノ中）
入唐求法巡禮行記　四（圓仁等入唐求法ノ記　國寶）（原本東寺所藏）
日東行程考　一
日本古刻書史　一　朝倉龜三
日本略記　一
日本兩武將始　一（金平本）　岡五郎兵衛
日本王代記　一　并神武天皇のゆらひ（古淨瑠璃）　延寶二年
仁和寺御寶物實錄　一（承平四ー天曆四年）
人情本目錄　一　十久保豐（文政二年ヨリ安政六年マデ）

續々八地理
伴二
新群三演劇
伴三
續々五歌文
新群五歌曲
新井六
新群八舞曲
同　五歌曲
燕石一
續燕一
新群六歌曲
同　三演劇
燕石三
新群三演劇
續々三史傳
燕石一
菅
新群二演劇

新群二演劇
同　上
新井三
續々五記錄
同十一宗教

續々十六雜
新群一演劇
續々一神祇
新群三演劇
同　上
續々十三宗教
新井六

續々八地理
新群九歌曲
同　五歌曲
續々十六雜
新群七書目

○ぬ

沼田記　一（上野沼田濱主平經信ノ家ノコトヲ記ス）

續々四史傳

○ね

（當今）年中行事　一

續々七法制

念佛往生記　一（古淨瑠璃）　（竹本筑後掾正本）

新群五歌曲

○の

後は昔物語　一　手柄岡持（平澤常富）　享和三年成（隨筆）

燕石一

後見草　三　上卷一名明曆恙談錄、龜岡宗山　中下卷、杉田詞鸞　附錄淺間山噴火記事、志賀紀豐

伊豫守平）範國記　一（高野山參詣記ニ同ジ）

同　上

（伊豫守平）範國記　一（高野山參詣記ニ同ジ）

續々五記錄

○は

俳優考　一

新井六

俳諧古文庫　二　曲亭馬琴

續燕一

俳諧書籍目錄　一　阿誰軒編、漆山天童補

新群七書目

梅幸集　一

同　三演劇

寶永忠信物語　一（正德迫善曾我ニ同ジ）

同　上

望海每談　一（江戶ノ舊事古蹟ヲ記ス）

燕石三

寶鏡秘考　一

伴五

方術（源論）

同上

奉命敎諭朝鮮使客　一　正德元年

新井四

鳳啼集　一　後光明天皇御製詩文

續々十三詩文

博戲犀照　一　山崎美成

續燕一

博多露左衛門色傳授　一（古淨瑠璃）　寶永五年刊　土佐少掾正勝正本）

新群五歌曲

白石詩草　一

新井五

白石建議　八　庶政建議、改貨議、改貨後議　改貨儀原本松方侯藏）

同　六

白石先生遺文　二　附白石新井先生傳　（史論）

同　五

白石先生遺文拾遺　二

同　上

白石先生學訓　一

同　六

白石先生手簡

同　五

白石先生紳書　十

同　上

白石先生著述書目　并附錄　一　堤朝風

同　六

白石先生年譜　一　三田葆光

同　上

白石先生餘稿　三

同　五

白雉帖　一　正德元年（朝鮮ヘ贈リシ屏風ノ畫讃）

同　四

箱傳授　一

新群三演劇

箱根山中城責由來一（天正十八年秀吉山中城ヲ責メシトキノコトヲ記ス）　續々四史傳
長谷寺多寶塔銘文（大和國長谷寺千佛銘文考）
長谷寺緣起劍傳（一）（一）（菅公ノ書ト云フ緣起ノ考）　伴二
八幡考一（若狹國遠敷郡八幡宮ノ考）　同上
（宇佐）八幡宮緣起二　續々一神祇
八幡太郎誕生記一（金平本）　新群九歌曲
（御曹司）初寅詣一（藤屋板）　同　三演劇
破提宇子一巴毗舍著　續々十三宗教
伴天連記一　同　上
（狂歌）鳩杖集一（豐臧坊信海）　新群十狂歌
花筏芳野內裏一（古淨瑠璃）（寶永五年刊）（土佐少掾正勝正本）　同　五歌曲
花江都歌舞妓年代記續編卅三（豐芥子編）（原本田村成義氏藏）　同　四演劇
土津靈神言行錄二（保科正之ノ事ヲ記ス）　續々三史傳
土津靈神正學記一（跡部良顯）（正德二年）（土津靈神ハ保科正之）　同　一神祇
濱出一（幸若）（寬永本）　新群八舞曲
濱松歌國小傳　同　二演劇
藩翰譜十二附系圖五（元祿十四年）　新井一

藩翰譜續編十三近藤吉左衛門等　新井二
蕃神考一（朝鮮及支那人ヲ祠レル平野、飛鳥戶、當宗神社ノ考）　伴二
伴信友全集五冊伴信友著、本會編（四十一種百二卷（細目ハ別々ニ擧ゲ））　同上
伴信友肖像、傳記、略年譜

ひ

比古婆衣二十內四卷刊本　伴四
肥前國有馬古老物語一（肥前高來郡島原管內北有馬村農夫覺記）　續々十三宗教
筆海要津一藤原信西　同　十六雜
獨寢一柳澤里恭　燕石二
夷歌式一生白堂行風（後撰夷曲集ニ添フ）　新群十狂歌
夷歌百鬼百與一（古今）（ヒヂリ）夷曲集十　同　上
（後撰）夷曲集十　同　上
美福門院御文一　續々十六雜
病後手習一八重垣翁伴部安元文三年成　同　一神祇
兵庫名所記二植田下省子寶永七年刊　同　八地理
兵部卿物語一　同十五歌文
日吉祭禮記一綠樹軒松順　續々一神祇
平賀源內實記五（標齋老人天明八年）　燕石二

平島記一（阿波平島公方三好氏ノコトヲ記ス）　續々四史傳

ふ

風葉和歌集二十文永八年成（物語ノ歌ヲ集ム）　續々十四歌文
笛之卷一（幸若）（寬永本）　新群八舞曲
深川珍者錄四　續燕一
武家官位裝束考一　新井六
武家傳奏次第一　續々二史傳
武江年表補正略一喜多村信節　續燕一
舞曲扇林二河原崎權之助　同　二
（棚守）房顯手記一　續々十六雜
伏見常盤一（幸若）（寬永本）　新群八舞曲
武將家落髮標目一　續々二史傳
普照國師年譜二（僧性日、僧性派）（黃檗山ノ開祖隱元ノ行實ヲ記ス）　同　三史傳
舞臺百箇條一杉九兵衛（役者論語ノ中）　新群三演劇
佛神論一附霧島山逆矛ノコト　伴五
藤原氏擅權考一　菅
夫木和歌抄幷索引二冊（藤原長清撰僧契沖等校、卅六卷、永仁二年成、索引本會編）　燕石三
麓の花一山崎美成（隨筆）

（關白）冬平公記一　續々五記錄
文廟遺命一　新井六
文保三年記一　續々五記錄
文祿三年吉野山御會御歌一（高臺寺本）　同十四歌文

へ

平記一平行親　續々五記錄
平家物語一冊二十卷（長門本）（原本長門國赤間宮所藏、國寶）　伴五
表章伊勢日記附證一　近藤一
邊要分界圖考八界（蝦夷唐太ト外國トノ堺ノ考）文化元年（圖入）　續々二史傳
辨官補任九（建久八年ヨリ享和二年マデ）　同　三史傳
普照國師年譜二（僧性日、僧性派）（黃檗山ノ開祖隱元ノ行實ヲ記ス）　同　三史傳
編修地誌備用典籍解題總目錄二松平（池田）定常原撰（幕府學問所補）　同　十六雜

ほ

北條幻庵覺書一（原本千葉縣宮崎氏所藏）　續々十教育
（子四天王）北國合戰一（金平本）　新群九歌曲
墨水消夏錄三東蘭洲（江戶ノ地理等）　燕石一
北面假名記一（名北面源康成記、院北面始記）（應安四年）　續々五記錄
北面源康成記一（北面假名記ニ同ジ）　同　上

卜養狂歌集一 半井卜養
北里戲場隣の疝氣一（吉原及ビ劇場ノ變遷ヲ記ス） 原武太夫盛和
反古籠一 萬象亭森島中黃
反古染一 越智直久（紋ト革トノコト）
暮秋北山廻り西澤一鳳
細川賴之祠堂記一 僧元策 承應三年成
法隆寺記補忘集一 僧眞訓
法皇外紀細門鴻寶一 僧元篤
（本朝歷代）法皇外紀一 同上
本佐錄考一
本朝學原浪華鈔七 松下見林著、眞野時綱抄 正德六年刊
本朝軍器考十二
本朝軍器考集古圖說二（圖入）
本朝諸社一覽八 坂內直賴 貞享二年成
本朝地理志略一 林羅山 寬永二十年成
本朝寶貨通用事略一
本朝法家文書目錄一
本朝歷代法皇外紀一 僧元策 附錄三種

新群十狂歌
燕石三
續燕一
同 上
新群二演劇
續々三史傳
同十一宗教
同 二史傳
同 上
新井六
續々十教育
新井六
同 上
續々一神祇
同 八地理
新井三
續々十六雜
同 二史傳

◎よ

（島原一揆）松倉記一
增補 松の落葉六 秀松軒 元祿十六年刊（小唄ヲアツム）
松の藤簾幷 附錄一（藤原氏ノコト）
松屋筆記三冊（百二十卷 缺卷アリ） 小山田與清著 原本東京帝國大學所藏傳寫本帝國圖書館ニアルノミ
松前島鄉帳一（元祿十三年調、蝦夷ノ地名ヲ記ス）
萬里小路惟房卿記一（天文十年）
前橋風土記一 古市剛 貞享元年成（附緣アリ）
麻々伎考一
（德和歌後）万載集十七
滿仲一（幸若）（寬永本）
（有卦入）万倍曾我一

續々四史傳
新群六歌曲
同 上
伴三
續々九地理
同 五記錄
同 八地理
伴五
新群十狂歌
同 八舞曲
同 三演劇

◎み

（賴朝）三島詣一（金平本）
未生土之傳一 吉川惟足、八重垣翁伴部安素解
（渡邊）三田合戰一（金平本）
（宋雅）道すがらの記一 飛鳥井雅緣

新群九歌曲
續々一神祇
新群九歌曲
續々九地理

光圀卿教訓一 德川光圀
源家長日記一（建仁中ヨリ承元中マデ）
源義經搜索宣下請文一 文治二年
三升屋二三治戲墨書留二
任那考三
未來記一（幸若）
眠獅選二八文字屋自笑

續々十教育
同十五歌文
同 十六雜
燕石一
菅
新群八舞曲
同 三演劇

◎む

無垢衣考一 山東京傳
（公平）武者執行一（金平本）（貞享二年）
（四天王）むしや執行一（金平本）
娘孝行記一 富永平兵衛
（辰巳）無人島訴狀幷口上留書一

續燕二
新群九歌曲
同 上
同 三演劇
續々九地理
燕石二
續々五記錄
新井五

名產諸色往來一 松葉軒龍水 麟形屋板本
明曆懲悲錄三（後見草ニ同ジ）
めでた百首夷歌一 蜀山人

續々十教育
燕石一
新群十狂歌

◎も

木瓜考一
藻屑物語一（附馬琴ノ評）（伊丹左京ノ事ヲ記ス）
文覺一（幸若）（寬永本）

新井六
燕石二
新群八舞曲

◎や

厭言錄一 堀田正俊
陽復記二 度會延佳 慶安中成（承應中叡覽アリシモノ）
藥師寺黑草紙一（藥師寺本）（鎌倉時代ヨリ永十二年マデ 寬）
同新黑草紙一（藥師寺本）（黑草紙ノ續編）
（慶長十九年）藥師院寶祐記一
役者論語一
（北面源）康成記一
八島一（幸若）（寬永本）
奴師勞之一 太田南畝 文化十五年成（隨筆）

續々十三詩文
同 一神祇
同十一宗教
同 上
同 十六雜
新群三演劇
續々五記錄
新群八舞曲
燕石一

矢はぎ合戰一（金平本）　新群九歌曲
八重垣大明神由祝詞、同碑銘（祝詞ハ藤原基、碑ハ秋野信妙）　續々一神祇
山田右衛門作以言語記十六　同　四史傳
（大坂陣）山口休菴咄一　同　上
倭樂傳記二（猿樂傳記ニ同ジ）　燕石一
倭姫命世紀考一　伴五
（箱根）山中城責由來一　續々四史傳
（公平入道）山めぐり一（金平本）　新群九歌曲

●ゆ

弓矢古義推考一（三十三間堂通矢ノコト）　伴五
夢合せ一（幸若）（寛永本）　新群八舞曲
夢の浮橋二（太田南畝編　文化四年永代橋ノ落チシトキノ記）　燕石二
夢の浮橋附錄一（春の舍成文　文化五年（深川八幡祭禮ノ賑ヲ描キ永代橋ノ落チタル事ヲ記ス））　同　三
百合若大臣一（幸若）（寛永本）　新群　舞曲
硫黄が島一（幸若）（寛永本）　同　上

●よ

雍州府志十（黑川道祐　天和二年刊（山城國ノ地志圖入）　新群八地理
夜討曾我一（幸若）　新群八舞曲
吉田爲經卿記一（寛元四年）　續々五記錄
義經地獄破一（寛文元年、山本九兵衛板）　新群九歌曲
義經追善女舞一（古淨瑠璃）（宇治加賀掾正本）　同　五歌曲
吉野記一（飛鳥井雅章）　續々九地理
（花筏）芳野內裏一（古淨瑠璃）　新群五歌曲
吉野傳一（藤井高尙　文化九年）　燕石三
（文祿三年）吉野山御會御歌一　續々十敎育
吉原源氏五十四君一（榎本其角）　續燕二
吉原雜話一　燕石三
吉原書籍目錄一（柳亭種彥）　新群七書目
（續）吉原書籍目錄一（大久保豐）　同　上
吉原町定書一　燕石三
吉原畧說一（附玉菊考　山崎美成）　同　二
讀本年表一（漆山天童　正德三年ヨリ明治十二年マデ）　新群七書目
餘目氏舊記一（留守氏舊記（文治中ヨリ文正十一年マデ）（原本陸中國餘目氏所藏））　續々四史傳
賴朝三島詣一（延寶六年　山本九兵衛板）　新群九歌曲
賴政一（金平本）（寬文五年、鶴屋板）　同　上

（艷色万歲）賴政一（古淨瑠璃）　新群五歌曲
賴義金剛山合戰一（古淨瑠璃）（幷びやうぶ物語　寬文三年）　同　上
鎧直垂考一　新井六

●ら

賴光跡目論一（古淨瑠璃　寬文二三年頃）　新群五歌曲
賴光蜘蛛切一（金平本　寬文二年、山本九兵衛板）　同　九歌曲
瀨田問答一（太田南畝問、瀨名貞雄答　江戶ノ地理等）　燕石一
羅山先生行狀一林靖　萬治二年成　續々三史傳

●り

琉球國鄕帳一（寬文八年調、琉球國ノ草高ヲ記ス）　續々九地理
琉球國事略一　新井三
柳淇園先生一筆一柳里恭　續燕一
柳亭遺稿一（柳亭種彥）　同　二
吏徵二偶堂（向山篤）弘化二年（舊幕府ノ官制ヲ記ス）　續々七法制
吏徵別錄二向山篤　同　上
吏徵附錄一同上　同　上
律逸八石原正明　同　六法制

●れ

連集良材一（寬永八年刊（連歌ノ書））　續々五歌文

●ろ

六樹園家集一宿屋飯盛　新群十狂歌
六條判官爲義書狀一　續々十六雜
論鬼神新論一　伴五

●わ

和學大概一村田春海　續々十敎育
倭樂傳記一（猿樂傳記ニ同ジ）　燕石一
和歌會式一（二條家流ノ式）　續々五歌文
立齋舊聞記二（立花宗茂ノ事ヲ記ス）　續々三史傳
立圖東の記行一　同　九地理

●る

瑠璃山年錄殘編二（南北朝ノ頃ヨリ應永年中ニ至ルマデ）　續々三史傳
瑠璃天狗五（賣笠翁（淨瑠璃ノ注）文化丙寅刊）　新群六歌曲
類聚神祇本源十五（度會家行元應二年成）　續々一神祇

我衣一（曳尾庵南竹（加藤玄悦）文化八年成（德川時代ニ於ル風俗ヲ記ス））　燕石一　續々十六雜
和學講談所御用留抄一　新群三演劇
若後家卯の花重一（今川かな手本ニ同ジ）　續々十六雜
若狹國官社私考二　伴二
若狹國神名帳私考二　同上
若綠五靜（雲閑主人　寶永三年）　新群六歌曲
和歌兩神記一（長島弘昌　二十二社略記ノ附錄）　續々一神祇
和紀記行一（岡西惟中）　同　九地理
和國女眉間尺一（古淨瑠璃　寶永五年刊　土佐少掾正勝正本）　新群五歌曲
和州舊跡幽考二十（林宗甫　延寶九年刊）　續々八地理
忘れ殘り二（四壁庵茂喜）　續燕一
和田酒盛一（幸若）（寬永本）　新群八舞曲
渡邊智略討一（金平本　寬文五年、八文字屋板）　同　九歌曲
渡邊三田合戰一（金平本　寬文三年）　同　上

あ

惟新公自記一（嶋津義弘）　續々十三詩文

ゐ

（沙彌）惠空百首一（九條植通）　續々古歌文
繪そらごと一（石野廣道　繪馬ノ事ヲ記ス）　燕石三
（東大寺）繪所日記一　續々五記錄
圓照上人行狀三（曾凝然）　同　三史傳

を

小栗判官一（古淨瑠璃）　新群五歌曲
乎古止點譜一　續々十教育
小弓御所樣御討死軍物語一（天文七年國府臺戰記）　同　四史傳
折たく柴の記三（正德六年　自石自傳）　新井三
（殿上闇討）女袖鑑一（金平本）　新群九歌曲
（四天王）女大力手捕軍一（金平本）　同　上
（和國）女眉間尺一（古淨瑠璃）　同　五歌曲

國書刊行會出版圖書著者名目錄

（著者名ハ五十音順ニ二三便宜ノタメ著者ニアラザルモノモ收メタリ、作曲者ノ類是ナリ）

あ

秋野信妙　八重垣大明神碑銘一　續々一神祇
朱樂（アケラ）菅江（山崎景貫）　朱樂館家集一　新群十狂歌
安積澹泊覺　澹泊齋文集八　同　上
舜水先生行實（并略譜）一（附）與安積澹泊書二
朝倉龜三　日本古刻書史一（總目錄ニ添フ）　續々十三詩文
朝倉宗滴　朝倉宗滴話記一（一名宗滴物語）　同　三史傳
淺見安左衛門　幽囚後之近藤重藏一（淺見安左衛門　東野善一郎共編）　新井白石
淺井了意　江戶名所記七　續々八地理
飛鳥井雅章　吉野記一　同　九地理
飛鳥井雅縱（宋雅）　宋雅道すがら之記一（應永卅四年）　同　上
阿誰軒　俳諧書籍目錄一（阿誰軒編、漆山天童補）　新群七書目
跡部光海（一寬永中成）　神道生死之說一　續々一神祇
土津靈神（正德二年　土津靈神ハ保科正之）　正學記一　同　上
淡海三船　大安寺碑文一（寶龜六年）　續々十六雜
相塲長昭　遊女考一（藤原時代ヨリ德川時代マデ遊女ノ古書ニ散見セルモノヲ抄錄ス）　燕石一
荒木田氏經　內宮氏經日次記二（永享十三年、嘉吉二年、三年、文安五年、六年、寶德二年、三年、四年）　續々一神祇
新井白石　新井白石全集六冊（細目前ニアリ）　近藤一
青山某

葛飾記二　燕石二

○い

池田義信
无名翁隨筆二（大和繪師、浮世繪、吾妻錦繪ノ考、畫師ノ傳）　燕石二
石川忠総家臣某
大阪陣覺書一　續々四史傳
石川雅望宿屋飯盛
源注餘滴一冊五十四卷、附清石問答　新群六歌曲
六樹園家集一　同上
飲食狂歌合一
石田未得
吾吟我集十慶安中　同上
石野廣道
繪そらごと一（繪馬ノ事ヲ記ス）　燕石三
石原正明
律逸八　續々六法制
伊勢貞丈
條々聞書貞丈抄五（伊勢貞頼入道宗五撰、貞丈注一名宗五大双紙、圖入）　同　七法制
市川柏筵
老のたのしみ抄一　燕石三
伊地知季安
漢學紀源五　續々十教育
一條兼良
江次第鈔七（正月ヨリ六月マデ圖入）　同　六法制
一無軒道治
蘆分船六（延寶三年刊、大阪ノ地志）　同　八地理
大阪陣覺書一　續々四史傳
一樂
竹豐故事三（寶曆六年成）　新群六歌曲
參考今昔操淨瑠璃外題年鑑一（齋藤素影訂）　同　七書目
六樹園家集一
泉高父宿禰
行基年譜一（安元元年成）　續々三史傳
和泉太夫
公平天句問答一（正德六年うろこがたや三左衛門板）　新群九歌曲
伊藤權左衛門
絲割符由緒書一　續々十六雜
伊藤東涯
學問關鍵一（元文版）　同　十教育
稻葉正邦
講令備考十（文政中成）　同　六法制

岩瀨京山涼仙老樵
蜘の糸卷二（弘化四年成）　燕石一
一蝶流謫考一　續燕一
京山高尾考一　同　二
岩本活東子
戲作六家撰一（京傳、三馬、馬琴、九種彦、焉馬）　燕石一
燕石十種三冊（原本六十種百十九卷）
今井弘濟
舜水先生行實幷略譜一　續々三史傳

○う

宇治加賀掾
津戸三郎一　新群五歌曲
義經追善女舞一　同上
愛染明王影向松一　同上
酒天童子一　同上
宇多天皇
宇多天皇御記一（三代御記ノ內）　續々五記錄
植田下省子
兵庫名所記二（寶永七年刊）　同　八地理

○え

曳尾庵南竹（加藤玄悦ニ同ジ）
榎本其角　同　五記錄
吉原源氏五十四君一　續燕二

○お

奥村保之
事語繼志錄二（松平信綱ノ事ヲ記ス）　續々三史傳
大江匡房
江記一（天仁大嘗會ノ記）　同　五記錄
大木扇德
增補松の落葉六（寶永元年刊、同七年增補）　新群六歌曲
大久保豐
浮世草子目錄一（天和二年ヨリ文化十二年マデ）　新群七書目
續吉原書籍目錄一　同　上
前期青本書目一（正德三年ヨリ安永三年マデ）　同　上
增補青本年表一（漣水散人編、大久保豐補、安永四年ヨリ文化三年マデ）　同　上
增補續青本年表一（五車書樓主人編、大久保豐補、文化四年ヨリ天保十四年マデ）　同　上
草雙紙書目一　同　上

笑話書目　一（元和九年ヨリ慶應二年マデ）　新群七書目
洒落本目錄　一（享保十三年ヨリ天保六年マデ）　同　上
中本書目　一（寶曆六年ヨリ文久三年マデ）　同　上
人情本目錄　一（文政二年ヨリ安政六年マデ）　同　上
大坂屋甚兵衛（馬場金埒ニ同ジ）
太田南畝　四方赤良、蜀山人
高尾考　一　原武太夫撰南畝等補（遊女高尾ノ事蹟）　燕石一
瀨田問答　一　南畝問、瀨名貞雄答（江戸ノ地理等）　同　上
奴師勞之（ヤッコダコ）　一　文化十五年成（隨筆）　同　上
俗耳鼓吹　一　天明八年（隨筆）　燕石二
夢の浮橋　二（文化四年永代橋ノ落チシ時ノ記）　同　上
狂言鷺蛙集　二十一名放浪馬鹿集　天明四年　新群十狂歌
德和歌後万載集　十七　天明五年　同　上
めでた百首　一　同　上

○か

柏崎具元
事蹟合考　五（江戸ノコトヲ記ス）　燕石一
荷田東麿　春滿
荷田大人創學啓　一（春葉集附錄）　續々十教育

梶女
梶の葉　三　寶永四年刊　續々古歌文
加藤玄悅　曳尾庵南竹
我衣　一（文化八年成　德川時代ニ於ル風俗ヲ記ス）　燕石一
金子吉左衛門
耳塵集　一（役者論語ノ中）　新群三演劇
川崎重恭
猿樂沿革考　一　一名萊番由來　文政九年成　燕石一
河原崎權之助
舞曲扇林　二　續燕二
加茂保可
賀茂注進雜記　一　延寶九年成　續々一神祇
龜岡宗山
後見草上卷　一　燕石一
唐衣橘洲
狂歌醉竹集　二　享和二年　新群十狂歌
可柳
江戸節根元記　二　燕石二

○き

義澄
招提千歲傳記　九　元祿十四年成　續々十二宗教
喜多古能
假面譜　一　寬政九年　同　十六雜
喜多村信節
畫證錄　一（下缺）　續燕一
筠庭雜錄　二　同　二
武江年表補正略　一　同　一
吉川惟足
土德編　一　延寶七年成　續々一神祇
末生土之傳　一　吉川惟足撰、八重垣翁伴部安崇解　享保廿年成　同　上
會津神社之訓詞　一　寬文十一年成　同　上
（附）神學承傳記　一　同　上
衣笠一閑
堺鑑　三　天和三年刊　續々八地理
木下錦里　貞幹
恭靖先生遺稿　三　同十三詩文
木村默翁
國字小說通　一　續燕一
京攝戲作者考　一　同　上

木村守直
相撲傳書　一　燕石二
行智
踏雲錄事　一（修驗山伏ノコトヲ記ス）　續々十三宗教
木葉衣　二（同上）　同　上
凝然
聲明源流記　一（聲明ノ源流ヲ記ス）　同　上
圓照上人行狀　三　續々三史傳
曲亭馬琴　瀧澤解
俳諧古文庫　二　續燕一
異聞雜稿　二　同　二
改過筆記　一　同　上
清原業賢
建武式目注　一　天文廿三年　續々七法制

○く

空海　弘法大師
灌頂記　一　帖　弘法大師眞筆高眞（原本高雄ノ神護寺所藏、國寶）
（附）弘法大師弟子傳　二　續々三史傳
九條植通

沙彌惠空百首一　天正十八年成　續々十四歌文
黒川道祐
雍州府志十　天和二年刊（山城國ノ地志圖入）　同　八地理
藝備國郡志二二　寛文三年（安藝備後ノ地志）　同　九地理
宗長居士傳一　同　三史傳
黒川春村
格逸五　附格逸々　同　六法制
神名帳考證土代附考一（圖入）　伴一
壺すみれ一　續燕二
黒澤三右衛門
懷橘談二　承應中（出雲ノ地志）　續々九地理
黒田五柳
釣客傳二　續燕一
活東子（岩本活東子ヲ見ヨ）
觀嚴
東大寺要錄十　長承三年成　續々十二宗教
同醍醐本一　同　上
菅政友
菅政友全集一冊（細目前ニアリ）

け

曉月坊
酒百首一　新群十狂歌
元策
本朝歷代法皇外紀一　附錄三種　續々二史傳
貴胤碩臣出家標目一　同　上
貴胤執政幷諸名家入道薙髮目錄一　同　上
武將家落髮標目一　同　上
法皇外紀細門鴻寶一　同　上
細川賴之祠堂記一　承應三年成　同　三史傳
顯昭
顯昭古今集註二十　文治元年成　同十五歌文
元政
草山集一　寛文十二年刊　同十四歌文

こ

杲寶
東寶記八（教王護國寺ノ記錄）　同十二宗教
東寺長者補任五（弘仁十一年ヨリ寛永十一年マデ）　同　二史傳
後柏原天皇
後柏原院御日次結題一　永正十六年成　正德六年刊　同十四歌文

後光明天皇
鳳啼集一（御製詩文）　續々十三詩文
小島橘洲（唐衣橘洲ニ同ジ）
小島法師
太平記一冊　神田本
五車書樓主人
增補續青本年表一　新群七書目
小瀨復庵
（附）與小瀨復庵書二　新井五
後水尾天皇
後水尾天皇御製集一　續々十三詩文
後水尾院御集一　同十四歌文
集外歌仙一　寛政九年刊　同　上
小宮山杢進
增補田園類說一　小宮山杢進撰、谷本敎等增補　天保十三年校正　續々七法制
金珠院庸性
三倉開封勘例一　同　十六雜
近藤吉左衛門
藩翰譜續編十二　文化三年　新井二
近藤正齋
正齋守重、重藏

近藤正齋全集三冊（細目前ニアリ）

さ

最澄傳敎大師
顯戒論緣起一（上卷、下卷缺）　享保元年刊　續々十三宗敎
齋藤淨玄
書大體一　文明中　同　十六雜
齋藤彦麿
神代餘波二　弘化四年（隨筆）　燕石二
齋藤基恒
齋藤基恒日記一　續々五記錄
賽笠翁
瑠璃天狗五（淨瑠璃ノ注）　文化丙寅刊　新群六歌曲
坂內直賴
本朝諸社一　寛八貞享二年成　續々二神祇
佐久間洞巖
（附）與佐久間洞巖書四　新井五
酒井忠昌
南向茶話一　附追考　明和二年成（江戸ノ地理）　燕石一
佐々宗淳介三郎

續南行雜錄一　續々三史傳
漣水散入　周麟景徐、宣竹
增補青本年表一　新群七書目
流石庵羽積　常德院畫像贊一（足利義尙ノ事ヲ記ス）　續々三史傳
歌系圖一（小唄ノ作者、作曲家ノ名寄）　志賀紀豐
薩摩外記　淺間山噴火記事一　後見草附錄　燕石一
出世太平記一　鹿野武左衛門　同　六歌曲
佐渡島長五郎蓮智坊　鹿の卷筆五（落語集）　同　三
佐渡島日記一（役者論語ノ中）　同　五歌曲
三田葆光　式亭三馬　同　三演劇
白石先生年譜一　式亭雜記一　漆山天童　續燕一
山東京山（涼仙老樵）（岩瀨京山ニ同ジ）　讀本年表一（正德三年ヨリ明治十二年マデ）　新井六
山東京傳　澁井孝德太室　新群七書目
大盡舞考證一　享和四年　建官考一　寶曆十二年成（舊幕府ノ官名ト支那官名トノ對譯）　續々七法制
無垢衣考一　四壁庵茂蔦
（附）一代記一　忘れ殘り二　續燕一
慈遍
豐葦原神風和記三　興國元年成　續々一神祇
舊事本紀玄義五（神道書紀緣起）　元弘二年成（一三二六、七、八、十敍）　同　上
島津義弘惟新
惟新公自記一　續々三詩文

◎し

秀松軒
松の葉五（元祿十六年刊）（小唄ヲアツム）　新群六歌曲

清水濱臣
清石問答一（源注餘滴附錄）
下川兵太夫
清正高麗陣覺書一
下河邊長流
續歌林良材集二（貞享元年刊）
庄司勝富（道恕）
異本洞房語園二（吉原ノ事ヲ記ス）
洞房語園後集一
聖德太子
神皇系圖一
性日
普照國師年譜二（黃檗山ノ開祖隱元ノ行實ヲ記ス）
性派
普照國師年譜二
春山
神祇靈應記一
松葉軒龍水
名產諸色往來一（繪形屋版本）
蜀山人（太田南畝ニ同ジ）

白井宗因
神社便覽一（寬文四年成）　續々一神祇
尋尊
大乘院日記目錄三　同　三史傳
進藤爲善
新撰座主傳三（八十八代ヨリ百二十三代マデ）　同　二史傳
天台要曆一（卷六八）（明治三年マデ）　同　上
森羅萬象（森島中良ニ同ジ）

◎す

杉九兵衛
舞臺百箇條一（役者論語ノ中）　新群三演劇
杉田鶴齋
後見草中下卷二　燕石一
鈴鹿定親
京都往來一（延寶二年成、古版本）　續々十敎育

◎せ

生白堂行風
古今夷曲集十　新群十狂歌
後撰夷曲集十　同　上

（附）夷歌式一
鑓雲閣主人
若綠五寶永三年
瀨川如皐二代目
只今お笑草一
是齋重鑑
九州下向記一
瀨名貞雄
瀨田問答一（太田南畝問貞雄答）
千家正延
出雲大社記一

◎そ
宗因
宗因東の記行一
宗祇
新撰菟玖波集二十（明應中成寬保三年刊連歌ノ集）
宗琇（玉仲）
玉仲遺文一
宗承

新群十狂歌
染川十郎兵衛（賢外）
賢外集一（役者論語ノ中）

◎た
醍醐天皇
御記一（三代御記ノ內）
高井蘭山
消息往來一流布版本
瀧澤馬琴（曲亭馬琴ニ同ジ）
武田信玄（晴信）
機山十七首一
建部綾足
須々美草一
竹本筑後掾
念佛往生記一
澤庵
鎌倉記二
立川焉馬
江戶三座由緒書一（江戶三座芝居ノ由緒及ビ家ノ狂言ヲ記ス）

續々七法制
同　六歌曲
續燕二
續々五記錄
燕石一
續々一神祇
同十三詩文
續々九地理
十五歌文
同十三詩文

見聞雜記一（長祿元丁文明十年）
賢外集一（役者論語ノ中）

續々五記錄
新群三演劇

同十六教育
同十三詩文
續燕二
新群五歌曲
續々九地理
燕石二

橘廣相
侍中群要十（藏人ノ職掌ヲ記ス）
伊達政宗（貞山）
貞山公詩鈔二
棚守房顯
棚守房顯手記一（嚴島ノ神官棚守氏ノ舊記）
谷本敎
增補田園類說一（小宮山本進撰谷本敎等增補）
平知信（中宮大進）
平知信記一（長承四年）
平範國（伊豫守）
高野山參詣記一（永承三年）
平行親
平記一（長曆元年）
民屋四郎五郎江音
續耳塵集一（役者論語ノ中）

◎ち
近松門左衛門
御書司初寅詣一

續々七法制
同十三詩文
同　四史傳
同　七法制
同　五記錄
同　五記錄
同　五記錄
新群三演劇

智燈
弘法大師弟子傳二
定珍（常陸小野逢善寺）
大師先德明匠記一（天台宗ノ放寬）

◎つ
津打治兵衛
傾情一家言一
蔦唐丸
百鬼夜狂一
土屋知貞
土屋忠兵衛知貞私記一（土坂兩役ノコトヲ記ス）
堤朝風
（附）白石先生著述書目（並）附錄一

◎て
鄭麟趾（朝鮮人）
高麗史三冊（奉勅撰一百三十卷八十冊本七十冊本）

手挊岡持（平澤常富）

續々三史傳
同十二宗敎
續々四史傳
新井六

（高麗太祖ヨリ恭讓王マデノ歷史、我國成天皇ヨリ後龜山天皇時代ニ當ル）

後は昔物語一享和三年成（隨筆）　燕石一
天荊
西征日記一（文祿之役ノ從軍日記ナリ）　續々三史傳

◎と
東蘭洲
墨水消夏錄三（江戸ノ地理等）　燕石一
芝居町觸書一　同　三
德川光圀
光圀卿教訓一　續々十教育
（附）桃源遺事五（水戸黃門ノ傳及言行ヲ記ス）　同　三史傳
德永種久
德永種久紀行一元和三年　續燕一
吾妻めぐり二（原名色音論（江戸見物ノ紀行）　燕石二
土佐少掾正勝
土佐淨瑠璃目錄及序文　新群五歌曲
名古屋山三郎一寶永五年刊　同　上
京四條おくに歌舞妓一同上　同　上
土佐日記一同上　同　上
對面曾我一同上　同　上

花筏芳野內裏一寶永五年刊　新群五歌曲
源氏六條通一同上　同　上
定家一同上　同　上
三世二河白道一同上　同　上
源氏花鳥大全一同上　同　上
艷色萬歲賴政一同上　同　上
和國女眉間尺一同上　同　上
通俗傾城三國誌一同上　同　上
博多露左衛門色傳授一同上　同　上
戸田茂睡
梨本集二元祿十二年刊　續々十五歌文
富永平兵衛
藝鑑一（役者論語ノ中）　新群二演劇
熊野山開帳一　同　上
業平河內通一　同　上
娘孝行記一　同　上
伴部安崇八重垣翁
病後手習一元文三年成　續々一神祇
未生土之傳一吉川惟足撰安崇解　同　上

◎な
內藤清成
天正日記一　續々五記錄
中江藤樹
翁問答八慶安三年刊　並
長島泓昌
二十二社略記一元祿十二年成　同　十教育
和歌兩神記一（前書ノ附錄）　同　上
永田貞柳
家土產一　新群十狂歌
中村重助故一
芝居乘合話一　同　一神祇
中村宗三
糸竹初心集三（寬文四年刊、琴、三味線、尺八ノ手引）　同　上
中山親綱
親綱卿記一　新群十狂歌
中山文七
（附）中山文七一代狂言記一　新群三演劇
中院通村後十輪院
後十輪院內大臣詠草一　續々十五歌文

半井卜養
卜養狂歌集一寬文中　新群十狂歌
並木正三
（附）並木正三一代咄一　同　三演劇
並木五瓶
戲財錄一　續燕一

◎に
西澤一鳳正本屋九左衛門
傳奇作書初編（言狂作書）三（歌舞妓淨瑠璃ノ故實ヲ記セル珍書）　新群一演劇
傳奇作書拾遺三　同　上
傳奇作書殘編三　同　上
傳奇作書續編三　同　上
傳奇作書附錄三　同　上
傳奇作書後集三　同　上
傳奇作書追加一（下卷）　新群三演劇
皇都午睡初編三　同　一演劇
皇都午睡二編三　同　上
皇都午睡三編三　同　上

脚色餘錄自序　新群二演劇
脚色餘錄初編三　同　上
脚色餘錄二編三　同　上
脚色餘錄三編三　同　上
讃佛乘初編三　同　上
讃佛乘二編三（以上歌舞妓淨瑠璃ニ關スルモノ）　新群六歌曲
綺語文草二（有馬溫泉記、暮秋北山廻リ、花洛紅葉見紀行）　新群一演劇
今昔操年代記二享保十二年刊
（附）西澤一鳳小傳

◎の

野崎左文
江戸狂歌書目一（天明年間ヨリ慶應年間マデ）　新群七書目
六樹園家集一　同　十狂歌
朱樂館家集一　同　上
滄洲樓家集一　同　上
野々口立圃
東の記行一　續々九地理
野宮定基
元祿七年賀茂祭記一名賀茂祭再興記　同　一神祇

新野問答一　新井六

◎は

寶藏坊信海
狂歌鳩杖集一　新群十狂歌
畠山淇山
色道大鏡九（十八卷ノ內卷九缺）　續燕二
八文字屋自笑
眠獅選二　新群三演劇
塙保己一
和學講談所御用留抄一　續々十六雜
馬塲金埒大坂屋甚兵衛
滄洲樓家集一　新群十狂歌
仙臺百首一　同　上
馬塲文耕
近世江都著聞集十一（江戸ニ出來タル事ヲ記ス）　燕石二
當世武野俗談一（江戸ニアリタル珍ラシキ人ノ事ヲ記ス）寶曆七年　同　上
巴眦莽
破提宇子一　續々十三宗教

羽太正養松前奉行
休明光記九（蝦夷地ニ關スルコトヲ記ス）　續々四史傳
濱松歌國
南水漫遊十五（初編、拾遺、續編）　新群二演劇
（附）濱松歌國小傳一　同　上
林鵞峰春齋、向陽軒
于役日錄一寬文三年（日光紀行）　續々九地理
敵戒說一　同　十教育
林宗甫
和州舊跡幽考二十延寶九年刊　同　八地理
林讀耕齋春德、靖
羅山先生行狀一　同　三史傳
敵戒說一　同　十教育
林羅山道春
春鑑抄一慶安元年刊　同　十教育
三德抄二古板　同　上
敵戒說一同上　同　上
惺窩先生行狀一　同　三史傳
本朝地理志略一寬永二十年成　同　八地理
（附）羅山先生行狀一萬治二年成　同　三史傳

原盛知武太夫
なら柴一（淨瑠璃ノコト）　燕石三
北里戲場隣の疝氣一（吉原及ビ劇場ノ變遷ヲ記ス）　同　上
高尾考一原武太夫撰太田南畝等補（遊女高尾ノ事蹟）　同　一
春田永年
延喜式工事解三附工事通解、文化三年刊　續々六法制
延喜式工事解圖錄一（圖入）　同　上
春の舍成文
夢の浮橋附錄一文化五年（深川八幡祭禮ノ賑ヲ描キ永代橋ノ落チタル事ヲ記ス）　燕石三
伴信友
伴信友全集五冊（細目前ニアリ）

◎ひ

東野善一郎
幽囚後之近藤重藏一淺見安左衛門東野善一郎共編　近藤一
比志島文軒漱水散人
青本年表一　新群七書目
美福門院
美福門院御文一　續々十六雜

平澤常富（手挽岡持ニ同ジ）

◎ふ

福住道祐（黒川道祐ニ同ジ、又號如松子）
藤原家良　新撰六帖題和歌ノ中　續々古歌文
藤原押勝　貞慧傳一　同　三史傳
藤原兼實　玉葉三冊六十六卷（源平時代ノ記錄）
藤原信西通憲　筆海要津一　同　十六雜
藤原惺窩　千代茂登草一　天明八年刊　同　十教育
惺窩先生倭訓集五　同十四歌文
惺窩先生文集十二　同十三詩文
（附）惺窩先生行狀一　同　三史傳
藤原園人　神皇實錄一（藤原園人撰ト云フ　弘仁六年成）　同　一神祇
藤原忠平　貞信公記一　續々五記錄
藤原爲隆　爲隆卿家集補遺一（文政元年刊）　同十四歌文
藤原爲家　新撰六帖題和歌ノ中　同　上
藤原知家　新撰六帖題和歌ノ中　同　上
藤原長清　夫木和歌抄（幷索引二冊　藤原長清撰僧契沖等校　卅六卷永仁二年成、索引ハ本會編）　同　上
藤原信實行家　新撰六帖題和歌ノ中　續々古歌文
藤原冬平　關白冬平公記一（乾元二年）　同　五記錄
藤原光俊　新撰六帖題和歌ノ中　同十四歌文
藤原基生　八重垣大明神由祝詞九條右大臣　同　一神祇
藤原師輔　九暦一（天暦ー天德）　同　五記錄
藤井高尚

吉野傳一（文化九年）　燕石三
古市剛　前橋風土記一（貞享元年成（附錄アリ））　續々八地理
◎へ
平秩東作　幸野茗談一　續燕一
◎ほ
豐芥子　花江都歌舞妓年代記續編卅三　新群四演劇
北條幻庵長綱、宗哲　北條幻庵覺書一　續々十教育
北流山人　清神秘錄一　續燕二
保科正之　會津風土記一（寛文十一年成）　續々八地理
（附）土津靈神言行錄二（保科正之ノ事）　同　三史傳
（附）土津靈神正學記一　同　一神祇
細川玄旨　衆妙集一（寛文十一年奥書）　同十四歌文
堀田正俊　嚴言錄一　續々十三詩文
勸忠書一　同　上
穗積以貫　難波土產五（淨瑠璃文句評注）　新群六歌曲
法昭　長崎緣起略記一（正德二年成）　續々八地理
堀杏庵　中山日錄一（寛永十三年（日光紀行））　同　九地理
◎ま
政田義彥　浪速人傑談二　續燕一
松下見林　本朝學原浪華鈔七　續々十教育
眞野時繩　本朝學原浪華鈔七（松下見林著、眞野時繩抄正德六年刊）　同　上
松平輝綱　島原天草日記一（松平甲斐守輝綱ノ從軍日誌）　續々四史傳
松平樂翁定信

集古十種四冊八十五卷
松永尺五
尺五先生全集二　續々十詩文
松本治太夫
清水觀音利生物語一　新群五歌曲
萬里小路惟房
惟房卿記一（天文十年）　續々五記錄

◎み
三木隆盛
其昔がたり一　續燕二
源家長
源家長日記一（建仁中ヨリ承元中マデ）　續々十五歌文
源忠義
神道辨草一　享保八年成　同　一神祇
源俊頼
俊頼口傳集二　同十五歌文
源爲義六條判官
書狀四通　同　十六雜
源康成
北面源康成記一　院北面始記（應安四年）　續々五記錄
三升屋二三治伊勢屋宗三郎
作者店おろし一　新群三演劇
三升屋二三治戲場書留二　燕石一
十八大通一　續燕二
紙屑籠一　同　上
三宅觀瀾緒明
觀瀾集一　續々十詩文
宮本重利
江海風帆草三（寶永元年長崎ヨリ大阪へノ海上紀行）　同　九地理

◎む
向山偶堂源大夫
吏徵二弘化二年舊幕府ノ官制ヲ記ス）　續々七法制
吏徵別錄二　同　上
吏徵附錄一　同　上
村上天皇
村上天皇御記一（三代御記ノ內）　同　五記錄
村田春海
和學大概一　同　十教育

村尾元長
近藤守重事蹟考一　近藤一
室鳩巢
（附）室新詩評一　新井六
（附）與室鳩巢書十　同　五

◎も
物部光由
石上神宮御事抄一　續々一神祇
森島中良万象亭、森羅萬象
反古籠一　續燕一
森山孝盛
賤のをだまき一　享和二年成（江戸市中ノ風俗ヲ記ス）　燕石一

◎や
屋代弘賢
古今要覽稿六冊五百八十四卷
道成寺考一　燕石三
宿屋飯盛（石川雅望ニ同ジ）
柳澤里恭淇園
獨寐一（隨筆）　燕石二
柳淇園先生一筆一　續燕一
山鹿素行
謫居童問六寛文八年成　續々十教育
山口休庵
大坂陣山口休庵咄一（豐臣氏ノ臣山口休庵ガ冬役ノ働ヲ記ス）　同　四史傳
山崎闇齋
垂加文集七　續々十三詩文
加藤家傳一（曹溪院行狀記ノ附錄）　同　三史傳
山崎景貫（朱樂菅江ニ同ジ）
山崎美成
新吉原畧說一　附玉菊考　燕石二
麓の花一（隨筆）　同　三
博戲犀照一　續燕一
金杉日記一　同　二
疑問錄一　同　上
山下半左衛門
京ひな形一　新群三演劇
山本土佐掾
隅田川一　同　五歌曲

善光寺一
藥師院祕想
正倉院御開封記草書一元祿六年

◎ゆ
湯淺元禎
吉備烈公遺事一（池田光政ノ言行ヲ記ス）
百合女
佐遊李葉三享保十二年刊

◎よ
芳澤あやめ
あやめぐさ一（役者論語ノ中）
吉田爲經
爲經卿記一（寬元四年）
四方赤良（ヨモノアカラ）
太田南畝ニ同ジ

◎り
柳亭種彥
好色本目錄一

新群五歌曲
續々十六雜
新群一演劇
續々五記錄
新群七書目

吉原書籍目錄一
柳亭遺稿二
柳里恭（淇園、柳澤里恭ニ同ジ）
良訓
法隆寺記補忘集一
綠樹軒松順
月能桂二（日吉祭禮記）

◎る
留守某
餘目氏舊記一（留守氏舊記　文治中ヨリ文正十一年マデ）

◎れ
櫟齋
平賀源內實記五天明八年

◎わ
和田英松
式逸二
度會家行

新群七書目
續燕二
續々十二宗教
同　一神祇
續々四史傳
燕石二
續々六法制

類聚神祇本源十五元應二年成
瑚璉集二
度會貞德
貞德他行道の覺一（天正十一年　伊勢ヨリ上方ヘ紀行）
度會延經
皇太神宮殿舍考證一（圖入）
豐受皇太神宮殿舍考證一（圖入）
度會延佳（延貞）
陽復記二（慶安中成　承應中叡覽アリシモノ）
神宮祕傳問答一萬治三年成

◎ゑ
圓仁（慈覺大師）
入唐求法巡禮行記四

◎を
小川顯道
塵塚談二（文化中成　隨筆）
小笠原民部

續々一神祇
同　上
同　九地理
續々一神祇
同　上
同　上
同　上

辰巳無人島訴狀幷口上留書一（延寶八年小笠原島ヘ航海ノ記（圖入））
岡西惟中
白水郎子（アマノコ）紀行三（四國紀行）
和紀記行一
岡清兵衛
金平本
岡五郎兵衛
邊要分界圖考八（蝦夷唐太ト外國トノ境界ノ考）（文化元年（圖入））
越智爲久
反古染一
小槻匡遠（左大史）
匡遠記一（觀應）
小野高潔
續皇年代略記一
小山田與清
松屋筆記三冊（百二十卷　缺卷アリ）（原本東京帝國大學所藏傳寫本帝國圖書館ニアルノミ）

續々九地理
同　上
同　上
新群九歌曲
近藤一
續燕一
續々五記錄
同　二史傳

國書刊行會出版圖書分類目錄

一、書目幷解題……七八
二、神祇幷神道……七九
三、佛教幷寺院……八二
四、耶蘇教……八四
五、哲學幷教育……八四
六、和歌幷連歌……八五
七、狂歌幷俳諧……八六
八、詩文……八七
九、書畫幷金石……八七
十、文書幷往來……八八
十一、物語幷小說……八九
十二、言語幷文字……八九
十三、音樂幷歌舞……九〇
十四、演劇……九二
十五、淨瑠璃……九三
十六、公家法制……九六
十七、武家法制……九七
十八、國史幷史論……九八
十九、傳記幷氏族……一〇三
二十、軍事幷武器……一〇六
二十一、地理……一〇七
二十二、紀行……一一二
二十三、外國地理幷外交……一一三
二十四、風俗幷遊戲……一一三
二十五、實業……一一四
二十六、博物……一一四
二十七、隨筆幷雜著……一一四

◎書目幷解題

◎總目

正齋書籍考四（卷首卷第一、二、三、經類、史類）　近藤二
（文政六年刊）
正齋書籍考一（卷第三、經類）　同　三
右文故事十六（御本日記注、寫本譜、文事、表詩歌慶長勅版等ノコト）　同　二
同餘錄四（宋本、翻寫、活字、點圖等ノコト）　同　上
好書故事三十六（鈔本十數卷、講筵、準校、撰集、書籍ノコト）　近藤三

◎別目錄

俳諧書籍目錄一（大久保豐）　阿誰軒編、漆山天童補　新群七書目
浮世草子目錄一（天和二年ヨリ文化十二年マデ）　大久保豐　同　上
前期青本書目一（正德三年ヨリ安永三年マデ）　大久保豐　同　上
增補青本年表一（安永四年ヨリ文化三年マデ）　瀧水散人編、大久保豐補　同　上
戲作外題鑑一（安永四年ヨリ文化三年マデ）　燕石三
增補續青本年表一（文化四年ヨリ天保十四年マデ）　五車書樓主人編、大久保豐補　新群七書目
合卷外題集一　同　上
草雙紙書目一　大久保豐　同　上
笑話書目一（元和九年ヨリ慶應二年マデ）　大久保豐　同　上
洒落本目錄一（享保十三年ヨリ天保六年マデ）　大久保豐　同　上

中本書目一（寶曆九年ヨリ文久三年マデ）　大久保豐　新群七書目
人情本目錄一（文政二年ヨリ安政六年マデ）　大久保豐　同　上
讀本年表一（正德三年ヨリ明治十二年マデ）　瀧山天童　同　上
參考今昔操淨瑠璃外題年鑑一　一樂齋藤寒影訂　同　上
好色本目錄一　柳亭種彥　同　上
吉原書籍目錄一　同上　同　上
續吉原書籍目錄一　大久保豐　同　上

◎著作目錄

白石先生著述書目並附錄一　堤朝風　新井六

◎文書目錄

本朝法家文書目錄一　續々十六雜
東大寺古文書目錄一（享保十二年寫）　同　上

◎解題

編修地誌備用典籍解題總目錄二　同　上
古事記年紀考一　菅
倭姬命世紀考一　伴五
本佐錄考一　新井六
江戶名所圖會ノコト（暑閒雜稿ノ中）　續燕二
群書類從編纂始末一（和學講談所御用留抄）　續々十六雜
國字小說通一　木村默翁　續燕一

◎書籍、板本等

右文故事附錄五　近藤二
日本古刻書史一（朝倉龜三（總目錄ニ添））

◎神祇幷神道

◎諸神社

神社便覽一　白井宗因　寬文四年成　續々一神祇
本朝諸社一覽八（坂內直頼　貞享二年成）　同　上
神名帳考證十四（延喜式神名帳ノ考）（圖入）　伴一
神名帳考證土代附考一（黑川春村（圖入））　同　上
神社私考六　伴二
神名帳標目私考一　同　上
神名帳標目私考附錄一　同　上
若狹國官社私考二　同　上
若狹國神名帳私考二　同　上
二十二社略記一（長島泓昌　元祿十二年成）　續々一神祇
蕃神考一（朝鮮及支那人ヲ記スルヲ平野、飛鳥戶、當宗神社ノ考）　伴二
和歌兩神記一（長島祉昌　二十二社略記ノ附錄）　續々一神祇
古今要覽稿第一神祇部

◎諸社寶物

寺社寶物展閱目錄五寬政四年　同　一神祇
集古十種四冊ノ中　同　上
皇太神宮殿舍考證一（度會延經　圖入）　續々十六雜
豐受皇太神宮殿舍考證一　同上　續々一神祇
內宮氏經日次記二（荒木田氏經（永享十三年、嘉吉二年、三年、文安五年、六年、寶德二年、三年、四年））　同　上
外宮神領目錄一（鎌倉時代カ）　同　上
倭姬命世紀考一　伴五
貞德他行道の覺一天正十一年　續々九地理

◎加茂

賀茂注進雜記一（加茂保可等　延寶九年成）　同　一神祇
元祿七年賀茂祭記一（野宮定基　一名賀茂祭再興記）　同　上
瀨見小河四（加茂神宮ノ考）　伴二

◎春日

續南行雜錄一（佐々宗淳）　續々三史傳

◎日吉

月能桂二（日吉祭禮記）（綠樹軒松順　貞享五年）　同　一神祇

◎石上

石上神宮御事抄一（物部光由傳本）　同　上

◎稻荷
驗の杉一（稻荷神社ノ考）　伴二
◎八幡
宇佐八幡宮緣起二一名宇佐太神宮緣起（建武二年寫）　續々一神祇
八幡考一（若狹國遠敷郡八幡宮ノ考）　伴二
◎出雲
出雲大社記一（千家正延傳本）　續々一神祇
◎嚴島
棚守房顯手記一（嚴島ノ神官棚守氏ノ舊記）　同　四史傳
◎日光
東照宮大權現緣起一　續々一神祇
于役日錄一林羅山子衡　寬文三年（日光紀行）　同　九地理
中山日錄一堀杏庵　寬永十三年（日光紀行）　同上
◎神道
類聚神祇本源十五度會家行　元應二年成　續々一神祇
豐葦原神風和記三僧慈遍　興國元年成　同上
舊事本紀玄義五（神道書紀緣起）僧慈遍　元弘二年成（二、六、七、八、十缺）　同上
瑚璉集二度會家行　同上
神祇靈應記一僧春山　同上

神皇實錄一藤原興人撰ト云フ　弘仁六年成　同上
神皇系圖一聖德太子撰ト云フ　續々一神祇
神宮祕傳問答一度會延佐　萬治三年成　同上
三社託宣略抄一慶安三年成　同上
天口事書一（伊勢神宮ノコトヲ記ス）　同上
陽復記二度會延佐　慶安中成（承應中叡覽アリシモノ）　伴二
土德編一吉川惟足　延寶七年成　續々一神祇
未生土之傳一吉川惟足、八重垣翁伴部安崇解　享保廿年成　同上
神學承傳記一（祝吉堂吉川惟足傳）　同上
土津靈神正學記一跡部良顯　正德二年（土津靈神ハ保科正之）　同上
會津神社之訓詞一吉川惟足　寬文十一年成　同上
神道生死之說一跡部光淵（良顯）　資永中成　同上
病後手習一八重垣翁伴部安崇　元文三年成　同上
八重垣大明神由祝詞、同神銘　同上
神道辨草一源忠義　享保八年成　同上
古史通四正德六年、神代ヨリ神武天皇迄史蹟ノ概要ヲ論ジタルモノ　新井三
古史通或問二正德六年（古史通ニ或問ヲ設ケ記述シタルモノ）　同上
鬼神論一　新井六

佛神論一　伴五
論鬼神新論一　同上
◎祭祀
祭祀考一　新井六
淞雲甚呂嶋考一　菅
◎神器
寶鏡秘考一　伴五
神璽三辨一（三種神器ノ考）　同二
◎鎭魂
鎭魂傳一（鎭魂法ノ考）　伴二
◎卜筮　禁厭
正卜考二安政五年刊（太占、龜卜等ノ考）　同上
易占辨一周易私論ノ原名　伴五
周易私論一　同上
方術源論一（サケヒ、マジナイ等ノコト）　同上
古今要覽稿第二曆占部　續燕二
改過筆記一曲亭馬琴
◎祝詞
中臣祓詞要解一（中臣祓ノ雜語ノ考）　伴二

◎諸宗幷諸寺
佛神論一　伴五
諸宗階級二（德川時代各宗階級衣鉢ノ記）　續々十二宗教
寺格帳二　同上
南都七大寺巡禮記一上（下卷迭）　續々十二宗教
◎諸寺寶物
寺社寶物展覽目錄五寬政四年　同　十六雜
集古十種四冊ノ中
◎修驗　山伏
踏雲錄事一行智　同十二宗教
木葉衣二同上　同上
◎東大寺
東大寺要錄十僧觀嚴　長承三年成（原本東大寺所藏國寶）　續々十二宗教
同醍醐本一（原本醍醐寺所藏）　同上
東大寺續要錄九（原本東大寺所藏國寶）　同上
東大寺法華堂要錄一　續々五記錄
南都七大寺巡禮記ノ中　同十一宗教
東大寺繪所日記一（天文四年）　同　五記錄

圓照上人行狀三凝然　續々三史傳
宋人陳和卿濫妨停止下文一元久三年四月　同　十六雜
◎附　正倉院
雙倉北雜物出用帳一（天平勝寶八ー延曆三）（卷尾缺）　同　上
延曆六年曝涼帳一（卷首缺）　同　上
延曆十二年曝涼帳一　同　上
弘仁二年官物勘錄一　同　上
雜物出入帳一（弘仁五ー天長三）　同　上
裸物出入繼文一（天平勝寶四ー齋衡三）（卷首缺）　同　上
東大寺勅封藏目錄二（建久四ー五）　同　上
天正二年截香之記一　同　上
東大寺三藏御寶物御改之帳一（慶長十七年）　同　上
慶長十九年藥師院實祐記一　同　上
正倉院御開封記草書一（元祿六年）　同　上
東大寺正倉院開封記一（同上）　同　上
東大寺正倉開封勘例一（寬文六年マデ）　同　上
二倉道具目錄一　步　同　上
正倉院御開封勘例等御尋之日記一享保七年　同　上
東大寺古文書目錄一（享保十二年）　同　上
正倉院寶物御開封事書一（天保四年）　同　上
正倉院御寶物目錄一天保四年　續々十六雜
◎興福寺
興福寺濫觴記一（享保二年マデ）　同十一宗教
興福寺別當次第六（天平勝寶中ヨリ元龜元年マデ）　同　二史傳
大乘院日記目錄三尊尊僧正　同　三史傳
南都衆徒入洛記一（保延五久安六年）　同　五記同
南都七大寺巡禮記ノ中　同十一宗教
續南行雜錄一佐々宗淳　同　三史傳
興福寺法隆寺牒狀二（建久九年ー乾元二年）　同　十六雜
◎法隆寺
法隆寺記補忘集一僧眞訓　同十一宗教
源義經搜索宣下請文一文治二年　同　十六雜
◎大安寺
大安寺碑文一淡海三船　寶龜元年　同　上
南都七大寺巡禮記ノ中　續々十二宗教
◎藥師寺
藥師寺黑草紙一（鎌倉時代ヨリ寬永十二年マデ）　同　上
同新黑草紙一（黑草紙ノ續編）　同　上
南都七大寺巡禮記ノ中　同　上
◎唐招提寺

招提千歲傳記九僧寶澄　元祿十四年成（招堤寺本）
南都七大寺巡禮記ノ中　同　上
◎長谷寺
長谷寺多寶塔銘文（一）長谷寺千躰佛銘文考　伴二
長谷寺緣起劍傳
◎延曆寺
顯戒論緣起一最澄（上卷、下卷逸）享保元年刊　續々十二宗教
入唐求法巡禮行記四圓仁　同　上
新撰座主傳三（進藤爲善）（八十八代ヨリ百二十三代マデ）　續々二史傳
天台要曆一（卷六ノ）（明治三年マデ）　同　上
大師先德明匠記一常洲小野逢善寺定珍（天台宗ノ故實）萬治三年刊　續々十二宗教
◎三井寺園城寺
長等山風二　伴四
◎東寺
東寶記八杲寶（敎王護國寺ノ記錄）（原本東寺所藏）　續々十二宗教
東寺長者補任五（弘仁十一年ヨリ寬永十一年マデ）　同　二史傳
見聞雜記一宗承（長祿元ー文明十年）　同　五記錄
長祿二年記一　同　上
◎仁和寺
仁和寺御寶物實錄一承平元年　天曆四年　續々十六雜
◎高野山并傳法院
高野山事略一　新井三
高野山參詣記一平範國　永承三年　續々五記錄
美福門院御文一（傳法院ニ關係ノ）　同　十六雜
六條判官書狀四通（同上）　同　上
◎黃檗山萬福寺
普照國師年譜二　續々三史傳
◎金剛寺河內天野
金剛寺古記寫一　同　上
◎道成寺
道成寺考一扇代弘賢　燕石三
◎大福寺瑠璃山、遠江
瑠璃山年錄殘編二（南北朝ノ頃ヨリ應永年中ニ至ルマデ）（原本同寺藏國寶）　續々三史傳
◎灌頂
灌頂記一帖（弘法大師眞筆寫眞）（原本高雄ノ神護寺所藏、國寶）　續々十三宗教
◎聲明
聲明源流記一（凝然）（聲明ノ歷史ヲ記ス）（原本東大寺眞言院藏）　同　十六雜
◎願文
筆海要津一藤原信西

◎出家（僧傳ノ傳記ノ部ニ收ム）
本朝歷代法皇外紀一僧元策　附錄三種　續々二史傳
貴胤頓臣出家標目一　同上
貴胤執政并諸名家入道薙髮目錄一　同上
武將家落髮標目一　同上
法皇外紀細門鴻寶一僧元策　同上
三州俗聖起請十二箇條事一天治二年寫　續々十六雜
僧妙達蘇生注記一天治二年（卷首缺）　同上

◎耶蘇教
吉利支丹物語二（寬永十六年刊）（以下耶蘇教ノ事ニ關スルモノ）　續々十三宗教
切支丹宗門來朝實記一一名賊宗來朝記　同上
伴天連記一　同上
肥前國有馬古老物語一肥前高來郡鳴原管內北有馬村農夫覺記　同上
查沃餘錄一（切支丹組屋敷日記）　同上
契利斯督記一　同上
破提宇子一巴畦拿著　同上
島原一揆松倉記一（寬永十四年鳴原一揆ノ始末）　續々四史傳
島原天草日記一（松平甲斐守輝綱ノ從軍日誌）　同上
山田右衛門作以言語記十六（鳴原一揆ノ一ヲ記ス）　同上

◎哲學并教育
◎教育史
本朝學原浪華鈔七松平見林著、眞野時綱抄正德六年刊　續々十教育
◎教訓
朝倉宗滴話記一一名宗滴物語　同上
北條幻庵覺書一　同上
黑田家老士物語一　同上
春鑑抄一林道春　慶安元年刊　同上
三德抄二林道春　古板　同上
敵戒說一林道春、春齋、春德　古板　同上
鬩言錄三堀田正俊　續々十三詩文
勸忠書一同上　同上
光圀卿教訓一德川光圀　續々十教育
◎國學
荷田大人創學啓一荷田東麿（春葉集附錄）　同上
和學大概一村田春海　同上
◎漢學及儒教
漢學紀源五伊地知季安　同上
千代茂登草一藤原惺窩　天明八年刊　同上

翁問答 八中江藤樹　慶安三年刊　續々十教育
學問關鍵一伊藤東涯　元文版　同上
謫居童問六山鹿素行　寬文八年成　同上
白石先生學訓一　新井六
◎學校及文庫
右文故事附錄五　近藤二
中山日錄一足利學校ノコト　續々九地理
和學講談所御用留抄一　同十六雜

◎和歌并連歌
◎撰集
顯昭古今集註二十僧顯昭　文治元年成　續々十五歌文
夫木和歌抄廿索引二冊藤原長清撰僧契沖等校　三十六卷、永仁二年成、索引ハ本會編
新撰六帖題和歌六新撰六帖　寬元二年成（家良爲家和家行家光後歌）　續々十四歌文
風葉和歌集二十文永八年成（物語ノ歌ヲ集ム）　同上
◎歌仙
集外歌仙一後水尾上皇御撰　同上
應長千首一慶長十年成　同上
沙彌惠空百首一九條植通　天正十八年成　續々十五歌文
◎家集
後水尾院御集一　同上
後十輪院內大臣詠草一中院通村　同上
爲兼卿家集補遺一藤原爲兼　文政元年刊　同上
惺窩先生倭訓集五刊本　同上
衆妙集一細川元旨　寬文十一年舊書　同上
草山集一僧元政　寬文十二年刊　同上
梶の葉三梶女　寶永四年刊　同上
佐遊李葉三百合女　享保十二年刊　同上
德川氏御代々詩歌一右文故事　卷十四、十五　近藤二
表章伊勢日記附證一　伴五
◎日次結題
後柏原院御日次結題一永正十六年成　正德六年刊　續々十五歌文
◎歌會歌
天正十六年聚樂亭御歌會御歌一　同上
文祿三年吉野山御會御歌一　同上
◎歌合
千五百番歌合二十（歌合中ノ最數多キモノ）　建仁元年成　同上

◎神樂歌
神樂歌考一　伴五
◎和歌會
和歌會式一（二條家流ノ式）　續々士歌文
◎歌學
俊賴口傳集二　源俊賴　同上
續歌林良材集二　下河邊長流　貞享元年刊　同上
梨本集三　戸田茂睡　元祿十二年刊　同上
古詠考一　伴五
◎連歌
新撰菟玖波集二十　宗祇　明應中成　寬保三年刊（連歌集）　續々士歌文
連集良材一　寬永八年刊（連歌ノ書）　同上

◎狂歌幷俳諧

◎目錄
江戸狂歌書目一　野崎左文　新群七書目
◎傳記
壺すみれ　黑川春村　續燕二
◎總集
古今夷曲集十　生白堂行風　寬文五年刊　新群十狂歌
後撰夷曲集十　生白堂行風　寬文十一年刊　同上
狂言鷺蛙集二十　朱樂菅江　四方赤良等　天明四年刊ニ次ク　故湯馬鹿集　同上
德和歌後万歲集十七　四方赤良　天明五年刊　同上
◎別集
吾吟我集十　石田未得　慶安年中刊　同上
卜養狂歌集一　半井卜養　寬文中　同上
狂歌鳩杖集一　寶藏坊信海　享保十四年刊　同上
家土産一　永田貞即　享保十四年刊　同上
狂歌醉竹集二　唐衣橘洲　享和二年刊　同上
六樹園家集一　宿屋飯盛　同上
朱樂館家集一　野崎左文編　朱樂菅江　野崎左文編　同上
滄洲樓家集一　馬場金埒　野崎左文編　同上
◎雜集
狂歌酒百首一　曉月坊　文和四年刊　同上
めでた百首夷歌一　獨山人　天明三年刊　同上
仙臺百首一　馬場金埒　同上
夷歌百鬼夜狂一　天明五年　同上
飲食狂歌合一　宿屋飯盛　列　同上

◎狂歌式
夷歌式一　生白堂行風　（後撰夷曲集ニ添）　新群十狂歌
◎俳諧俳文
俳諧書籍目錄一　阿誰軒綠陳　漆山天童補　同　七書目
俳諧古文庫一　曲亭馬琴　俳文　續燕一

◎詩文

◎詩幷詩評
後水尾天皇御製詩集一　續々士詩文
鳳啼集一　後光明天皇御製詩集　同上
機山十七首一　武田信玄　同上
貞山公詩鈔一　伊達政宗　同上
尺五先生全集二　松永尺五　同上
觀瀾集一　三宅觀瀾　同上
玉仲遺文一　僧宗琇　同上
白石詩草一　新井五
白石先生餘稿三　新井六
停雲集二　同上
室新詩評一　同上
天爵堂壽詩一　同上
德川氏代々詩一（右文故事十四）　近藤二
◎漢文
惟新公自記一　島津義弘　續々士詩文
鼠言錄一　堀田正俊　同上
勸忠書一　同　同上
惺窩先生文集十二　藤原惺窩　同上
恭靖先生遺稿三　木下錦里　同上
垂加文集七　山崎闇齋　同上
澹泊齋文集八　安積澹泊　同上
觀瀾集一　三宅觀瀾　同上
玉仲遺文一　僧宗琇　同上
白雉帖一　正德元年（朝鮮へ送リシ屏風ノ畫讚）　新井四
天爵堂壽言一　同六
◎作文書
筆海要津一　藤原信西　續々十六雜

◎書畫幷金石

集古十種四冊　松平樂翁撰　八十五卷
部門　甲冑、弓矢、旌旗、刀劍、馬具、肖像、七福神、名畫、牧溪山水、扁額、小倉色紙、文房具、磨銘、鑛銘、印章、銅器、樂器

◎筆蹟
灌頂記　一帖（弘法大師眞筆寫眞原本高雄ノ神護寺所藏、國寶）
◎繪畫
无名翁隨筆　二（池田義信（大和繪師、浮世繪ニ言及ス）妻錦繪ノ考、畫師ノ傳）　燕石二
繪そらごと　一（石野廣道（繪馬ノ事ヲ記ス））　同　三
聖像考　一　新井六
東大寺繪所日記　一（天文四年）　續々五記錄
◎金石
錢錄七、存錄附錄　一（圖入）　近藤三
玉考　一　新井六
長谷寺多寶塔銘文　長谷寺緣起劇僞　一（大和國長谷寺于鉢佛銘文考）（菅公ノ書ト云フ緣起ノ考）　伴二　新井六
那須國造碑釋文并跋　一（上野國多胡郡下池村碑同緣野郡山名村碑）　伴二
上野國三碑考　一（同山名上村碑文ノ考）　新井六
大安寺碑文　一（淡海三船　寶龜六年）　伴二
荒山大捷之碑　一（朝鮮荒山ノ碑文）　續々十六雜
八重垣翁碑銘（秋野信妙）　伴三
　　續々一神祇

◎文書并往來
◎目錄
東大寺古文書目錄　一　續々十六雜
◎公文
源義經搜索宣下請文　一（文治二年）　同上
興福寺法隆寺牒狀二建久九年乾元二年）　同上
宋人陳和卿濫妨停止下文　一（元久三年）　同上
外蕃通書二十七（外交文書ヲ多ク載セタリ）　近藤一
（正德朝鮮一件ノモノハ法制部ニアリ）
◎私書
美福門院御文　一　續々十六雜
六條判官書狀四通　同上
三州俗聖起請十二箇條事　一　同上
上加茂松下文書　一　同上
白石先生手簡　新井五
與土肥元成書　一　同上
與小瀨復庵書二（新復手簡）　同上
同五（名山藏手簡）　同上
與安積澹泊書二（新安手簡）　同上
與室鳩巢書十（新室手簡）　同上

與佐久間洞巖書四　新井五
與建部內匠頭書一　同上
◎往來
京都往來　一（鈴鹿定親　延寶二年成、古版本）　續々十教育
自遣往來　一（一名江戶往來　古版本）　同上
源平往來　二（元祿十四年刊）　同上
商賣往來　一（流布版本）　同上
名產諸色往來　一（松葉軒龍水　うろこ形屋版本）　同上
諸職往來　一（古版本）　同上
消息往來　一（高井蘭山　流布版本）　同上
◎書禮
書大體　一（齋藤淨玄　文明中）　續々十六雜
中家實錄（卷三卷四）　新井三

◎物語并小說
◎物語
平家物語　一冊（二十卷（長門本）（原本長門國赤間宮所藏、國寶））
岩清水物語　二　續々玉歌文
兵部卿物語　一　同上
風爾津連奈幾物語　二　續々玉歌文
藻屑物語　一（伊丹左京ノ事ヲ記ス）附馬琴ノ評　燕石二
◎物語ノ歌集
風葉和歌集　二十（文永八年成（物語ノ歌ヲ集ム））　續々十歌文
◎物語ノ注
源注餘滴　一冊（石川雅望　五十四卷附清石問答）
◎小說說明
國字小說通　一（木村默翁）　續燕一

◎言語并文字
◎音韻
應聲考　一（應答ノ聲ノ考）　伴三
東音譜　一　新井四
◎文字
同文通考　四（正德中）　同上
假字本末　二（假字ノ考）　伴三
地名河川兩字通用考　一　新井六
◎ヲコト點
古點譜　一（高雄寺傳來）　續々十教育
乎古止點譜　一　同上

右文故事餘錄ノ中　近藤二
◎語源　新井四
東雅二十享保四年
◎語彙幷語釋　伴五
動植名彙十　新井六
人名考一
源注餘滴一冊石川雅望　五十四卷附清石問答
◎對譯　續々七法制
建官考一（役名ノ對記）

㊄音樂幷歌舞

◎雅樂　新井六
樂考一　同上
樂對一　新井四
坐間筆語一一名觀樂筆談、內殿燕樂筆談　正德元年
◎聲明　續々十二宗教
聲明源流記一（凝然　聲明ノ源流ヲ記ス）　（原本東大寺眞言院藏）
◎猿樂幷假面　燕石一
猿樂沿革考一一名茶番由來、川崎重谷　文政九年成

猿樂傳記二一名優樂傳記　享保中成　燕石一
假面譜一喜多古能　寬政九年　續々十六雜
◎俗曲
糸竹初心集三中村宗三　寬文四年（琴、三味線、尺八ノ手引）　新群六歌曲
色道大鏡（第七卷第八卷）　續燕二
◎小唄
歌系圖一流石庵羽積　（小唄ノ作者、作曲家ノ名寄）　新群六歌曲
松の葉五秀松軒　元祿十六年刊（小唄ヲアツム）　同上
若綠五靜靈閑主人　寬永三年　同上
松の落葉六大木扇德　寬永元年刊同七年增補　同上
增補
淋しき座の慰み一延寶四年成　（寬永ヨリ延寶ノ流行唄）　燕石一
俗耳蛻吹一太田南畝　天明八年　燕石三
◎盆踊唱歌　新群六歌曲
諸國盆踊唱歌一
◎大盡舞
大盡舞考證一山東京傳　享和四年
◎幸若舞ノ本　新群八舞曲
入鹿（寬永本）

大職冠（寬永本）　新群八舞曲
百合若大臣（同上）　同上
志田（同上）　同上
滿仲（同上）　同上
硫黃が島（同上）　同上
築島（同上）　同上
鎌田（內閣本）　同上
伏見常盤（寬永本）　同上
常盤問答（同上）　同上
濱出（同上）　同上
景淸（同上）　同上
切兼曾我（內閣本）　同上
元服曾我（寬永本）　同上
和田酒盛（同上）　同上
小袖曾我（同上）　同上
劍讚歎（同上）　同上
夜討曾我（幸若本）　同上
十番切（寬永本）　同上
新曲（同上）　同上
張良（內閣本）　同上

文覺（寬永本）　新群八舞曲
伊吹（同上）　同上
夢合せ（同上）　同上
馬揃（同上）　同上
木曾願書（幸若本）　同上
敦盛（明曆本）　同上
那須與一（寬永本）　同上
未來記（內閣本）　同上
笛之卷（寬永本）　同上
鞍馬出（古寫本）　同上
烏帽子折（寬永本）　同上
腰越（同上）　同上
堀河夜討（同上）　同上
四國落（同上）　同上
靜（內閣本）　同上
富樫（寬永本）　同上
笈さがし（同上）　同上
八島（同上）　同上
淸重（同上）　同上
高館（同上）　同上

◎演劇

◎演劇

花江都歌舞妓年代記續編卅三（豐芥子編（原本田村成義氏藏）　新群四演劇

芝居町觸書一　東關洲　燕石三

俳優考一　新井六

歌舞妓事始一　新群三演劇

江戸三座由緒書一　立川焉馬（江戸三座芝居ノ由緒及ビ家ノ狂言ヲ記ス）　燕石二

北里戲場の疝氣一　原盛和　同三

老のたのしみ抄一　市川柏筵（柏筵日次ノ雜記）　同上

中古戲場說二（江戸俳優ノ逸話、江戸、京雛波俳優名家畧系及江戸淨瑠璃畧系）　燕石二

芝居乘合話一　中村重助（劇場新話ノ原本）　新群三演劇

紙屑籠一　三升屋二三治　續燕三

舞曲扇林二　河原崎權之助　同上

劇場新話二　燕石二

三升屋二三治戲場書留二　同一

傳奇作書初編（言狂作書）三　西澤一鳳　新群一演劇

（歌舞妓淨瑠璃ノ故實ヲ記セル珍書）

傳奇作書拾遺三　西澤一鳳　新群一演劇

傳奇作書殘編三　同上　同上

傳奇作書續編三　同上　同上

傳奇作書附錄三　同上　同上

傳奇作書後集三　同上　新群三演劇

傳奇作書追加一（下卷）　同上　同一演劇

皇都午睡初編三　同上　同上

皇都午睡二編三　同上　新群二演劇

皇都午睡三編三　同上　同上

脚色餘錄自序　同上　新群二演劇

脚色餘錄初編三　同上　同上

脚色餘錄二編三　同上　同上

脚色餘錄三編三　同上　同上

讚佛乘初編三　同上　同上

讚佛乘二編三　同上　同上

綺語文草二　同上（有馬溫泉記、暮秋北山廻り花洛紅葉見紀行）　同上

南水漫遊初編五　濱松歌國　同上

南水漫遊拾遺五　同上　同上

南水漫遊續編五　同上　同上

古今いろは評林二（忠臣藏ノ評）　新群一演劇

役者論語一　新群三演劇

舞臺百箇條一　杉九兵衛　同上

藝鑑一　富永平兵衛　同上

あやめぐさ一　芳澤あやめ　同上

耳塵集二　金子吉左衛門　同上

續耳塵集一　民屋四郎五郎（江音）　續燕一

寶外集一　染川十郎兵衛　同上

佐渡島日記一　佐渡島長五郎蓮智坊　同上

岩井半四郎さいご物語一　市川正德追善會我五寶永忠信物語　新群三演劇

梅幸集一　尾上菊五郎　同上

中山文七一代狂言集一　同上　同上

眠獅選二　同上　同上

◎作者

作者店卸一　同上

並木正三一代話一　同上　同上

戲財錄一　並木五瓶　續燕一

◎狂言本

娘孝行記一　富永平兵衛　新群三演劇

熊野山開帳一　同上　同上

業平河內通一　富永平兵衛　新群三演劇

御書司初寅詣一　近松門左衛門　同上

傾情一張弓一　津打治兵衛　同上

傾城三鱗形一　同上　同上

京ひな形一　山下半左衛門　同上　同上

一谷坂落一　同上　同上

當麻中將姬まんだらの由來一　同上　同上

箱傳受一　同上　同上

今川かな手本一　同上　同上

有卦入万倍曾我一　同上　同上

◎淨瑠璃

◎目錄

參考今昔操淨瑠璃外題年鑑一　一樂撰　齋藤素彰訂　新群七書目

竹本豐竹淨瑠璃譜二　文化元年、太田南畝序　燕石二

土佐淨瑠璃目錄及序文　新群五歌曲

◎歷史

今昔操年代記二　正本屋九左衛門（西澤一鳳）享保十二年刊　新群六歌曲

竹豐故事三　一樂齋撰　寶曆六年成　同上

江戸節根元記二　可柳　燕石二

なら柴一（原盛和（淨瑠璃のこと）	燕石三	同上
◎註釋		
淨瑠璃文句評注 難波土産五穗積（貫	新群六歌曲	同上
瑠璃天狗五（寶暦頃（淨瑠璃ノ注）文化丙寅刊		
◎古淨瑠璃		
四天王高名物語（金平くんぼうやぶり 寛文二年	新群五歌曲	同上
賴義金剛山合戰（井ひやうぶ物語 寛文三年	同上	同上
釋迦八相記（附佛母山蟻人 寛文九年	同上	同上
善導記寛文十年	同上	同上
日本王代記（井神武天皇のゆらひ 延寶二年	同上	同上
玉津島の御本地延寶五年	同上	同上
四天王大田合戰（すけたけ牢やぶり 寛文二三年頃	同上	同上
那須與市竹生島詣（附舟いこんの事 同上	同上	同上
賴光跡目論同上	同上	同上
津戸三郎（宇治加賀掾正本）	同上	同上
義經追善女舞（同上）	同上	同上
愛染明王影向松（同上）	同上	同上
酒天童子（同上）	同上	同上
念佛往生記（竹本筑後掾正本）	同上	同上
清水觀音利生物語（松本治太夫正本）	新群五歌曲	同上
小栗判官		
隅田川（山本土佐掾正本）	同上	同上
善光寺（同上）	同上	同上
阿漕平次	同上	同上
薩摩外記正本の序文	同上	同上
出世太平記（薩摩外記正本）	同上	同上
土佐淨瑠璃目錄及序文	同上	同上
名古屋山三郎（寶永五年刊 土佐少掾正勝正本）	同上	同上
京四條おくに歌舞妓（同上）	同上	同上
土佐日記（同上）	同上	同上
對面曾我（同上）	同上	同上
花筏芳野內裏（同上）	同上	同上
源氏六條通（同上）	同上	同上
定家（同上）	同上	同上
三世二河白道（同上）	同上	同上
源氏花鳥大全（同上）	同上	同上
艷色萬歲賴政（同上）	同上	同上
和國女眉間尺（同上）	同上	同上

通俗傾城三國誌（寶永五年刊 土佐少掾正勝正本）	新群五歌曲	同上
博多露左衛門色傳授（同上）	同上	同上
◎金平本		
金平本表紙本文及挿畫見本	新群九歌曲	同上
清原右大將延寶五年、八文字屋板	同上	同上
四天王若盛 うろこがたや板	同上	同上
四天王女大力手捕軍 同上	同上	同上
京今宮本地 同上	同上	同上
日本兩武將始（岡五郎兵衛	同上	同上
源平武將論寛文二年、山本九兵衛板	同上	同上
敵討のいこん寛文八年、八文字屋板	同上	同上
渡邊三田合戰寛文三年	同上	同上
菅原親王同上	同上	同上
公平劍のりつ火 うろこがたや板	同上	同上
公平むしや執行貞享二年、うろこがたや板	同上	同上
公平入道山めぐり うろこがたや板	同上	同上
いかづち論 鶴屋板	同上	同上
殿上闇討女袖鑑延寶五年	同上	同上
賴政寛文五年、鶴屋板	同上	同上
賴朝三島詣延寶六年、山本九兵衛板	同上	同上
碁盤忠信（延寶四年、八文字屋板	新群九歌曲	同上
義經地獄破寛文元年、山本九兵衛板	同上	同上
朝夷島わたり寛文二年	同上	同上
四天王筑紫責延寶五年、八文字屋板	同上	同上
末武印問答 山本九兵衛板	同上	同上
きさき爭ひ貞享四年、うろこがたや板	同上	同上
天狗羽打萬治三年	同上	同上
四天王むしや執行萬治二年	同上	同上
綱金時最後寛文元年	同上	同上
賴光蜘蛛切寛文二年、山本九兵衛板	同上	同上
子四天王北國合戰寛文二年	同上	同上
四天王最後	同上	同上
公平誕生記 鶴屋喜右衛門板	同上	同上
漉根惡太郎寛文四年	同上	同上
公平花壇破萬治四年	同上	同上
公平化生論寛文四年、山本九兵衛板	同上	同上
公平關破寛文二年、山本九兵衛板	同上	同上
公平末春いくさ論萬治三年、山本九兵衛板	同上	同上
公平天句問答（和泉太夫正本 正德六年、うろこがたや三左衛門板	同上	同上
八幡太郎誕生記 藤屋板	同上	同上

渡邊智略計寛文五年、八文字屋板　新群九歌曲
矢はぎ合戰　同上
勇金平正德六年、西村傳兵衛板　同上

◎公家法制

◎書目
本朝法家文書目錄一　續々十六雜
◎律令格式
講令備考十（稻葉正邦等文政中成）　同六法制
律逸八石原正明　同上
格逸五附格逸々（黑川春村）　同上
式逸二和田英松　同上
延喜式工事解三（春田永年附工事通解、文化三年刊）　同上
延喜式工事解圖錄一（圖入）（神名帳ハ神祇部ニアリ）　同上
公家新制一（弘長三年）　續々七法制
三代制符一（建久、寛喜、文永）　同上
◎儀式幷年中行事
江次第鈔七（一條兼良正月ヨリ六月マデ）（圖入）　續々六法制
當今年中行事一（中御門院時代）　同七法制
侍中群要十（橘實相談人ノ職掌ヲ記ス）　續々七法制
寛文記一　同上
天仁大嘗會記一（江記ノ中）　續々五記錄
院北面始記一（源康成記）　同上
◎官位幷服飾
准后考一　新井六
經邦典例（卷之六）一（冠服ノコト）　同上
古今要覽稿第三冠服部、裝束部　
◎大刀契
大刀契考一（古來宮中ニ傳ハレル太刀、契ノ考）　伴二
◎年號
正德年號辨一　新井六
◎故實
新野問答一　同上
車服制度手記一　同上
新近問答一　同上
中家實錄二十　續々十六雜
◎補任
議奏歷一（延寶六年ヨリ弘化三年マデ）　同　二史傳
傳奏次第一（名武家傳奏次第慶長八年ヨリ寛政五年マデ）　同上

辨官補任九（建久八年ヨリ享和二年マデ）　續々二史傳
新撰座主傳三（進藤爲善八十八代ヨリ百二十三代マデ）　同上
天台要曆（卷六）一（明治三年マデ）　同上
東寺長者補任五（弘仁十一年ヨリ寛永十一年マデ）　同上
興福寺別當次第六（天平勝寶中ヨリ元龜元年マデ）　同上

◎武家法制

◎式目
御成敗式目注一　續々七法制
貞應弘安式目一　同上
建武式目注一（清原業賢天文廿三年）　同上
◎遺命
文廟遺命一　新井六
◎官位服裝
將軍宣下三拾一度儀不同次第一　同上
武家官位裝束考一　同上
◎役名
吏徵二僊堂（向山源大夫）弘化二年（舊幕府ノ官制ヲ記ス）　續々七法制
吏徵別錄二向山源大夫　同上
吏徵附錄一向山源大夫　續々七法制
建官考一（澁井孝德寶曆十二年成（舊幕府ノ官名ト支那官名トノ對譯）　同上
◎禮式
諺々聞書貞丈抄五（伊勢貞頼入道宗五撰、貞丈注一名宗五大双紙）（圖入）　同上
◎貨幣
本朝寶貨通用事略一　新井三
改貨儀、改貨後議（白石建議ノ中）　同六
錢錄七、存錄附錄（和漢古錢圖入）　近藤三
◎地方
增補田園類說一（小宮山杢進撰、谷本教等增補天保十三年校正）　續々七法制
但馬國太田文一　同十六雜
◎關所
諸國御關所覺書一　同七法制
◎朝鮮一件
朝鮮聘禮事一（正德元年）　新井四
朝鮮信使進見儀注一同上　同上
朝鮮信使賜饗儀注一同上　同上
朝鮮信使辭見儀注一同上　同上
奉命敎諭朝鮮使客一同上　同上

朝鮮國信書之式の事一（正德元年）　新井四
朝鮮信使儀一　同上
朝鮮聘使後議一　同上
朝鮮應接記及抄釋一　同上
朝鮮冠服の事一　同上
國書復號記事一　同上
殊號事略二　新井三
以酊菴事議草一　同四
坐間筆語一（一名觀樂筆談、內殿燕樂筆談）　同上
江關筆談一（正德元年）　同上
◎新井白石意見
白石建議八（庶政建議、改貨議、改貨後議、改貨儀原本松方侯藏）　新井六
進呈之案一　同上
決獄考一　同上

◎國史并史論
◎上古　大化以前
古史通四（正德六年（神代ヨリ神武天皇迄史蹟ノ概要ヲ論ジタルモノ））　新井三
古史通或問二（正德六年（古史通ニ或問ヲ設ケ記述シタルモノ））　同上
祭祀考一　新井六

古事記年紀考一　菅
淤能碁呂島考一　同
宇知津志廢并餘言一（大和國ノコト）　伴三
中外經緯傳六（外交ノコト）　同上
漢籍倭人考三　菅
任那考三　同
高橋氏文考註一　伴三
倭姬命世紀考一　同五
法隆寺記補忘集一（僧貞訓）　續々十二宗教
◎中古　王朝時代
長等山風二（弘文天皇御事蹟ノ考）　伴四
同附錄四　同上
竹榮秘抄一（皇族ノコト）　伴三
白石先生遺文二（附白石新井先生傳（史論））　新井五
白石先生遺文拾遺二　同上
松の藤廕并附錄一（藤原氏ノコト）　伴三
貞慧傳一　續々三史傳
長谷寺多寶塔銘文（一）（大和國長谷寺千体佛銘文考）
長谷寺緣起劍僞（一）（菅公ノ書ト云フ緣起ノ考）　伴二
那須國造碑釋文一　新井六

上野國三碑考二（上野國多胡郡下池村碑、同緣野郡山名村碑、同上名上村碑文ノ考）　伴二
藥師寺黑草紙一（鎌倉時代ヨリ寬永十二年マデ）　續々十二宗教
同新黑草紙一（黑草紙ノ續編）　同上
興福寺濫觴記一（享保二年マデ）　同上
興福寺別當次第六（天平勝寶中ヨリ元龜元年マデ）　續々二史傳
東大寺要錄十（僧覺嚴長承三年成（原本東大寺所藏國寶））　同十一宗教
同醍醐本一（原本醍醐寺所藏）　同上
東大寺法華堂要錄一（泉高父宿禰安元元年成）　續々五記錄
行基年譜一　同三史傳
招提千歲傳記九（僧曉澄）　同十一宗教
雜物出入繼文一（天平勝寶四－齊衡三）　同十六雜
雙倉北雜物出用帳一（天平勝寶八－延曆三）　同上
東大寺三倉開封勘例一（天平時代－寬文六）　同上
讀史餘論三（正德二年）　新井三
藤原氏擅權考一　菅
東寶記八（皇寶敎王護國寺ノ記錄）（原本東寺所藏）　續々十二宗教
弘法大師弟子傳二（僧智燈）　同三史傳
入唐求法巡禮行記四（圓仁等入唐求法ノ記（國寶）（原本東寺所藏））　同十二宗教
三代御記二（宇多醍醐村上三帝宸記）　續々五記錄
淨藏法師傳一　同三史傳
貞信公記一（藤原忠平）　同五記錄
仁和寺御室御物實錄一（承平元年天曆四年）　同十六雜
九曆一（藤原師輔（天曆－天德））　同五記錄
行親記一（長曆元年）　同上
高野山御參詣記一（平範國（永承三年））　同上
大乘院日記目錄三（尋尊僧正）　續々三史傳
江記一（大江匡房（寬治八天仁元年））　同五記錄
平知信記一（中宮大進（長承四年））　同上
美福門院御文一　續々十六雜
六條判官書狀四通　同上
南都衆徒入洛記一（保延五久安六年）　續々五記錄
僧妙達蘇生注記一（天治二年）　同十六雜
三州俗聖起請十二箇條事一　同上
玉葉三冊（藤原兼實著　六十六卷（源平時代ノ記錄）（原本九條公爵所藏））
平家物語一冊二十卷（長門本（原本長門國赤間宮所藏、國寶））　續々十六雜
源義經搜索宣下請文一（文治二年）
◎近古　武家時代

讀史餘論三　新井三
東大寺敕封藏目錄記三（建久四年寬元四年弘安十一年）　續々十六雜
興福寺法隆寺牒狀二（建久九年乾元二年）　同　上
三代制符一（建久、寬喜、文永）　續々七法制
家長日記一（建仁ー承元）　同十五歌文
宋人陳和卿濫妨停止下文一（元久三年）　同　十六雜
圓照上人行狀三冊（疑然）　同　三史傳
貞應弘安式目一　同　七法制
御成敗式目注一　同　上
上賀茂松下文書一　續々十六雜
吉田爲經卿記一（寬元四年）　殘
公家新制一（弘長三年）　同　五記錄
但馬國太田文一（弘安八年）　細
冬平公記一（乾元二年）　同　十六雜
續南行雜錄一　齊　同　五記錄
辨宮補任九（建久八年ヨリ享和二年マデ）　藤　同　三史傳
興福寺別當次第六（天平勝寶中ヨリ元龜元年マデ）　基　同　二史傳
新撰座主傳三　恒　公　同　上
東寺長者補任五　日　內　同　上
存覺上人一期記三　記　宮　續々三史傳

太平記一冊廿六卷（神田本）（原本神田男爵所藏、傳寫本無シ）　菅
南山皇胤譜六　續々三史傳
楠木合戰注文一　同　七法制
建武式目注一（清原業賢　天文廿三年）　同　五記錄
匡遠記一（左大史小槻宿禰　親應）　同　上
北面假名記一（院北面始記源康成　應安四年）　續々三史傳
大乘院日記目錄三卷（南北朝ノ頃ヨリ應永年中ニ至ルマデ）　同　上
瑠璃山年錄殘編二（南北朝ノ頃ヨリ應永年中ニ至ルマデ）　同　上
金剛寺古記寫一　伴三
殘櫻記二（南朝ノコト）　續々三史傳
細川賴之祠堂記一（僧元策　承應三年成）　同　五記錄
齊藤基恒日記一（永享十二ー康正二）　同　一神祇
內宮氏經日次記二（荒木田氏經　永享十三年、嘉吉二年、三年、文安五年、六年、寶德二年、三年、四年）　同　四史傳
公方兩將記二（應仁ヨリ永正中マデ）　同　三史傳
常德院書像贊一（僧周麟　足利義尙ノ事ヲ記ス）　同　五記錄
見聞雜記一（宗承　長祿元ー文明十年）　同　上
長祿二年記一　續々四歌文
後柏原院御日次結題一（永正十六年成　正德六年刊）

東大寺繪所日記一（天文四年）　續々五記錄
小弓御所樣御討死軍物語一（天文七年國府臺戰記）　同　四史傳
萬里小路惟房卿記一（天文十年）　同　五記錄
北條幻庵覺書一　同　十教育
南都七大寺巡禮記一上（下卷逸）　同十一宗教
漢學紀源五伊地知季安　同　十教育
世田谷私記一（武藏世田谷ノ領主時田氏ノコトヲ記ス）　同　四史傳
菅谷傳記一（常陸小田氏ノ幕下菅谷氏ノコトヲ記ス）　同　上
多賀谷七代記一（常陸下妻城主多賀谷氏ノコトヲ記ス）　同　上
沼田記一（上野沼田城主平經僧ノ家ノコトヲ記ス）　同　上
佐野宗綱記一（下野佐野城主宗綱等ノ事蹟ヲ記ス）　同　上
餘目氏舊記一（留守氏舊記　文治中ヨリ文正十一年マデ）　同　上
雙林寺傳記一（文祿之役ノ從軍日記ナリ）　同　上
棚守房顯手記一（嚴島ノ神官棚守氏ノ舊記）　同　上
忽那軍忠次第一　續々三史傳
忽那島開發記一　同　上
立齋舊聞記二（立花宗茂ノ事ヲ記ス）　同　上
平島記一（阿波平嶋公方三好氏ノコトヲ記ス）　續々四史傳
香宗我部氏記錄一（土佐ノ香宗我部氏ノコトヲ記ス）　同　上

下京中出入之帳一（元龜四年）　續々十六雜
天正二年截香記一　同　上
藥師院寶祐記一（天正二年慶長十七年）　續々十六雜
天正十六年聚樂亭御歌會御歌一　同十四歌文
箱根山中城責由來一（天正十八年秀吉山中城ヲ責メシトキノコトヲ記ス）　續々四史傳
忍城戰記一（天正十八年忍城主成田長氏籠城ノコトヲ記ス）　同　上
天正日記一（天正十八年）　續々五記錄
沙彌惠空百首一（九條植通　天正十八年成）　同十四歌文
文祿三年吉野山御會御歌一　同　十六雜
親綱卿記一（文祿四年）　同　五記錄
清正高麗陣覺書一（下川兵太夫　西征日記一僧天荊　文祿之役ノ從軍日記ナリ）　同　四史傳
是齋重鑑九州下向記一（慶長三年）　同　三史傳
惟新公自記一（嶋津義弘　荒山大捷之碑一）　同十三詩文
切支丹宗門來朝實記一（一名賊宗來朝記　切支丹宗ノコト耶蘇教ノ條參照）　伴三
外國通信事畧一　續々十三宗教
新井三

外蕃通書二十七（朝鮮、阿爾陀、明、安南、暹邏、爪哇、柬埔寨、占城、太泥、田彈、呂宋、阿媽港、新伊西把爾亞、漢叉利亞ノ交通ヲ記ス）近藤一
亞媽港紀畧葉二（圖入）同上
玉仲遺文一釋宗琇續々十三詩文
◎近世　德川時代（地理ノ部江戸ノ條參照）
藩翰譜十二附系圖五元祿十四年新井一
藩翰譜續編十二近藤吉左衞門等文化三年同二
續皇年代略記一小野高潔續々二史傳
傳奏次第一（一名武家傳奏次第　慶長八年ヨリ寬政五年マデ）同上
議奏歷一（延寶六年ヨリ弘化三年マデ）同上
辨官補任九（建久八年ー享和二年）同上
新撰座主傳三同上
天台要曆一同上
東寺長者補任五（弘仁十一年ー寬永一年）同上
今昔操年代記二（正本屋九左衞門（西澤一鳳）享保十二年刊）新群六歌曲
花江都歌舞妓年代記續編卅三豐芥子編同四演劇
東照宮大權現緣起一續々一神祇
本佐錄考一新井六
江戸往古圖說一燕石三
慶長江戸圖考一燕石三
東大寺三藏御寶物御改之帳一（慶長十七年）續々十六雜
田邊城合戰記一同三史傳
石川忠總家臣大坂陣覺書一同四史傳
大坂陣山口休庵咄一（豐臣氏ノ臣山口休庵ガ冬役ノ働ヲ記ス）同上
土屋忠兵衞知貞私記一（大坂兩役ノコトヲ記ス）同上
仙道會津元和八年老人覺書一續々九地理
中山日錄一（堀杏庵　寬永十三年）同上
島原天草日記一（松平甲斐守鎭網ノ從軍日誌）續々四史傳
（天草事件ノモノ耶蘇教ノ條參照）
寬文印知集二十四（寬文四年調諸大名領地ヲ記ス）同九地理
寬文記一同七法制
于役日錄一（林向陽子衡　寬文三年）同九地理
辰巳無人島訴狀并口上留書一（小笠原民部　延寶八年小笠原島ヘ航海ノ記（圖入））同上
元祿七年賀茂祭記一（野宮定基　一名賀茂祭再興記）新群六歌曲
正德年號辨一同四演劇
朝鮮聘禮事一（正德元年　正德朝鮮一件ノモノ法制ノ條參照）續々一神祇
新井六
白石建議八（庶政詢議、改貨議、改貨後議　改貨議原本松方侯藏）同四
同六

本朝寶貨通用事略一新井三
文廟遺命一同六
折たく柴の記三（正德六年白石自傳）同三
寬天見聞記一（寬政以降ノ世事變遷ヲ記ス）燕石三
和學講談所御用留抄一續々十六雜
休明光記九（松前奉行羽太正養　蝦夷地ニ關スルコトヲ記ス）同四史傳

◎傳記幷氏族（演劇ノ條參照）

◎姓氏
古今要覽稿第一姓氏部
◎皇室
續皇年代略記一小野高潔續々二史傳
竹柴祕抄一（皇族ノコト）伴三
南山皇胤譜六菅
◎藤原氏
松の藤靡幷附錄一（藤原氏ノコト）伴三
◎高橋氏
高橋氏文考註一同上
◎岩松氏
岩松家系附錄序說一新井三
◎上杉　長尾
雙林寺傳記一（長尾昌賞影像記、上杉傳來記）續々四史傳
◎蜂須賀
尊語集抄一（明德嘉言誌　蜂須賀家政以下三代ノ言行ヲ記ス）同三史傳
◎新井
新井家系一享保八年新井三
◎漢學者
漢學紀源五伊地知季安續々十教育
◎僧侶（佛教部參照）
弘法大師弟子傳二僧智燈同三史傳
招提千歲傳記九（元祿十四年成（招提寺本））同十一宗教
漢學紀源五伊地知季安同十教育
◎戲作者
戲作者小傳一（岡清兵衞ヨリ笠亭仙果マデ八十六人）燕石一
戲作六家撰一（活東子　京傳、三馬、馬琴、一九、種彥、焉馬）同上
京謔戲作者考一木村默翁續燕一
作者店おろし一新群三演劇
◎俠客
浪花五俠傳一（大阪五人男ノコト）燕石一

◎遊女（高尾八下ニ擧グ）
遊女考　一（相場長昭　藤原時代ヨリ德川時代マデ遊女ノ古書ニ散見セルモノヲ抄錄ス）　燕石一
色道大鏡（第十七卷）　續燕二
◎雜
當世武野俗談　一（馬場文耕　寶曆七年（江戸ニアリタル珍ラシキ人ノ事ヲ記ス）　燕石二
浪速人傑談　二　政田義彥　續燕一
深川珍者錄　四　同上
十八大通　一（琴通齋閑人（三升屋二三治）　續燕二
江都百化物　一　同上
◎肖像
集古十種第一冊ノ中　續々三史傳
◎別傳
足利義尚　新井五
常德院畫像贊　一（僧周麟）　同六
新井白石　同三
新井白石先生傳　一（遺文附錄）
白石先生年譜　一（三田葆光）
折たく柴の記　三（正德六年（白石自傳）
池田光政

吉備烈公遺事　一（湯淺元禎）　續々三史傳
伊勢御　伴五
表章伊勢日記附證　一
伊丹左京　燕石二
藻屑物語　一（伊丹左京ノ事ヲ記ス）附馬琴ノ評
隱元　續々三史傳
普照國師年譜　二（僧性日、僧性派）　同上
加藤光泰、貞泰　同上
加藤光泰貞泰軍功記　一（寬延四年成）　同上
曹溪院行狀記　一　同上
加藤系傳　一（曹溪院行狀記ノ附錄）　續々一神祇
吉川惟足（觀吉堂）　續々三史傳
神學承傳記　一　續燕二
曲亭馬琴　續燕一
改過筆記　一　續々三史傳
行基　續々三史傳
行基年譜　一（泉高父宿禰安元元年成）　續々三史傳
熊澤蕃山　菅
熊澤蕃山幽居始末　一
黑田如水

黑田家老士物語　一　續々十敎育
近藤守重　立齋舊聞記　二
近藤守重事蹟考　一（村尾元長）　高尾
幽囚後之近藤重藏　一（淺見安左衛門　東野善一郎共編）　高尾考　一（原武太夫攜太田南畝等補）　近藤　一
弘文天皇　京山　高尾考　一（岩瀨京山）　同上
長等山風　二　玉菊　燕石二
同附錄　四　玉菊考　一（山崎美成）　燕石一
最澄傳敎大師　貞慧　燕石二
顯戒論緣起　一（最澄（上卷、下卷法）享保元年刊）　貞慧傳　一　續々三史傳
山東京傳　德川家康　續々三史傳
一代記　一　京山　東照宮大權現緣起　一　同　一神祇
淨藏　德川賴宣　續燕二
淨藏法師傳　一　紀侯言行錄　三　同　三史傳
朱舜水　德川光圀　續々三史傳
舜水先生行實并略譜　一（今井弘濟、安積覺）　桃源遺事　五　同上
宗長　伴部安崇　同上
宗長居士傳　一（編住道祐　寬文八年成）　八重垣大明神申祝詞、同碑銘　續々一神祇
存覺上人一期記　三　同上　西澤一鳳　新群一演劇
立花宗茂　西澤一鳳小傳　一　英一蝶　續燕一
一蝶流滴考　一（岩瀨京山）

塙保己一　和學講談所御用留抄一　續々十六雜
濱松歌國　濱松歌國小傳一　倭姫命　倭姫命世紀考一
林羅山　林羅山　吉野　吉野傳一（藤井高尚　文化九年）　新群二演劇
羅山先生行狀一（林靖　萬治二年成）　續々三史傳
伴信友　肖像傳記略年譜一　圓照　圓照上人行狀三（僧凝然）
平賀源内　平賀源内實記五（憑齋老人　天明八年）　燕石二
藤原惺窩　惺窩先生行狀一（林羅山）　續々三史傳
保科正之　土津靈神言行錄二　同　三史傳
土津靈神正學記一（跡部良顯　正德二年）　同　一神祇
細川賴之　細川賴之祠堂記一（僧元容　承應三年成）　同　三史傳
松平信綱　事語纂志錄二（奥村保之）　同　上
妙達　◎武器　本朝軍器考十二　新井六
本朝軍器考集古圖說二（圖入）　同　上
集古十種ノ内甲冑弓矢旗刀鉾馬具等　續々十六雜
古今要覽稿第二器財部　續々十六雜

僧妙達蘇生注記一（天治二年）　續々十六雜
◎軍事幷武器
◎兵法
孫武兵法擇十三　新井六
孫武兵法擇副言一　同　上
敵戒說一（林道春、春齋、春德）　續々十敎育

古今要覽稿第二地理部

◎甲冑　新井六
品革威考一　同　上
鏡直垂考一
◎弓箭
弓矢古義推考一（三十三間堂通矢ノコト舊事紀大成經射法本紀ノコト）　伴五
麻々伎考一　同上
鞆考補證一　同上
◎大刀幷契
大刀契考一（古來宮中ニ傳ハレル太刀、契ノ考）　伴二
◎紋章　新井六
木瓜考一　續燕一
反古染一（越智直久）

◎地理（神社、寺院、紀行ノ部參照）
◎書目
編修地誌備用典籍解題總目錄二　續々十六雜
◎日本全國
本朝地理志略一（林羅山　寬永二十年成）　同　八地理
日本略記一　同　上
日東行程考一　新井六

古今要覽稿第二地理部
◎地名
國郡名考一　新井六
地名河川兩字通用考一　同　上
◎領地
寬文印知集二十四（寬永四年調、諸大名領地ヲ記ス）　續々九地理
外宮神領目錄一（鎌倉時代カ）　同　一神祇
◎關所
諸國御關所覺書一　同　七法制
◎名勝
高子觀遊記一（霧島、阿蘇、富士、不知火ノコト）　新井五
◎河流
畿内治河記一（河村瑞賢安治川水津川ヲ修セシコト）　同　三
◎海路（紀行ノ部參照）
奥羽海運記一（河村瑞賢カ奥羽ニ於ケル官米漕運ノ航路ヲ擴張セシコト）　同　上
◎物產
名產諸色往來一　松葉軒龍水　續々十敎育
◎山城幷京都（加茂、稻荷、北野ハ神社ノ部ニ東寺、仁和寺ハ寺院ノ部ニアリ）　黑川道祐　天和二年刊（山城國ノ地志圖入）　同　八地理
雍州府志十

下京中出入之帳一元龜四年
京都往來一鈴嵐定親
暮秋北山廻り二（綺語文草ノ中）
花洛紅葉見紀行一（同上）
京攝戲作者考一木村默翁
色道大鏡ノ中
◎大和并吉野（春日、石上ノ神社ノ部ニ、東大寺興福寺等ハ寺院ノ部ニアリ）
和州舊跡幽考二十林宗甫　延寶九年刊
宇知津志麻餘言一（大和國ノコト）
續南行雜錄一佐々宗淳
文祿三年吉野山御會御歌一
吉野記一飛鳥井雅章
踏雲錄事一行智（修驗山伏ノコトヲ記ス）
木葉衣二（同上）（同上）
◎河內
金剛寺古記寫一
楠木合戰注文一
◎和泉、堺
堺鑑三衣笠一閑　天和三年刊

續々十六雜
同　十教育
新群二演劇
同　上
續燕一
同　二

續々八地理
伴三
續々三史傳
同十四歌文
同　九地理
同十二宗教
同　上

續々三史傳
同　上

續々八地理

◎攝津、大阪、兵庫有馬（大阪陣ノコトハ歷史部ニアリ）
蘆分船六一無軒道治　延寶三年刊（大阪ノ地志）
浪花五俠傳一（大阪五人男ノコト）
浪速人傑談二政田義彥
京攝戲作者考一木村默翁
兵庫名所記二植田下省子　寶永七年刊
有馬溫泉記一（綺語文草ノ中）
◎遠江
瑠璃山年錄殘編二（南北朝ノ頃ヨリ應永年中ニ至ル迄）（大福寺所藏國寶）
◎伊豆　無人島（小笠原島）
辰巳無人島訴狀并口上留書一小笠原民部　延寶八年小笠原島ヘ航海ノ記（圖入）
◎相模　鎌倉
箱根山中城責由來一（城ヲ責メシトキノコトヲ記ス）　天正十八年秀吉山中
鎌倉記二僧澤庵
◎武藏　葛飾
世田谷私記一（武藏世田谷ノ領主蒔田氏ノコトヲ記ス）
忍城戰記一（天正十八年忍城主成田長氏籠城ノコトヲ記ス）
葛飾記二青山某（葛飾ノ名所古蹟ヲ記ス）

續燕一
同　一
續燕一
燕石二
新群二演劇

續々八地理
續々三史傳
同　四史傳
同　九地理

同　四史傳
同　九地理

同　四史傳
同　上

燕石二

◎江戶
天正日記一內藤清成　天正十八年
江戶往古圖說一
慶長江戶圖考一
吾妻めぐり二原名色吾論（江戶見物ノ紀行）
江戶名所記七淺井了意
當世武野俗談一馬場文耕　寶曆七年（江戶ニアリタル珍ラシキ人ノ事ヲ記ス）
近世江都著聞集十一馬文耕（江戶ニ出來タル事ヲ記ス）
江戶眞砂六十帖五寶曆中成（江戶ノ出來事ヲ記ス）
江戶眞砂六十帖廣本十（江戶ノ出來事ヲ記ス五卷本ノ補遺）
江戶塵拾五（江戶ノ名所名物ヲ記ス）
南向茶話一付道孝酒井忠昌　明和二年成（江戶ノ地理）
賤のをだまき一森山孝盛　享和二年成（江戶市中ノ風俗ヲ記ス）
後は昔物語一手柄岡持（不澤落富）　享和三年成（隨筆）
夢の浮橋二（文化四年永代橋ノ落チシトキノ記）太田南畝編
夢の浮橋附錄一春の舍成文　文化五年（深川八幡祭禮ノ賑ヲ描キ永代橋ノ落チタル事ヲ記ス）

續々五記錄
燕石三
同　上
燕石二
續々八地理

燕石二

同　上
燕石一
同　二
同　三
同　一
同　上
同　上
同　三

我衣一鬼尾庵南竹（加藤玄悅）　文化八年成（德川時代ニ於ル風俗ヲ記ス）
奴師勞之一（ヤツコダコ）太田南畝　文化十五年成（隨筆）
式亭雜記一式亭三馬
瀨田問答一太田南畝問、瀨名貞雄答　（江戶ノ地理等）
事蹟合考五柏崎貞元　（江戶ノコトヲ記ス）
塵塚談二小川顯道　文化中成（隨筆）
望海每談一（江戶ノ舊事古蹟ヲ記ス）
後見草三上卷一名明暦懲惡錄、龜岡宗山　中下卷、杉田玄齋、附錄淺間山噴火記事、志賀紀豐
墨水消夏錄三東關洲　（江戶ノ地理等）
寬天見聞記一（寬政以降ノ世事變遷ヲ記ス）
蜘の糸卷二岩瀨京山　弘化四年成
武江年表補正略一喜多村信節
神代餘波二齋藤彦麿　弘化四年（隨筆）
自遣往來一一名江戶往來
駿河臺志一（江戶駿河臺ノ事ヲ記ス）
深川珍者錄四
異聞雜稿二
江都百化物一

燕石一
同　上
燕石一
同　二
同　三
同　一
同　上
同　上
同　三

燕石三
同　一
續燕一
燕石二
續々十教育
燕石二
續燕一
同　二
同　上

金杉日記一　續燕二
◎吉原
吉原書籍目錄一　柳亭種彥　新群七書目
續吉原書籍目錄一　大久保豐　同　上
吉原町定書一　燕石三
異本洞房語園二　庄司勝富　同　上
洞房語園後集一　同上　續燕一
吉原源氏五十四君一　榎本其角　真享四年　同　上
北里戲場隣の疝氣一　原盛和（吉原及ビ劇場ノ變遷ヲ記ス）　燕石三
吉原雜話一　同　上
色道大鏡ノ中　續燕二
新吉原略說一　附玉菊考　山崎美成　燕石二
大盡舞考證一　山東京傳　享和四年　同　三
高尾考一　原武大天撰　太田南畝補　同　一
京山高尾考一　山東京山　續燕二
遊女考一　相場長昭　燕石一
◎下總
小弓御所樣御討死軍物語一（天文七年國府臺戰記）　續々四史傳
◎常陸
菅谷傳記一（常陸小田氏ノ幕下菅谷氏ノコトヲ記ス）　續々四史傳
多賀谷七代記一（常陸下妻城主多賀谷氏ノコトヲ記ス）　同　上
桃源遺事五　續々三史傳
舜水先生行實并略譜一　同　上
澹泊齋文集八　續々十三詩文
觀瀾集一　同　上
◎信濃ノ淺間山
淺間山噴火記事一（後見草附錄）　燕石一
◎上野ノ前橋井古碑
前橋風土記一　古市剛　貞享元年成（附錄アリ）　續々八地理
上野國三碑考一（上野國多胡郡下池村碑同綠野郡山名村碑同山名上村碑文ノ考）　伴二
沼田記一（上野沼田城主平經信ノ家ノコトヲ記ス）　續々四史傳
◎下野ノ那須（東照宮ハ神社ノ部ニアリ）
那須國造碑釋文并跋一　同　上
◎陸奥（紀行ノ部參照）　新井六
會津風土記一　保科正之　寬文十一年成　續々八地理
五十四郡考一（奥州五十四郡ヲ建置沿革ニ據キ考說シタルモノ）　新井三

餘目氏舊記一　留守氏舊記（文治中ヨリ文正十一年マデ）（原本陸中國餘目氏所藏）　續々四史傳
東奥白河往昔之記一　同　九地理
仙道會津元和八年老人覺書一　同　上
土津靈神正學記一　跡部良顯　續々一神祇
土津靈神言行錄二　同　三史傳
會津神社之訓詞一　吉川惟足　同　一神祇
磐城風土記一　寬文九年成　同　八地理
◎若狹
若狹舊事考一　伴五
若狹國官社私考二　同　二
若狹國神名帳私考二　同上
◎越後
越後風土記一（越後蒲原郡小川庄地志）　續々八地理
雙林寺傳記一　長尾昌賢影像記、上杉傳來記　同　四史傳
◎丹後
田邊城合戰記一　同　三史傳
◎但馬
但馬國太田文一　弘安八平　同　十六雜
◎出雲（大社ハ神社ノ部ニアリ）
懷橘談二　黑澤三右衛門　承應中（出雲ノ地志）　同　九地理
◎隱岐
隱洲視聽合紀四　寬文七年　續々九地理
◎備前
吉備烈公遺事一　湯淺元禎　同　三史傳
◎安藝、備後（嚴島ハ神社ノ部ニアリ）
藝備國郡志二　黑川道祐　寬文三年（安藝備後ノ地志）　同　九地理
◎紀伊（高野山ハ寺院ノ部ニアリ）（紀行ノ部參照）
紀侯言行錄三　同　三史傳
道成寺考一　屋代弘賢　燕石三
◎淡路
淡能基呂島考一　菅
◎阿波
平島記一（阿波平鳴公方三好氏ノコトヲ記ス）　續々四史傳
尊語集抄一　明德嘉言誌　同　三史傳
◎伊豫
忽那軍忠次第一　同　上
忽那島開發記一　同　上
加藤光泰貞泰軍功記一　同　上
曹溪院行狀記一　同　上
◎土佐

香宗我部氏記錄一（土佐ノ香宗我部民ノコトヲ記ス）　續々四史傳
◎筑前
黑田家老士物語一　同　十教育
◎筑後
立齋舊聞記二　同　三史傳
◎肥前、長崎
長崎緣起略記一　僧法昭　正德二年成　同　八地理
肥前國有馬古老物語一　肥前高來郡嶋原管內北有馬村農夫記　同十二宗教
◎豐前
宇佐八幡宮緣起二　同　一神祇
◎日向ノ霧島山
霧島山逆矛ノコト（佛神論ノ中）　伴五
◎薩摩
惟新公自記一　續々十三詩文
漢學紀源五伊地知季安　同　十教育
◎北海道幷樺太
蝦夷記一（寬文九年ノ記）　同　九地理
蝦夷島記一　同　上
蝦夷志一　新井三
松前島鄉帳一（元祿十三年調、蝦夷ノ地名ヲ記ス）　續々九地理

邊要分界圖考八（蝦夷唐太ト外國トノ堺界ノ考）　近藤一
休明光記九　松前奉行羽太正養　續々四史傳
◎琉球
流球國鄉帳一（寬文八年調、琉球國內ノ草高ヲ記ス）　續々九地理
流球國事略一　新井三
南島志二　同　上

◎紀行

◎近畿
高野山參詣記一　平範國、永承三年（京ヨリ高野山ヘ）　續々五記錄
和紀記行一　岡西惟中（天和ヨリ紀州ヘ）　同　九地理
貞德他行道の覺一　天正十一年（伊勢ヨリ上方ヘ紀行）　同　上
宋雅道すがら之記一　飛鳥井雅緣　應永卅四年（京ヨリ越前ヘ）　同　上
◎東海道
德永種久紀行一（西國ヨリ江戶ヘ）　續燕一
元和七年東海紀行一（江戶ヨリ）　續々九地理
立圖東の記行一　同　上
◎中山道
中山日錄一　堀杏庵　寬永十三年　同　上

◎西國海路
德永種久紀行一（元和三年柳川ヨリ京ヘ）　續燕一
江海風帆草三　宮本重利等　寬永元年（長崎ヨリ大阪ヘノ海上紀行）　續々九地理
白水郎子紀行三（アマノコノスサビ）　岡西惟十（四國紀行）　同　上
是齋重鑑
于役日錄一　林向陽子衡　寬文三年（江戶ヨリ日光ヘ）　同　上
◎奧州海道
吾妻めぐり二　德永種久　燕石二
宗因東の記行一（江戶ヨリ松島ヘ）　續々九地理

◎外國地理幷外交

◎書目
編修地誌備用典籍解題總目錄二　續々十六雜
◎諸外國幷西洋
中外經緯傳六（外交ノコト）　伴三
西洋紀聞三　新井四
采覽異言五　正德三年　木村三
外國通信事畧一　同　上
　新井三

外蕃通書二十七（朝鮮、阿蘭陀、明、安南、暹羅、柬埔寨、占城、太泥、田彈、呂宋、阿媽港、新伊西把儞哩、漢叉利亞ノ交通ヲ記ス）　近藤一
◎朝鮮（文祿ノ役ニ關スルモノハ歷史ノ部ニアリ）
任那考三　菅
高麗史三冊（朝鮮鄭麟趾等奉勅撰）　（高麗太祖ヨリ恭讓王マデノ歷史、我陽成天皇ヨリ後龜山天皇時代ニ當ル）　伴三
荒山大提之碑一
◎支那幷安南
入唐求法巡禮行碑四（圓仁、入唐求法ノ記、國寶、原本東寺所藏）　續々十三宗教
亞媽港紀略藁二　近藤一
安南紀略藁二　同　上

◎風俗幷遊戲（演劇ノ條地理部江戶ノ條等參照）

書證錄一　喜多村信節　續燕一
筠庭雜錄二　同　二
無垢衣考一　山東京傳　同　上
木瓜考一　新井六
牙籤考幷附錄二及附記　近藤三
反古染一（越智直久紋幷草）　燕石一

色道大鏡九（九卷缺）　島山淇山　續燕二
其昔がたり一　三木隆盛　同上
只今お笑草一　瀬川加皐　同上
古今要覽稿ノ中（草木、禽獸、蟲介、菜蔬等）　新井六
◎角力
相撲傳書一　木村守直　燕石二
◎落語
鹿の卷筆五　鹿野武左衛門　同三
◎博奕
博戲犀照一　山崎美成　續燕一
◎俄
清神秘錄一　同二

◎實業

商賣往來一　續々十教育
諸職往來一　同上
名產諸色往來一　同上
絲割符由緒書一　伊藤權左衛門（寛政十二年）　續々十六雜
釣客傳二　墨田五柳　續燕一

◎博物

動植名彙十　伴五
古今要覽稿ノ中（草木、禽獸、蟲介、菜蔬等）　新井六
玉考一

◎隨筆幷雜著

松屋筆記三冊（百二十卷缺卷アリ）　小山田與清著（原本東京帝國大學所藏傳寫本帝國圖書館ニアルノミ）　伴四
比古婆衣二十（內四卷刊本）　新井五
白石先生紳書十　同上
退私錄三　同上
退私錄附言一　同上
塵塚談二　小川顯道　文化中成（隨筆）　燕石一
後は昔物語一　手柄岡持（平澤常富）　享和三年成（隨筆）　同上
奴師勞之（ヤッコダコ）一　太田南畝　文化十五年成（隨筆）　同上
俗耳蒙吹一　太田南畝　天明八年（隨筆）　燕石二
神代餘波二　齋藤彦麿　弘化四年（隨筆）　同上
獨寐一　柳澤里恭（隨筆）　同上

无名翁隨筆二　池田義信（大和繪師、浮世繪、吾妻錦繪ノ考、畫師ノ傳）　燕石二
麓の花一　山崎美成（隨筆）　同三
繪そらごと一　石野廣道（繪馬ノ事ヲ記ス）　同上
異聞雜稿一　曲亭馬琴　續燕二
すゞみ草一　建部綾足遺稿　同上
改過筆記一　曲亭馬琴　同上
柳亭遺稿一　柳亭種彥　同上
疑問錄一　天保四年　同上

勸刻書說

凡有力好事之人、若自攝總業學問不足過人、而欲求不朽者莫如刊布古書一法、但刻書必須不惜重費延聘通人、甄擇祕籍詳校精雕、其書終古不廢則刻書之人終古不泯、如歙之鮑吳之黃南海之伍金山之錢、可決其五百年中必不泯滅不勝於自著書自刻集者乎、且刻書者傳先哲之緒經啓後學之困蒙亦利濟之先務積善之雅談也、

（張之洞）（書目答問）

日本古刻書史

序

予古代の刻本に遭遇する毎に、鏤鋟の事頗る不容易なりし當時、幾許の艱難に堪へて書籍を印行せし人々の勞を憶ひ、深謝の念轉、禁じがたきものあるを感ぜずはあらず。是れ啻に著者の心血を注ぎたる書籍の傳を弘うせるが故のみに非ず、印行の事實は印行の起志を語り、印行の起志は更に歴世思想の趨勢傾向に就きて吾人に教ふる所少からざるが爲なり。蓋し人の著作によりて當時の思潮好尚の如何を窺知し得ることは、其刊本たると寫本たるとに緣るべからずと雖も、古者印行の業甚だ難き時に於て其實施を見るに至りし者は、吾人をして大抵錯り無く其書籍に對する時好衆望之を推挽して力ありしを想はしむべし。間、或は時代の要求に先じ或

は時代の風潮に反きたる著述の印行せらるゝ例無きに非ずと雖も、其問世の結果を討ぬれば、亦書籍對時代の關係上頗る興趣ある問題に到著し得べし。此點より觀れば、書籍の印行は書籍の著作に比して遙に多くの意味を含める事蹟なり。而して此事蹟に係る系統的の記載は實に一國人文史の一部を成すものと視るべし。

我國刻本の由來甚だ遠し。今日に遺存せるものに就きて言へば、全世界に於ける最古の印本は實に我國の製る所なり。中ごろ聖典の筆寫を以て特殊の功德とせる宗教上の信念は大に印刻事業の發伸を妨げたる痕ありと雖も、久しからずして復た回興し、今より六七百年の古、泰西に在りては未だ印刷術の萌芽だにあらざりし頃に於て、我は多數の刻本を出したり。是れ亦我の列國に對ひて誇とすべきものに非ずや。爾來印刻の技漸く進みて少くも中廢せず、遂に支那朝鮮と並びて我は東洋書籍國の名を成すに至れり。

此くの如く我國は世界の書史學上に重要なる一地位を占むるに拘らず、其一般刻本の沿革變遷を敍述せるもの未だ殆ど之有らざるは、眞に文獻界の闕典と謂ふべし。こゝに朝倉無聲君は予と同感の士なり。平生心を本邦書史の研究に委ね、今や刻本の來歷を繹ねて日本古刻書史の作あり。其書簡明を旨とし、頗る讀過に便、上下八百餘年間に於ける古印本の事蹟掌を指すよりも瞭かなり。予固より君の著意の高きを多とし、又此書の要領を得たるを欣び、其公にせらるゝに臨みて一言を贅す。

明治四十二年三月

和田萬吉

緒言

本書は予が年來攷究中なる日本書籍史の一部分にして、上は神護景雲勅版の陀羅尼より、下は慶長末年私版の角倉本に至るまで、約八百五十年間開版する所の印本、即ち世に所謂古版の由來及沿革を畧述したるものなり、

古刻書の研究及其鑑賞は古來其人に乏しからず、享保年間山井鼎初めて足利學校傳來の宋槧本、古鈔本及植字版の經書を援き、世に流布する所の五經及論語、孝經、孟子の誤謬を校讐して、七經孟子攷文を著せしより、吉田篁墩其系統を承けて專ら古書の鑑賞につとめ、留蠹書屋雜著（活版經籍考に此中の一種也）留蠹書屋儲藏志及經籍考等を著し、古刻書の傳歷を說き其趣味を鼓吹せしと雖も、丹波廉夫、多紀桂山等の之に同せしにとゞまり、未だ太だ盛なるに至らざりき、既にして、文化以後狩谷棭齋を始め市野迷庵、小嶋學古、伊澤蘭軒、近藤正齋、栗原柳庵、森立之、澁江道純等輩出し、展觀會を開きて互に鑑賞品評し、議論を上下せしのみならず、各自斯道に關する著書を公にせしを以て、其風四方に及び頗る隆盛を極めたり、就中棭齋は藏書の豐富と學識の深高とを兼ね嶄然頭角を現せり、森立之、澁江道純の共編せる經籍訪古志は多く其品評考證を集めたるものにして、正齋の右文故事と

共に久しく斯界の金科玉條として尊重せられたり、斯の如く古書鑑賞の流行は、當時の書儈をしてなほ斯道の著述あらしむるに至り、就中田口明良の典籍秦鏡、酉山堂の舊刻書目等は最も異彩を放ちたり、この盛事にやゝ晩れて淺野梅堂に漱芳閣書畫記の著あり、桉齋門下の岡本況齋に經籍考、活版攷等の著あり、其他二三流の輩に至りては枚擧に暇あらず、然れども以上列擧せし所の鑑賞家等の著書を見るに、概ね斷片的の考說にあらずんば、一方に偏倚せる記述にして、未だ曾て全時代に亘りて本邦に於ける古刻書の傳歷及沿革を叙せし者ありしを見ず、かくて世は維新となり洋學の隆盛は古書の研究を驅りて、一時殆ど廢絶の非運に陷らしめしと雖も、近時國粹保存の觀念より、將たサトー、黎庶昌、楊守敬、傅雲龍氏等諸外客の我古書に對する注意より忽ち一轉機を生じ、古書の愛玩者は日々に其數を加へ、市價は月々に騰貴せんとす、是に於て斯道に關する著書亦世に出づるに至り、就中黒川博士の日本書籍刊行考、島田翰氏の古文舊書考等は從來其例を見ざる好著なりとす、惜い哉前者は其創始期にとゞまり、後者は内容的系統を說くに詳にして其由來沿革に疎なり、されば前後百餘年を通じて古刻書に關する著述多きに拘らず、讀者をして一見よく其傳歷及沿革の大意を知らしむるものなきが故に、世の藏書家にして博多版とは如何なるものか、大内版は果して異朝にて印刷せしものなるかの疑問に對して、明確なる答を與ふるもの少なきのみならず、伏見刊行木活字版の如き古來駿河版の名稱あるを知らずして、卷尾に慈眼刊之とあるより之を慈眼版と稱し、又角倉本中卷尾に下村某の名を記せるを以て彫工と悟らず之を下村版と名づけ、其他何版何版など恣に命名して憚らず、甚しきに至りては自己所藏のものを貴くせんが爲に、牽強附會の說を唱出するものすらあるを以て、初學者往々之に瞞せられて其去就に惑ふもの少からず、かくてあらんには遠からずして古來の名稱も其傳說も世に忘却せられんも測るべからざるなり、飜て之を歐米の諸國に見るに、書史學の研究は夙く開かれ、印刷裝釘の歷史の如きに至りては、專門的のものより卑近なる著述に至るまで具備せざるはなく、何人と雖も一讀其大意に通ずる事を得るが故に、三尺の童子と雖もマインツ版の時代、カクストン版の特色を知らざるはなく、從てこれが爲に其好奇心を惹起して書籍趣味の普及となり、ひいて智識慾の增進を促し、間接に人文の發展を助長しつゝあり、豈歎羨に堪ふべけんや、今自ら揣らず此書を公にする所以のものは、其微意實に玆に存すればなり、然れども一二の臆斷を加へたる外、たゞ先哲の考說を祖述するにとゞまり、創見に乏しきは竊に慙る所なり、

本書は古刻書の歷史なるが故に一も古鈔本に及ばず、且紙數に限あるを以て裝潢印

刷器具及紙質を說くに疎なり、これ等は印刷史上最も趣味多き元和以降開版書籍の歷史と共に、他日更に日本書籍史と題し、機を得て世に問ふ所あらんとす、讀者之を諒とせられん事を、

本書各時代末に附記する所の開版書跋は、古刻書跋、書跋備考、古經題跋、古版跋語等に記載せるものを蒐集し、更に各圖書館を初め藏書家の珍藏につきて、訂正增補したるものなれども、なほ誤記脫漏多かるべし、識者の是正を俟つ、

本書挿入する所の古刻書の模刻中、正倉院聖語藏御什寬治刊成唯識論は、宮內省の聽許を得、更に東京帝國大學の許可を得て、史料編纂掛の保管にかゝる該經寫眞原版により複寫し、又伊地知本大學は西村天囚氏の珍藏を撮影せるもの、其他は帝國圖書館、早稻田大學附屬圖書館及予の所藏につきて臨寫の上鏤刻したるものなり、

本書編纂の材料に關しては和田先生の助力を受けし事少からず、又出版に關しては市島先生の厚情に負ふ所多し、茲に記して謝意を表す、

明治四十二年四月

無聲山人

日本古刻書史

目次

○奈良朝時代……一頁

○印版法の起原……一頁——支那傳來說——本朝創造說——摺衣法と陀羅尼開版以前に於ける印刷法との關係○無垢淨光經四種陀羅尼の勅版……五頁——陀羅尼開版の起因——國史及古書に見えたる陀羅尼開版始末——世界最古の現存印刷物——百萬小塔の形狀——手寫陀羅尼の形狀及紙質——摺本陀羅尼の形狀及紙質——陀羅尼摺版に關する異說——活字版說——銅版說——木版說○律三大部開版說……一二頁○當時代開版書目錄……一四頁

○插圖

○百萬小塔……一〇頁……一一頁○自心印陀羅尼……一〇頁……一一頁

○平安朝時代……一七頁

○陀羅尼に次ぐの古刻書……一七頁——傳教版——義眞點本——寬治刊成唯識論○古

書に名をとゞめて散逸せし古刻書……一八頁○支那刊本のこゝ本朝の書に見え
し始並に其渡來によりて我印刷界に與へし影響……一九頁○印刷史上に於ける
平安朝時代……一九頁○營造古刻書……二〇頁—延喜本文選—唐天祐本歸去來辭
○當時代開版書目錄……二二頁

○插圖……一八頁……一九頁

○鎌倉時代……二五頁

○佛書開版の儒書に先ちし原因……二五頁○印刷術及裝潢の進歩……二六頁○春
日版……二六頁……名稱の由來—廣義說—狹義說○現存最古の版木……二八頁○儒
書開版の濫觴……二九頁○高野版……二九頁—其特色
○儒書開版の復活……二九頁○貴族文學の衰頽に移りし一因……二九頁○當時代
開版書跋錄……三〇頁○當時代刻現存古版木目錄……五二頁

○插圖……二七頁○高野版御請來目錄(正安四年刊)……二八
頁……二九頁○高野版大日經疏(建治三年秋田城之介泰盛開版)二八頁……二九頁

○室町時代……五三頁

○戰亂の爲に開版事業の衰微せざりし理由……五四頁○五山版……五四頁—名稱
の由來○臨川寺版……五五頁—名
刻……五六頁○武人開版の隆盛……
—名稱の由來—足利學校開版說—足利所傳の活字と慶長木活字と—駿開版說
○正平本論語……五八頁—梓者道祐傳—正平本論語の種類並に其刊行年代の前
後—正平本論語の版木—正平本論語の臨寫本支那に流傳せし異聞○支那彫版
工の來朝並に當時開版事業の困難……六五頁○博多版(一に堺版)……六五頁—寬永
年間翻刻活字版—梓者俞良甫傳—好古日錄の訛傳—博多開版說—現存博多版
は悉く嵯峨に於ける開版書—博多版に就ての臆說—博多と堺と—俞良甫の功
蹟○五山開版の衰微と共に泉州堺薩州鹿兒島及防州山口に於ける私版の勃興
……七〇頁○阿佐井野家の開版……七一頁—本朝醫書開版の濫觴—南宗寺本論語
○薩摩版……七三頁—本朝朱子新注開版の濫觴—伊地知本大學—伊地知重貞と
僧桂庵と○大內版(一に山口本)……七五頁—明朝印刷說—駁印刷說—補遺○當時
代開版書跋錄……八一頁○五山版書目錄……一〇八頁

○五山版夢中問答……五四頁……五五頁○臨川寺版蒲室集(延文四年刊)……五四頁……五五頁○師直版首楞嚴義疏注經(暦應二年刊)……五六頁……五七頁○正平本論語(正平十九年刊)……六〇頁……六一頁○博多版韓文……六六頁……六七頁○俞貳甫自記柳文跋文……六六頁○南宗寺本論語(天文二年刊)……七二頁……七三頁○伊地知本大學(延德四年刊)……七四頁……七五頁○大內版三韻一覽(天文八年刊)……七六頁……七七頁

○桃山及江戸時代……一一七頁

○征韓役と印版界の新事業……一一七頁○本朝活字版の濫觴に就ての異說……一一八頁○支那活字版の創造及其沿革……一二四頁○朝鮮活字版の沿革……一二七頁○朝鮮より活刷法の傳來及其年代……一三〇頁○本朝活字版の濫觴……一三〇頁——古文孝經○後陽成帝の勅版……一三二頁○後水尾帝の勅版……一三四頁○勅版銅活字……一三五頁○駿河版(一に駿府本)……一三六頁——伏見開版の木活字版——圓光寺活字——開版監督者閑室和尙傳——駿河木活字版と僧慈眼と——駿府開版の銅活字版——大藏一覽開版始末——羣書治要開版始末——羣書治要開版の部數——南葵文庫現存の銅活字○開版事業の勃興並に慶長私版の先駈をなせし二書……一六六頁——南庵版蒙求——易林本節用集○節用集開版の沿革……一六七頁——易林と朝山意林庵素心と——饅頭屋本節用集——饅頭屋の家系○直江本(一に會津本)……一七二頁——本朝銅活字版の濫觴○要法寺版……一七四頁○角倉本(一に嵯峨本又光悅本)……一七五頁——角倉素庵傳——角倉開版書目——角倉本と下村時房と——角倉本の版下——本朝書籍中册子に日本畫挿入の濫觴並に平假名を用ひし和文書籍開版の權輿○本邦繪畫印行の沿革……一七九頁○和文書籍開版の沿革……一八〇頁○和文書籍開版の隆盛と共に活字版の衰微……一八一頁○當時代開版書跋錄……一八二頁

○挿圖

○勅版勸學文(慶長二年刊)……一三二頁……一三三頁○駿河(木活字)版七書(慶長十一年刊)……一四〇頁……一四一頁○駿河(銅活字)版羣書治要(元和二年刊)……一四〇頁……一四一頁○伏見開版所用の木活字……一三八頁○駿府開版所用の銅活字……一六四頁……一六五頁○甫庵版補注蒙求(文祿五年刊)……一六六頁……一六七頁○饅頭屋本節用集……一七〇頁……一七一頁○角倉本伊勢物語(慶長十一年刊)……一七八頁……一七九頁

日本古刻書史

朝倉龜三著

○奈良朝時代

印版法の起原
支那傳來說

○印版法の起原―支那傳來說―本朝創造說―摺衣法と陀羅尼開版以前に於ける印刷法との關係○無垢淨光經四種陀羅尼の勅版―陀羅尼開版の起因―國史及古書に見えたる陀羅尼開版始末―世界最古の現存印刷物―百万小塔の形狀―手寫陀羅尼の形狀及紙質―摺本陀羅尼―銅版說―木版說○律三大部開版說○當時代開版書目錄

古來印版の法、支那より傳來せしといひ、或は我國の創造にかゝるといひ、諸說紛々として未だ定說あらず、今其要を擧ぐれば、支那傳來說は明、陸深の『河汾燕閒錄』に

隋文帝開皇十三年十二月八日、勅廢像遺經悉令雕撰、此印書之始又在

本朝創造說

馮瀛王先矣

とあるを援き、隋朝既に印行の擧あり當時我國の文物皆範を支那に採らざるはなかりし時代なれば、來朝或は入隋せし僧侶使臣等によりて傳來せしものなる事必せりとし、或は近時『顏氏家訓』に

江南書本、穴皆誤作穴

とある書本を以て、槀本に對して稱するの語なりとし、北齊既に雕版の證ありとせり、創造說は之を駁して

雕版のこと隋書諸雜史に載せず、たゞ隋、翻經學士費長房の『歷代三寶紀』に

開皇十三年十二月八日、隋皇帝佛弟子姓名敬白、(中略)屬周代亂常、侮蔑聖跡、塔寺毀廢、經像淪亡、無隔華夷、掃地悉盡、使愚者無以導悟迷、智者無以尋靈聖、弟子往籍三寶因緣、今膺千年昌運、作民父母、思極黎元、重顯尊容、再崇神化、頹基毀跡、更事莊嚴、廢像遺經、悉令雕撰

とあり、これ陸深說の基とせる所なるべし、然れども悉令雕撰の句は、果して印書の起原として見るを得べきか、陸深は雕撰の雕を遺經の印行と解

結論

摺衣法と陀羅尼開版以前に於ける印刷法との關係

せしが如しと雖も、これ恐らくは本文の意を誤解せるに座す、何となれば雕は廢像に、撰は遺經にかゝり、雕廢像撰遺經の意なる事明かにして、既に清人も『書隱叢說』に之を駁して、雕者屬像撰者乃經也、非雕刻之始也、といへるをや、若夫『顏氏家訓』の江南書本云々に至りては、書本必ずしも槀本に對して稱するの語なりと限定すべからずとせり、

之を要するに支那に於ては我寶龜以前、雕版のこと書に見えざるのみならず、唐朝時代の刊本すら現存せざるに反し、我國にては古書に明記せるが上に、其實物たる陀羅尼の摺本亦今に傳來せり、されば印版の起原我に在りとするも、何の不可かこれあらんやといふに歸す、思ふに奈良朝時代や、支那文明の輸入時代にして、極力彼が文物を摸倣せざるはなかりし時に當りて、ひとり印刷術のみ、彼に明記なきの故を以て、我創造に歸するは、妥當の見なりと云ふべからずと雖も、亦思ふに我國天平以前、既に摺衣の事あり、『本朝書籍刊行考』黒川眞頼述に、摺衣法と陀羅尼開版以前に於ける木版印刷法との關係を叙して

『日本國現報善惡靈異記』中卷に大伴赤麿者武藏國多磨郡大領也以天

平勝寶元年己丑冬十二月十九日死以二年庚寅夏五月七日生黑斑犢一
自負碑文矣探之斑文謂赤麿者擅於己所造寺而隨恣心借用寺物未報
納之死亡焉爲償此物故受牛身者也於玆諸眷屬及同僚發懺悔心而慄
無極謂作罪可恐豈應無報矣此事可報季葉楷模故以同年六月一日傳
于諸人矣冀無慙愧者覽乎斯錄改心行善寧飢苦所迫飲銅湯而不食寺
物云々ト文ニ楷模（靈異記に二字合して加多岐と註せり）トアルハ其ノ事ヲ文ニ作リテ印
行シ衆庶ニ視スヲ云フナリ——又是ヨリ先華彩ヲ絹布ニ摺寫セシコ
トアリ『續日本紀』天平十五年正月壬子ノ條ニ五位已上賜摺衣トア
ルナド即是ナリ——而シテ木版ニ華文ヲ彫刻シテ絹布ニ印スル所謂
摺衣ノ製ノ如キニ至テハ其方法ハ文字ヲ上木スルト甚異ナラズ——
楷模ハ『新撰字鏡』木部ニ模莫好反法也摹字規也形也掩取象也加太支
也ト見エタリ——模ノ字ニ加太支ト施シタルハ文字及華文ヲ彫ルニ
ハ必ズ木ヲ用ヰタレバナリ——『銙鈔』下卷ニ縫越之摺樣（形木文小草梅柳水蕨雉蝶小鳥等也）續飯（ソクヒ）ヲ裏布テ形木（華文を彫刻せる板木なり）ノ上ヲ叩テ布ノ面ヲ上ニテ押付テ覆物テ踏之木ニテ以墨硯ヲ摺ル樣ニ摺ル也朽墨吉ト見エタルヲ

無垢淨光經四種陀羅尼の勅版

陀羅尼開版の起因

モ合考スベシ又源順ノ『和名類聚抄』縫裁具ニ模唐韻云模（莫胡反俗語加太岐）法也
形也ト見エタリ按ズルニ當時ハ紙上ニ文字ヲ印スルヨリモ絹布ニ
華彩ヲ印スルコトノ多カリケレバ模ヲ裁縫ノ部ニ収メラレタルニ
ゾアラン（文中——は中畧の記號）

と、模の文字を以て華彩を摺寫する木版と、文字を印刷する木版とに幷用せしのみならず、其法亦相類するより攷ふれば、我國印版の法、或は摺衣の法より一轉せしものとも稱する事を得べきなり、

我國印版のこと書に見えし始は、前記の天平勝寶二年刊『大伴赤麿犯罪懺悔文』なりと雖も、夙く逸して傳はらず、而して天平寶字八年に至り、惠美押勝の亂平ぐや、孝謙天皇弘願を發し、勅して一百万基の小木塔を作らしめ、其中に籠むべき四種の陀羅尼を印刷せしめ給ひしが、神護景雲四年功畢りて、是を十大寺に分置せしめ給ふ、これ『無垢淨光大陀羅尼經』に

一時佛在迦毗羅城大精舍中、——無量大衆恭敬圍遶而爲說法、時彼城中有大波羅門名劫比羅戰荼、歸依外道不信佛法、有善相師而告之言、大波羅門汝却後七日必當命終、時婆羅門聞是語已、心懷愁惱驚懼怖畏、——疾

至佛所頂禮雙足、而白佛言、如來是救濟一切諸衆生者、我今悔過歸命世尊、唯願救我大地獄苦、佛言大波羅門、此迦毗羅城三岐道處有古佛塔、於中現有如來舍利、其塔崩壞、汝應往彼重更修理、及造相輪樘寫陀羅尼以置其中、興大供養、依法七遍念誦神呪、令汝命根還復增長、久後壽終生極樂界、——時衆會中除蓋障菩薩、從坐而起合掌白佛言、世尊何者是彼陀羅尼法、而能生長福德善根、——佛即說呪曰（呪略）此是根本陀羅尼呪、若欲作此法者、書寫此呪滿七十七本、當持呪本置於塔中、供養此塔、或作小泥塔滿足七十七、各以一本置於塔中、而興供養、如法作已、命欲盡者而更延壽、一切宿障諸惡趣業悉皆滅盡、——善男子今爲汝說相輪樘中陀羅尼法、即說呪曰（呪略）善男子應當如法、書寫此呪九十九本、於相輪樘四周安置、又寫此呪及功能法、於樘中心密覆安處、如是作已、則爲建立九万九千相輪樘已、——今爲汝說修造佛塔陀羅尼法、即說呪曰（呪略）若有比丘比丘尼優婆塞優婆夷、若自造塔若教人造、若修故塔若作小塔、或以泥作或用甎石應先呪滿一千八徧然後造作、其塔分量或如爪甲、或長一肘乃至由旬、以其呪力及至心故、於泥等塔中出妙香氣、——自作教人皆得成就廣大善根福德之

聚、命若短促便得延壽、——爾時除蓋障菩薩白佛言、世尊此大陀羅尼壇場法印甚難值遇、世尊說此一切衆生妙法庫藏鎭閻浮提、令諸衆生種大善根、施其壽命消滅煩惱、我今亦當爲令衆生種善根故、供養一切諸如來故、今於佛前說自心印陀羅尼法、即說呪曰（呪略）世尊此陀羅尼是九十九億諸佛所說、若有至心暫念誦者、一切罪業悉皆消滅、若有依法書寫此呪滿九十九本、置塔中或塔四周、有人禮拜及以讚歎或以香華塗香燈燭供養此塔、彼善男女於現生中、滅一切罪除一切障滿一切願、——時釋迦牟尼佛讚除蓋障言、善哉善哉善男子、汝能如是隨順如來所演呪法而助宣說、時執金剛大夜叉主白佛言、世尊此大呪王陀羅尼法、同如來藏亦如佛塔、世尊以此勝法鎭閻浮提、令一切衆生皆得解脫、能於後時作大佛事、佛言執金剛主、此大呪法若在世時同如來在、以其能作佛所作事、少有所作成大福聚、況多功用所護善根、假使百千億那由他恒河沙諸佛說不能盡、佛眼所見不可爲喩、不可量不可說、執金剛主言、以何因緣少用功力成大福聚、佛言諦聽當爲汝說、若比丘比丘尼優婆塞優婆夷、欲得大功德聚當依前法書寫此四大陀羅尼法之王各九十九本、——以陀羅尼呪置相輪樘中及

國史及古書に見えたる陀羅尼開版始末

世界最古の現存印刷物

塔四周、以二呪王法一置二塔内一、想二十方佛一至心誦二念此陀羅尼一、即説レ呪曰（呪略）應レ燒香相續誦二此陀羅尼呪二十八徧一、即時八大菩薩等、各以二自手一共持二彼塔及相輪塔一、亦有二九十九億百千那由他恒河沙諸佛一、皆至二此處一加二持彼塔一、安二佛舍利一由二加持故一、令レ塔猶如二大摩尼寶一、是人由レ此則爲レ已造二九十九億百千那由他大寶塔一、由レ之當レ得二廣大善根一、壽命延長、身淨無垢一、——若復有レ人欲レ得二滿足六波羅密者一、——寫二前四種陀羅尼呪各九十九本一、手作小塔一滿二九十九一、於二此塔中一各置二一本一、其相輪呪還置二小塔相輪標中一、行二列壇上一、以二諸香華一供養、旋遶七徧、誦二此陀羅尼一曰（呪略）若依二此法一而受持者、六波羅密皆成滿、——時諸大衆聞二佛説一已歡喜奉行（文中——は中略の記號）

とある古印度の遺法に基き給ひしものなり」（『續日本紀』に、

神護景雲四年四月戊午、初天皇、八年亂平、乃發二弘願一、令レ造二三重小塔一百万基、高各四寸五分、基徑三寸五分、露盤之下、各置二根本、慈心、相輪、六度等陀羅尼一、至是功畢、分二置諸寺一」

と、今大和國法隆寺に傳來せるもの即ちこれなり、實に我國現存古刻書中最古のものなるのみならず、刊行年代の確實なる古印刷物として世界に

百万小塔の形狀

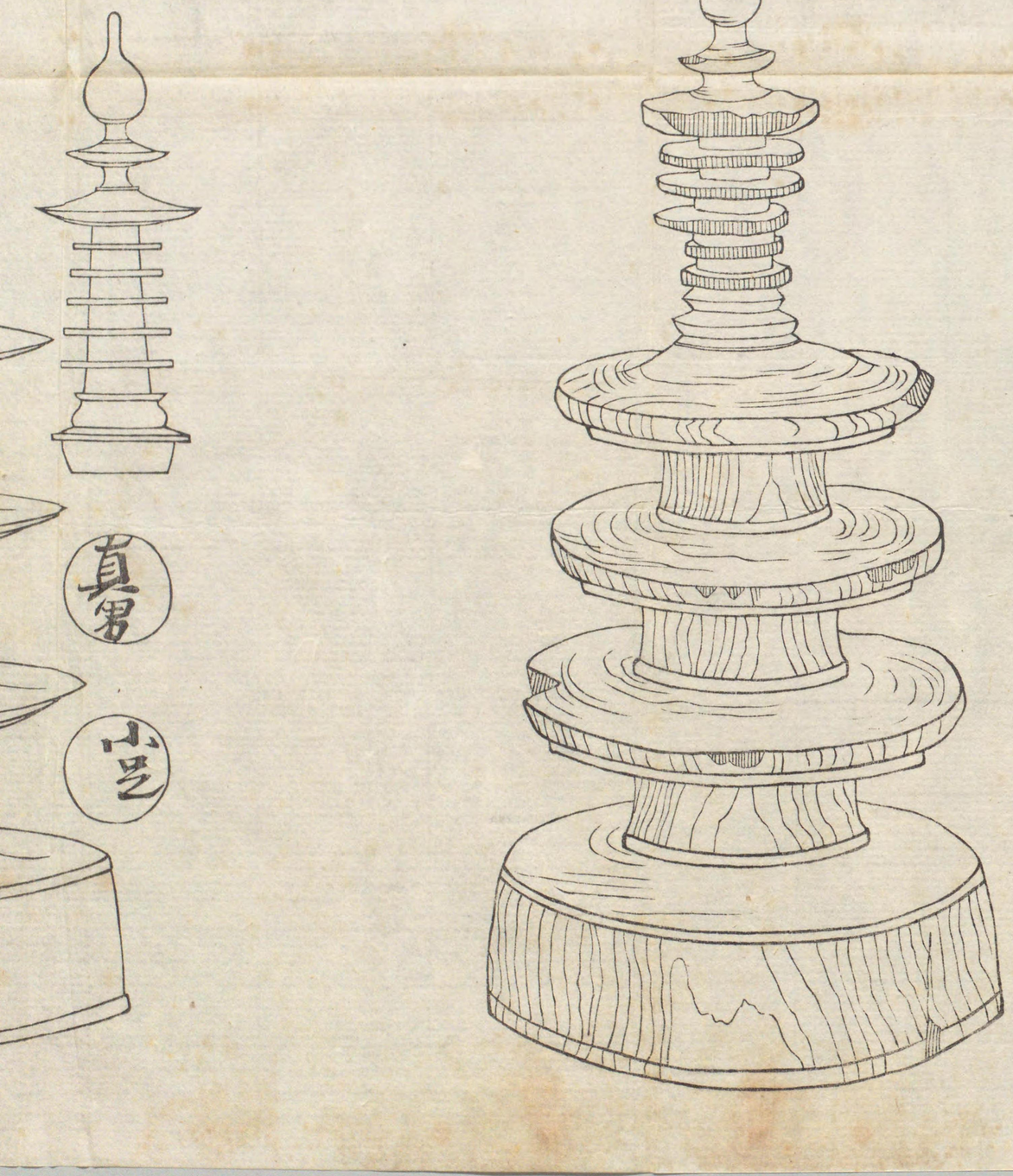
冠絕せりといふべし、『續紀』には唯四種の陀羅尼を置くとのみにて、印刷の事を記さずと雖も、『東大寺要錄』には摺本一即ち印本一と明記せるのみならず、分置の寺數をも記せり

神護景雲元年丁未、造二東西小塔一、寶忠和尚所レ建也、天平寶字八年甲辰秋九月十一日、孝謙天皇造二一百萬小塔一、分二配十大寺一、各籠二無垢淨光陀羅尼摺本一

と、十大寺は即ち大安寺、元興寺、興福寺、藥師寺、東大寺、西大寺、法隆寺（以上大和）四天王寺（攝津）崇福寺（近江）弘福寺（和大）（七大寺）も、法隆寺を除くの外往事悉く變災に遭遇し、今其隻影だも止めざるは惜むべし

百万小塔の形狀は挿圖の如く、もと全部に胡粉の彩色を施せしものなれども、今剝落して僅に其痕跡をとゞむるに過ぎず、其材上部の九輪は櫻（或曰桂）を用ひ、塔身の露盤は檜を用ふ、露盤の中心に空虚あり、陀羅尼一卷其中に納められ、九輪之が覆をなせり、而して塔中稀に圖に示すが如く、九輪の底面には小足、眞男の文字、又露盤の底面には右調益人、云二六廿八或は

百萬小塔



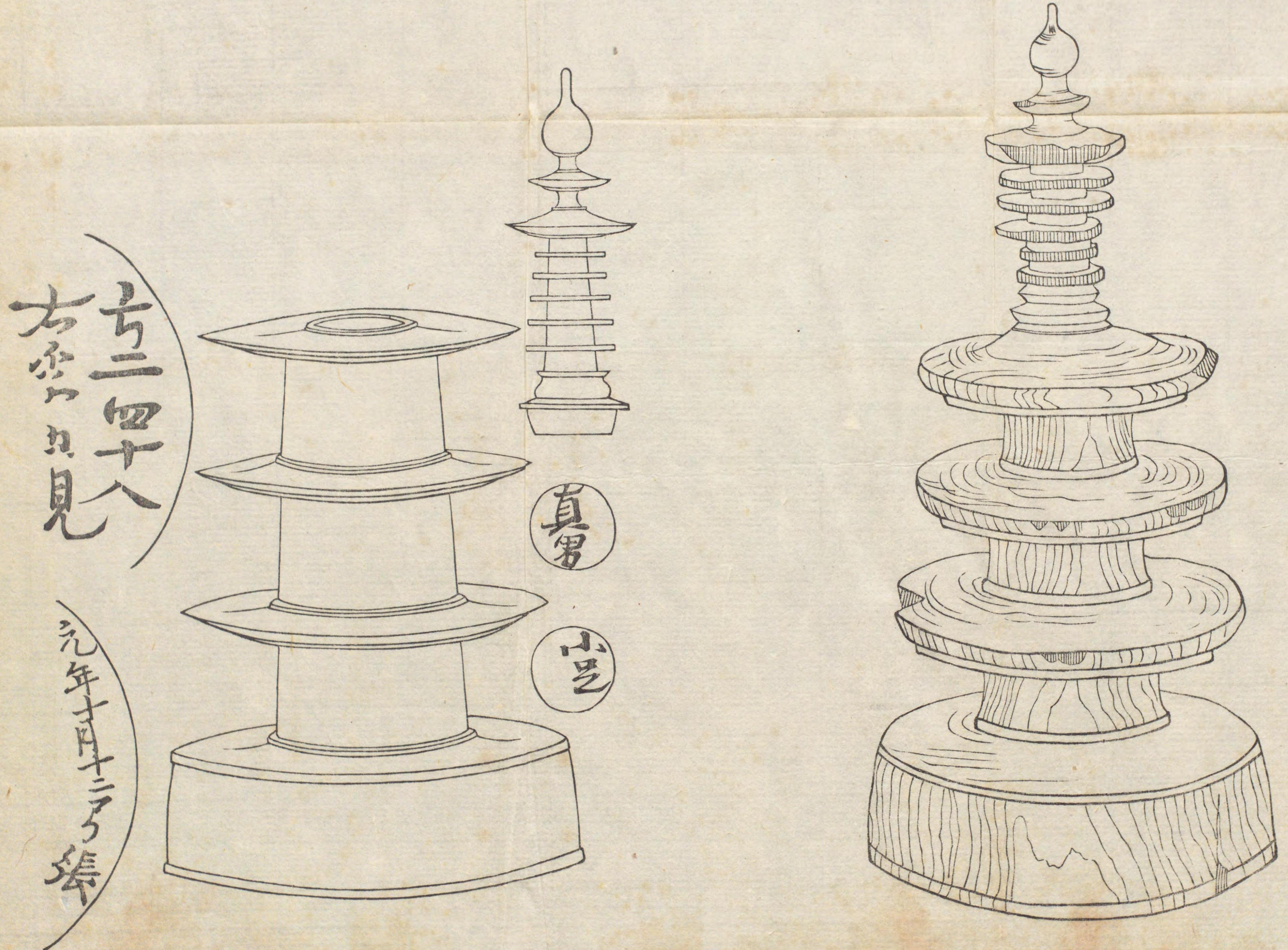
手寫陀羅尼の形狀

摺本陀羅尼の形狀及紙質

元年十月十二弓張等の文字を墨書せり、蓋し云は雲の略字にして、神護景雲二年六月廿八日を指し、元年は天平神護か神護景雲の元年にして、小足、眞男、調益人、弓張等は、各自の製作品に其名を自署せるものなるべし、

百万塔中籠むる所の根本、相輪、自心印、六度等の陀羅尼は、古來悉く摺本なりと思惟せられしが、近時法隆寺に於て、所傳の陀羅尼一万有餘を撿せしに、其中手寫せるもの三卷を發見せり、其體裁、紙質一に摺本と異ならず と雖も、紙面に細罫線あり、其文字は奈良朝文章生の筆になりしとおぼしく、天平寫經の筆蹟に酷似せり、而して其裏面には大湯座千國、八月卅日、足、或は七月廿五日吉乃（塵の略字）等の記あり、蓋し無垢淨光大陀羅尼經に手寫の呪とあれば、法の如く其一部分を手寫せしめ給ひしものと見るべし、

陀羅尼の紙質は、寺傳に黃紙、黃麻紙、穀紙の三種ありといへど、今黃麻紙の外見る所なし、而して其形狀は挿圖の如く、竪約一寸八分、横は陀羅尼の種類により其長短一定せず、卷子本の形なれども、軸を施さずして一二三四の數字を記せる小紙片を以て標となせり、是等摺本陀羅尼中、稀には其裏面に正生字、有万呂等の文字を墨書せるもの、或は其卷尾に甲字を墨書



百萬小塔

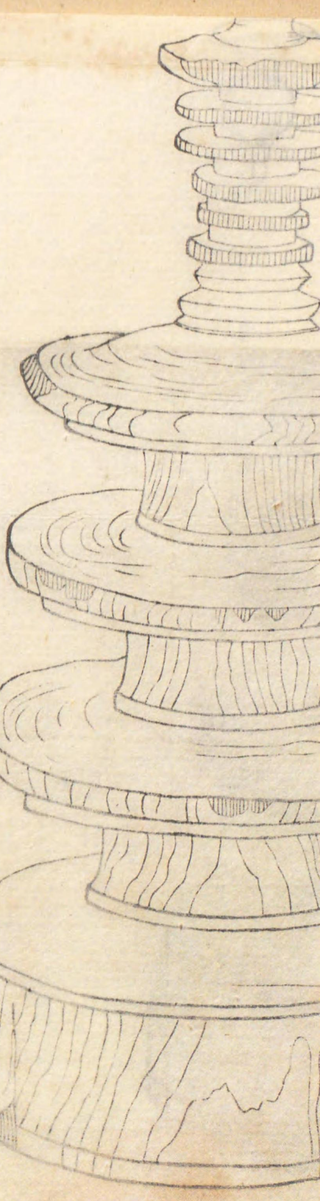
の外見る所なし而して其形狀は挿圖の如く竪約一寸乃至横は陀羅尼の
種類により其長短一定せず巻子本の形なれども軸を施さずして一二三
四の數字を記せる小紙片を以て標となせり是等摺本陀羅尼中稀には其
裏面に正生字有万呂等の文字を墨書せるもの或は其巻尾に甲字を墨書

無垢淨光經
自心印陀羅尼

南謨薄伽伐
帝納婆納伐
底喃一三藐
三佛陀俱胝
那庾多設多
索訶薩囉引

喃二 南謨薩
婆係伐囉拏
上毗 瑟劒鼻
泥引 菩提薩
埵也 三唵四引
覩魯覩魯五
薩婆阿伐囉
拏毗 戍達尼
大薩婆恒他
揭多摩庾播
刺尼七毗 布
麗毘士麗八
薩婆悉陀南

摩塞訖栗帝
九跋囉跋囉
十 薩婆薩埵
婆盧羯尼十一
吽引薩婆尼
伐囉拏上聲毗
瑟劒毗泥二十
薩婆播波毗
焰達尼誐引
詞



陀羅尼摺版に關する異說

活字版說

銅版說

木版說

せるものあり、

古來陀羅尼の摺本を以て、木版に印せるものなるべしといひ、或は銅版を使用せしものといひ、甚しきは活字版なるべしと稱するものあり、活字版說は摺本の文字、時に傾斜せるものあるを以て其證となせど、これ奇を弄ぶの說にして採るに足らず、凡活字は同一模型になるを以て、文中同一の文字は其字形齊しからざるべからず、然るに陀羅尼數本をとりて之を檢するに同一文字なるに拘らず、其文字に大小の差あるのみならず、其字畫字體亦全く相異るを見ても、其說の非なるを證すべし、而して銅版說に至りては、幼稚なる活字版說に比して、やゝ聞くに足るものあり、曰く、陀羅尼の摺本百萬の多數なるに、殆ど字形の漫滅を見る事なきは、木版の如き柔軟なる物體に刻せるにあらざるの證とすべく、當時銅印の鑄られしもの多きより察すれば、陀羅尼印版の意匠、恐らくは銅印押捺より創れるものといふべしと、然れどもよく陀羅尼の實物を視、併せて當時の事情を考察すれば、未だ此說に贊すること能はざるのみならず、之を木版なりとするの妥當なるに左袒せざるを得ず、蓋し陀羅尼摺寫の擧に先つ事十四年、

天平勝寶二年に於て『犯罪懺悔文』印行の際模を用ひたり、模は即ち今いふ所の木版にして、當時かく世に行はれだるを以て、陀羅尼開版の際亦此法により印行せしめし事明かなり、是を銅印押捺より創れりとなすが如きは、陀羅尼開版以前既に木版の世に行はれしを知らざるよりの臆說なりといふべし、且銅版說は陀羅尼の數多きに拘らず、其字形殆と漫滅せしものなきを以て、唯一の證となせど、多數の摺本につきて之を檢するに、同一種の陀羅尼にして、工手の如何により、其版式に巧拙あるのみならず、其文字に大小の別あり、其書風に雅俗の差あり、加之其字體字畫に少異あるものありて、慥に別版と斷すべきもの其數少からず、されば其文字の漫滅を見ざるは、金屬版を使用せしが爲にあらずして、版木の數多き結果に外ならざるなり、之を要するに陀羅尼の摺本は、摺衣法より一轉せしものと想像せらるゝ『犯罪懺悔文』の木版法に倣ひ印行せしものにして、其證亦顯然、之を木版なりと斷言するに、毫も憚る所あらざるなり、

世或は『三國傳記』に

鑒眞旨タリト云ヘドモ律ノ三大部ヲバ手自ラ印板ヲ開キ給ヘリ

とあるを以て、陀羅尼以前既に大部の開版ありとなす者あり、然れども其說の疑はしき事は、『文敎溫故』（山崎美成著　文政十一年刊）に

按ずるに鑒眞東征傳曰天平勝寶六年甲午正月十三日丁未副使從四位上大伴宿禰胡麻呂奏大和尙到筑志太宰府二月一日到難波とあり招提寺の造立は寶字三年八月にあり、遷化は寶字七年五月六日なりこれによるときは寶字以往はやく大部の書をも印板せし如くなりといへども東征傳を始め扶桑畧記元亨釋書等鑒眞の傳記に三大部の印版を開きし事見えざれば頗る疑ふべし、蓋し後人の謬傳ならんといへるにて知るべし、

○當時代開版書目錄

大伴赤麿犯罪懺悔文

天平勝寶二年武藏國に於て刊行

無垢淨光經　根本陀羅尼　一卷　神護景雲四年刊　四十行々五字

南謨颯哆颯怛底顚以反下同弊吡也反辱聲一三藐三佛陀俱胝喃奴暗反下同二鉢喇戍輸聿反下同陀摩捺娑三薄去聲引質多鉢喇底瑟恥哆喃四南謨薄伽跋底阿彌多喻殺寫怛他揭怛寫五唵引聲六怛他揭多戍第七阿喻吡輸達儞八僧歐訶葛反囉僧歐羅九薩婆怛他揭多吡喇耶跋麗娜十鉢喇底僧歐囉阿喻一十薩囉薩囉二十薩婆怛他揭多三昧儉三十菩提菩提四十勃地亭也同反下吡勃地十五菩馱也菩馱也六十薩婆播波引阿伐喇聲上吡戍第十七吡揭多末羅珮儉

十八蘇勃馱勃第十九虎嚕虎嚕莎引訶聲引

無垢淨光經　相輪陀羅尼　一卷　神護景雲四年刊　二十四行々五字

唵引一薩婆怛他揭多吡補羅曳移熱反下同瑟揥竹凡反下同二末尼羯諾迦擧佉反曷喇折哆上三吡菩瑟哆曳瑟揥四杜嚕杜嚕五三曼哆吡嚕吉帝六薩囉薩囉播跛尾輸達尼七菩達尼三菩達尼八鉢囉上伐囉上曳瑟揥伐囉九末尼朕誓十鶻嚕止嚕上末羅吡戍第十一叱引莎引訶二十

無垢淨光經　自心印陀羅尼　一卷　神護景雲四年刊　三十一行々五字

南謨薄伽伐帝納婆納伐底唵一三藐三佛陀俱胝那庾多設多索訶薩囉引唵二南謨薩婆儞伐囉擎上聲吡瑟劒鼻泥引菩提薩埵也三唵引四覩嚕覩嚕五薩婆阿伐囉擎吡戍達尼六薩婆怛他揭多摩庾播剌尼七吡布

麗呢末麗八薩婆悉陁南摩塞訖粟帝九跋囉跋囉十薩婆薩埵婆盧羯尼一十叱引薩婆尼伐囉擎上聲吡瑟劒吡泥二十薩婆播波吡燒達尼莎引訶引

無垢淨光經　六度陀羅尼　一卷　神護景雲四年刊　十五行々五字

南謨納婆納伐底唵怛他揭多一涼伽捺地婆盧迦二俱胝那庾多設多索訶薩囉唵三唵引四普怖哩五折里尼折哩六慕上哩忽哩七社邏跋上哩莎引訶

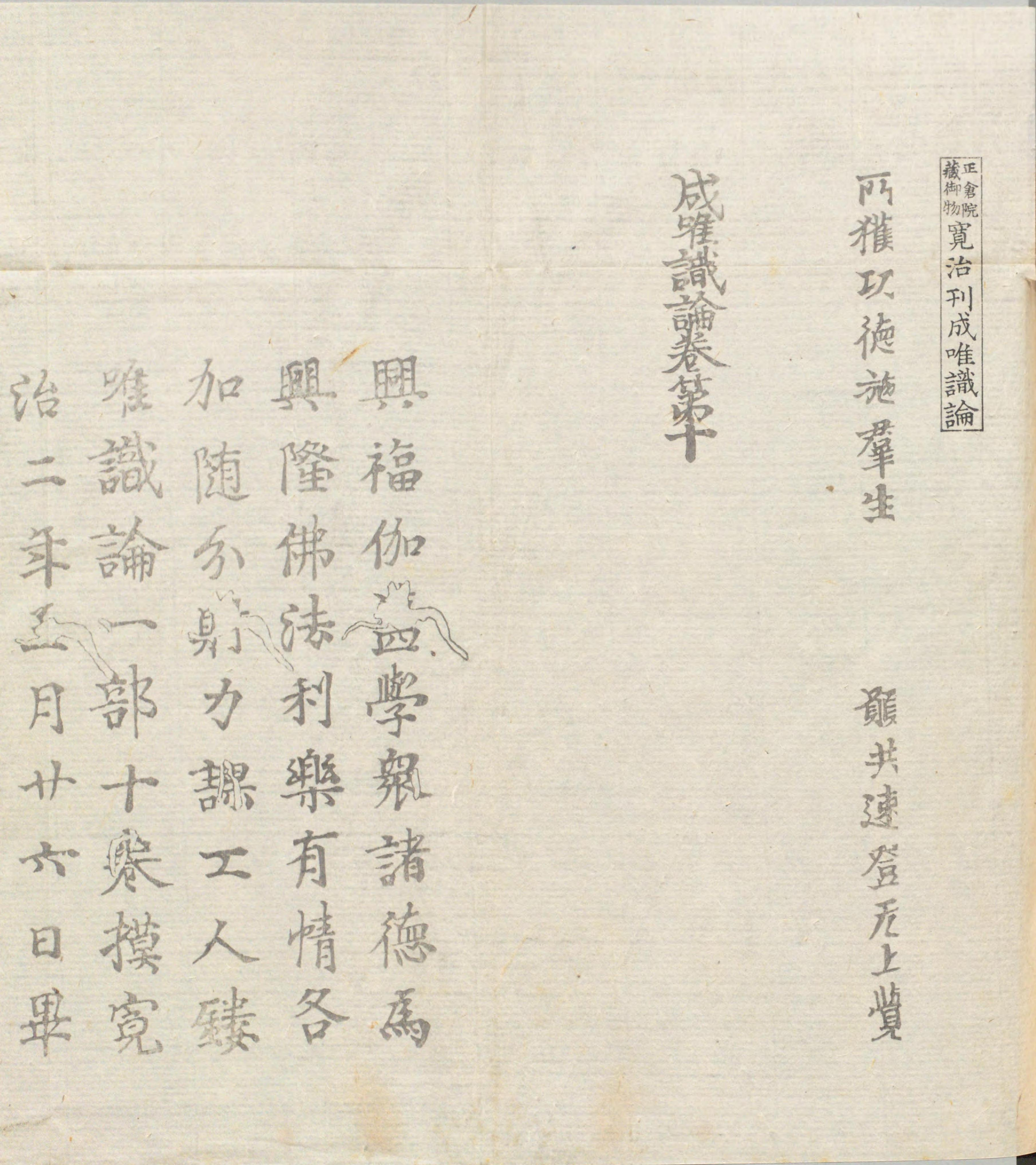
○平安朝時代

○陀羅尼に次ぐの古刻書——傳教版——義眞點本——寬治版
成唯識論○古書に名をとゞめて散逸せし古刻書○支那
刊本の事本朝の書に見えし始並に其渡來によりて我印
刷界に與へし影響○印刷史上に於ける平安朝時代○贋
造古刻書——延喜本文選——天祐本歸去來辭○當時代開版
書目錄

○陀羅尼に次ぐの古刻書

○傳敎版

昔者現存古刻書中、神護景雲勅願の陀羅尼に次ぐものを、建久九年刊行の曆なりとし、或は土御門帝御宇の印本『選擇集』なりとす、交通不便にして、しかも捜索に困難なる德川時代に在りては、又已を得ざる所なりと雖も、近時古刻書の研究日に盛にして、調査の方法亦緻密を極め、昔時の古刻書通等が夢想だもせざりし、珍籍奇書の發見せられし事少からず、就中予が見聞せし範圍に於て、最古刻書と稱すべきは、延曆寺藏『法華經』及故靑木氏藏『仁王經』にして、是に次ぐものを禪林寺藏『成唯識論』及『大智度論』とす、前二者は世に傳敎版と稱せられ、其版下は傳敎大師（弘仁十三年六月四日寂）の筆なりといふ、果して然るや否やを知らずと雖も、『仁王經』の如きは其序跋



義眞點本

寛治版成唯識論

古書に名をとゞめて散逸せし古刻書

唐人の連署にして、理源大師（延喜九年七月十六日寂）之を書せしといふ共に古色蒼然として、其時代を距る事遠からざるものなる事は、先輩既に論定せり、後者は世に義眞點本と稱せらる、蓋し義眞（天長十年七月四日寂）其經に點を加へしを以て此稱あり『古經題跋』鵜飼徹定編東山禪林寺藏の條に

唯識論全部　　大論全部

共叡山古板也、世謂之義眞點、蓋刻本之最古者也

とあるもの即ちこれなり、共に刊行の年代明かならずと雖も、陀羅尼の開版を距る事遠からざるものなり、其他承暦四年の識語ある『法華經』あり、是亦開版の年代詳ならずと雖も、識語年代以前の刻にかゝる、亦古刻書中錚々たるものなり、右列擧せしもの多く殘缺、零卷の現存せるに過ぎず、是等に比して其年代やゝ晩れたれども、完全無缺にして開版年月の確實なるものは、寛治二年刊『成唯識論』十卷を推さゞるべからず、此經もと東大寺尊勝院の所藏なりしが現今御物となれり、

以上叙せし所のもの、悉く現存の刻本なりと雖も、此以外古書に散見するにとゞまり、今傳來せざるもの亦少からず、『走湯山緣起』に永觀二年摺

正倉院藏御物 寛治刊成唯識論

所獲功徳施羣生

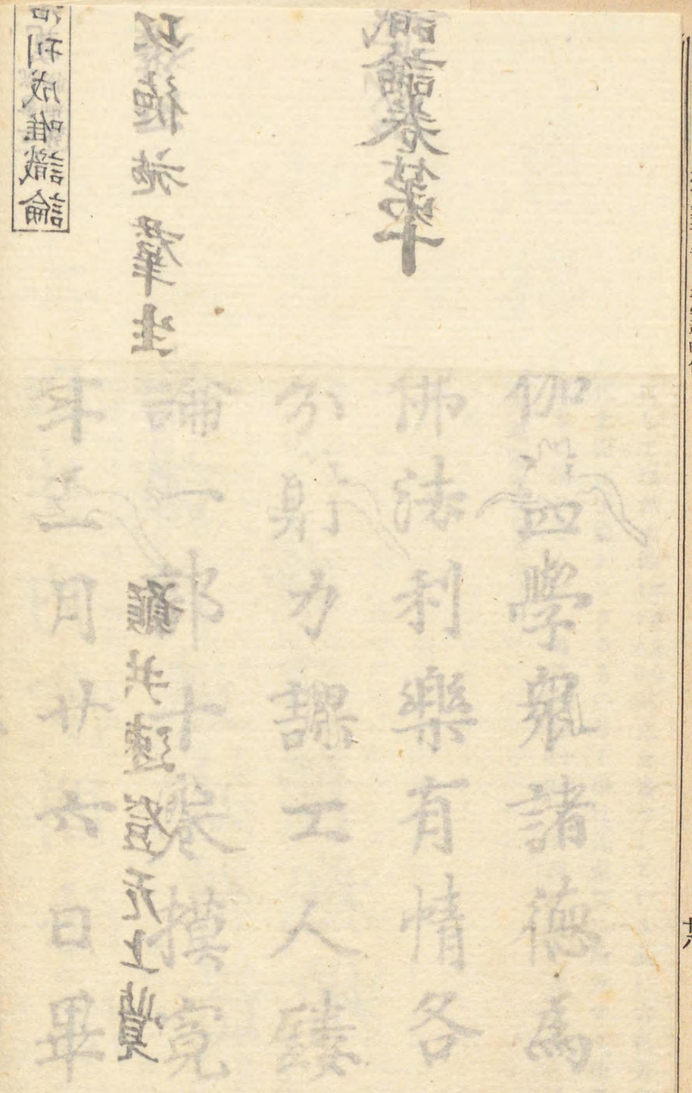
成唯識論巻第十

龍共遠登元上覽

興福伽藍四學衆諸徳爲
興隆佛法利樂有情各
加隨分勵力課工人鏤
唯識論一部十巻摸寛
治二年三月廿六日畢
切願以此功徳廻向諸
群類生生内院聞法信
解證唯識性速成佛道

摸工僧觀增

寛治版成唯識論
古書に名をとゞめて散逸せし古刻書
るものは、寛治二年刊『成唯識論』十巻を推さざるべからず、此經もと東大寺尊勝院の所藏なりしが現今御物となれり、
以上叙せし所のもの、悉く現存の刻本なりと雖も、此以外古書に散見するにとゞまり、今傳來せざるもの亦少からず、『走湯山緣起』に永觀二年摺



本の事見え、『本朝續文粹』に長久四年及應德二年に『妙法蓮華經』『無量義經』『觀普賢經』等開版の願文を記載せるが如きこれなり、就中『走湯山緣起』には支那刊本の事を記せり

支那刊本のこと本邦の書に見えし始並に其渡來により我印刷界に與へし影響

永觀元年癸未、唐國本朝乃摺本寫本經論、人師述作、合『東八千餘帙』納之と、永觀元年は即ち支那宋朝太平興國八年に當れり、されば茲に唐國の摺本といへるは、北宋槧本の事なるべし、これ支那刊本のこと、我國の書に見えし始なり、當時北宋槧本の渡來によりて、我印刷界に如何なる影響を與へしか、當時の刊本傳はるもの稀なるを以て、推定するに由なしと雖も、當代末期に至り開版やゝ盛なるに至りしは、其刺激を受けしものともいふべし、

印刷史上に於ける平安朝時代

之を要するに印刷史上に於ける平安朝時代は、文學史上に於て隆盛を極めしに反し徒々として振はず、悠々たる太平四百有餘年間に於ける開版書目の今分明なるもの僅に廿餘種に過ぎず、これ固より印刷術の發生期に屬したると、其時代遠くして散逸せしもの多きとによるべしと雖も、亦當時文學は貴族に獨占せられて、宮廷以外に流布するに至らず、されば

之を學習せんとするものも、亦僅少なる貴族の子弟なるを以て、寫本にての如何にあらずして、當時佛教世に行はれたれども、之を信ぜしは來世の事足り開版の要なきと、變生男子或は呪咀の加持祈禱にして、僧侶亦墮落し て俗と異ならず、されば世は皆太平を謳歌し、花月に吟じ戀愛を以て唯一の理想となせしかば當時困難なる開版事業に着手するもの極めて稀なりしを以てなり、

現存古刻書中、支那にては李鶚本『爾雅』を最とし、我國にては刊行年代の確實なる點に於て、陀羅尼に次ぐものを寛治二年開版の『成唯識論』とす、然るに近時唐槧本現存説を唱ふるものあるのみならず、陀羅尼に次ぐの古刻書を天安二年十一月八日と奥書ある『成唯識論』となすものあり、これ往年西村兼文の贋造せしものを眞本と誤りしに起因せるものなり、兼文は京都の住、近時古刻書の世に珍重せらるゝに乘じ、古寫經の剩紙に唐代寫經の字樣を摸したる活字を以て、延喜十三年二月五日良峯衆樹刊之と署せる『文選』卷五殘缺一葉及大唐天祐二年秋九月八日餘杭龍興寺沙門光遠刊行と署せる『陶淵明歸去來辭』を僞造せしのみならず刊行年

贋造古刻書

延喜本文選、天祐本歸去來辭

代なき古經文の卷末に、天安二年十一月八日或は天德三年九月日等の文字を入木し、其他紺紙金泥經（顯無邊佛土功德經一卷卷末に奉寫千卷僧正眞辨とあるもの）古文書の類に至るまで贋造せるもの頗る多し、しかも其技巧妙を極め、一見よく其眞贋を判ずるを獲て大に喜び、唐世既に印行の擧ありとし、之を『簑喜廬叢書』中に收めて覆刻し、又某博士曾て天祐本『歸去來辭』を見て、其贋造なる事を悟らず、東洋學會雜誌上に之を援き、唐世はやく槧本流行の證となせしことあり、

○當時代開版書目錄

傳敎版　妙法蓮華經　七卷

同　仁王護國般若波羅蜜多經　一卷

此經後覆刻せしものあり其版式原版と異ならずたゞ唐人の序跋を缺くのみ

義眞點本　成唯識論

同　大智度論

妙法蓮華經、無量義經、觀普賢經

『本朝續文粹』實成卿爲家督追善願文に奉模寫墨字妙法蓮華經六十部無量義經觀普賢經各六十卷長久四年八月十三日とあり

妙法蓮華經　二ノ卷

承曆四年六月三十日點之畢

妙法蓮華經、無量義經、觀普賢經

『本朝續文粹』右府室家爲亡皇后被供養堂願文に奉摺寫墨字妙法蓮華經六十部無量義經觀普賢經各六十卷應德二年十二月二十二日とあり

成唯識論　十卷

興福伽藍學衆諸德爲興隆佛法利樂有情各加隨分融力課工人鏤唯識論一部十卷模寬治二年正月廿六日畢功願以此功德廻向諸群類往生內院問法信解證唯識性速成佛道

模工　僧　觀增

妙法蓮華經

『本朝續文粹』爲亡息隆兼朝臣四十九日願文に別奉模寫妙法蓮華經六部卅八卷開結二經各一卷康和四年六月廿日とあり

妙法蓮華經、無量義經、觀普賢經、阿彌陀經、般若心經

『本朝續文粹』前女御源朝臣爲亡息第三親王周忌願文に奉模寫素紙妙法蓮華經十四部無量義經觀普賢經阿彌陀經般若心經等各十四卷保安元年十一月廿八日とあり

妙法蓮華經、無量義經、觀普賢經、般若心經

『本朝續文粹』鳥羽院高野塔供養願文に奉摸寫色紙妙法蓮華經二十部無量義觀普賢般若心經各一卷大治二年十一月四日とあり

妙法蓮華經、無量義經、觀普賢經、阿彌陀經、般若心經

『兵範記』嘉應元年六月十七日の條に奉模寫素紙妙法蓮華經五十部觀普賢經五十卷阿彌陀經五十卷般若心經五十卷とあり

妙法蓮華經、無量義經、觀普賢經、阿彌陀經

『兵範記』久壽二年十月廿三日丁酉の條に奉模寫素紙妙法蓮華經一百部八百卷無量義經百卷觀普賢經百卷阿彌陀經百卷とあり

本願藥師經

『廣隆寺來由記』永万元年乙酉六月十三日御願文に奉書寫金泥本願藥師經一卷奉摺寫墨字同經一百卷とあり

○鎌倉時代

○佛書開版の儒書に先ちし原因○印刷術及裝潢の進歩○春日版――名稱の由來――廣義說――狹義說○現存最古の版木○儒書開版の濫觴○武人開版の濫觴○高野版――其特色○儒書開版の復活○貴族文學の僧侶に移りし一因○當時代開版書數錄○當時代刻現存古版木目錄

佛書開版の儒書に先ちし原因

世は移りて鎌倉時代となりしも、其初期に當りては平安朝の餘風を受けて、開版都鄙を通じて行はれしに拘らず、其梓行する所悉く佛書のみにして、未だ儒書開雕の盛運に到らず、蓋し往古の人、佛書を造る時は其功德によりて、一切の罪障消滅するのみならず來世の冥福ありと信じ、多く之を造るに從ひ其功德も亦隨て大なりとせしが故に、印刷術の興るや手寫に比して其勢力少きのみならず、一時に多數の佛書を造らるゝを以て忽ち之を利用し、若自己一人の力にて成し難き場合には、諸方を勸進して共同開版の便法により梓行をなせり、之に反して儒書開版には此功德をいふものなきのみならず、當時漢文學は貴族に獨占せられて下流に流布せ

印刷術及裝潢の進歩

春日版廣義説

ず、所謂博士家なるものありて讀解法を秘密に附し之を公にするを好まず、これ佛書開版の儒書に先ちし原因にして、學問の研究自由となり此迷信のやゝ屏息せし江戸時代に至るまで、佛書刊行の數亦儒書の上に在りし所以なり、

されば當時代に於ける初期の開版は、前時代と等しく佛書のみなれども、印刷術の進歩と共に其開版する所從來の如き小部のものゝみにあらず、『大般若波羅蜜多經』六百帖の如き大部の經文をも梓行するに至り、且其裝潢の如きも從來の卷子本以外に、折本、粘葉等新式のもの現るゝに至れり、而して當代開版者の先頭にして、盛に經文を刊行せしは南都の諸寺にして、後世所謂春日版とは是等の古刻經文を指示するものなり、

春日版の起由及其範圍に就きては、是を廣義に解するものと狹義に説くものとの二説あり、廣義説は曰く、春日版の名稱は近時好古者流が古刻書研究の當時、南都諸寺開版する所の古刻經文にして、刊行年月を記さざるもの多きを見、便宜上是等を總稱して、かの高野版、五山版等の名目あるに對しかく命名せしものなり、而して此春日版を印刷せし古版木は、南都

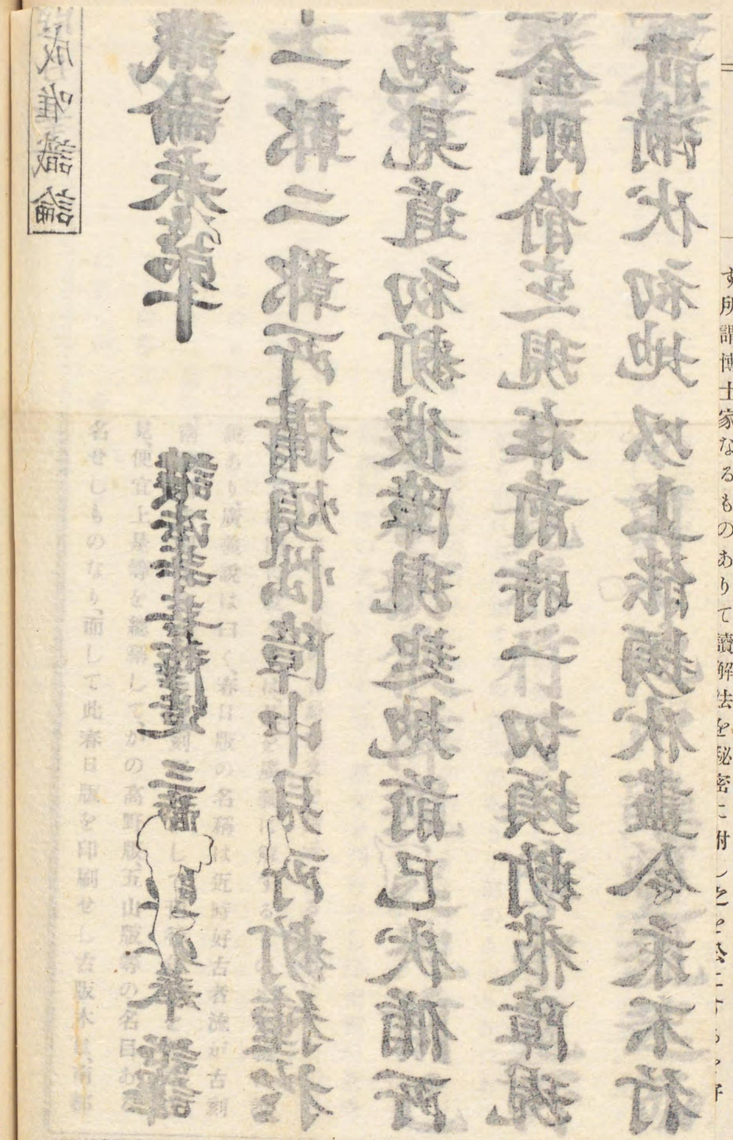
春日版成唯識論

成唯識論卷第

此十一軸二軸所構煩惱障中見所斷種於
極喜地見道初斷彼障現起地前已伏俙所
斷種金剛喻定現在前時一切頓斷彼障現
起地前漸伏初地以上漸伏盡令永不行
如阿羅漢由故意力前七地中雖數現起而
不爲失入地以上畢竟不行所知障中見所
斷種於極喜地見道初斷彼障現起地前已

護法等菩薩造　三藏　玄奘奉　詔譯

ず、所謂博士家なるものありて讀解法を秘密に付



狹義說

興福寺を始め諸寺に現存せるもの頗る多し、是等古版木の多くは、毎版面の右隅に年代、寺名或は施主、彫手の姓名を隱文に彫刻し、本文と齊しき陽文の奥書あるもの甚だ少なし、此隱文は印刷の際、紙面に摺込まれざるを以て、春日版の多くは年月を記せる奥書の稀なる所以なりと、狹義說は曰く、春日版とは當時代の初期、春日社附屬の彫刻僧の作りしもの、或は其系統を引けるものにして、稿字蒼古、紙質、墨色共に精良なるものを指す、而して其名稱は春日社に關係ありしと、建仁元年刊『成唯識論』の奥書に「爲報春日四所之神恩、承久三年刊『成唯識論』の奥書に久惜春日靈威光とあるに起由せるものなるべし、もし當時代より江戸時代に至るまで隆盛を極めし南都諸寺に於て開版せし所の古經を總稱せんには、是を南都版とも呼ぶべく、春日版は其中の一種優秀なるものと見るを可とすと、

思ふに春日版の名稱は維新以前の諸書に見えず、近時好事家等の私稱なるべし、由來南都諸寺に於ける開版は、平安朝に發し江戸時代に至るまで續々絕えず、殊に後世四方を勸進して古版木により再摺三摺をなせるもの頗る多し、此中自から二種の別あり、一は其版式整然として文字亦適

高野版御請來目錄 正安四年刊

爲酬四恩廣德興三寶妙道寫大師 御筆

謹閉印校矣

正安四年十一月廿日高野山愚老沙門慶賢八十二

高野版大日經疏 建治三年刊

大毗盧遮那成佛經疏卷第一

建治三年丁丑四月廿四日於金剛峯寺信敬書

現存最古の版木

儒書開版の濫觴

勁紙質精良にして墨色絶佳なるもの、一は之に反して極めて蕪雜なるものなり、前者は多く鎌倉時代の開版に屬し、後者は多く室町時代の開版に屬す、而して現今好古者流が特に春日版と稱して珍藏せるものを見るに、悉く前者にして後者は捨て顧ず、されば其起由説の當否は姑く措き、もし古刻書として春日版の特色及其範圍を問ふものあれば、予は狹義説を以て之に答ふるに躊躇せざるものなり、

南都諸寺に藏せらるゝ所の古版木中、興福寺北圓堂に現存せる『成唯識論述記』の版木は、建久六年の彫刻にかゝる、實に現存古刻版木中最古のものといふべし、

神護景雲勅願の陀羅尼を距る事約五百年、寶治元年に至り『論語集註』十卷開版せらる、宋槧本覆刻にして陋巷子の梓行する所、我國儒書開版の濫觴といふべし、梓者陋巷子何人なるか詳ならずと雖も、當時支那の摺本頗る尊重せられて千金なほ換へ難く、且開版に困難なる時に當りて、獨力之を覆刻して世に流布せしむ、其名は陋巷子なりと雖も、實は貴族の最優者にあらずんば成し得べき事にあらざるなり、惜哉此擧に繼ぐものなく

高野版御請來目錄正安四年刊

爲酬四恩廣德興三寶妙道寫大師 御筆

謹開卬板矣

正安四年十一月廿日高野山愚老沙門慶賢八十二

高野版大日經疏建治三年刊

大毗盧遮那成佛經疏卷第一

建治三年丁丑五月四日於金剛峯寺信玄書

当續三寶慧命於三會之出世

廣施一善利益於一切之衆生

是則守大師之遺誡倫令遂

小臣之心願謹以開卬板矣

建治三年丁丑八月日

從五位上行秋田城介藤原朝臣

儒書開版の濫觴

神護景雲勅願の陀羅尼を距る事約五百年、寶治元年に至り『論語集註』十巻開版せらる、宋槧本覆刻にして陋巷子の梓行する所、我國儒書開版の濫觴といふべし、梓者陋巷子何人なるか詳ならずと雖も、當時支那の摺本頗る尊重せられて千金なほ換へ難く、且開版に困難なる時に當りて、獨力之を覆刻して世に流布せしむ、其名は陋巷子なりと雖も、實は貴族の最優者にあらずんば成し得べき事にあらざるなり、惜哉此擧に繼ぐものなく

武人開版の濫觴

高野版及其特色

儒書開版の復活

貴族文學の僧侶に移りし一因

元亨に至るまで中絶し、開版又悉く佛書のみとなりし事を、然れども其開梓者は從來の如く佛者のみにとゞまらず、鎌倉將軍を始め、秋田城之介藤原泰盛前越前守藤原親盛等亦此擧あり、これ武人開版の濫觴にして、室町時代に入ると共に盛に流行を極むるに至れり、

此期間開版の最も盛なりしは弘安年間にして、金剛峯寺梓行のもの頗る多し、後世所謂高野版なるもの即ちこれなり、高野版の特色を擧ぐれば、其開版書籍の內容は殆ど密敎に關するものゝみにして、其裝潢の多くは粘葉の制を採り、鳥の子の如き厚紙に表裏共に印刷したるにあり、是等の古版木は永正十八年二月十二日西院より失火の際多く烏有に歸せし事『高野山燒失記』に見えたり、

寶治以降久しく中絶せし儒書開版の業は元亨二年に至り佛者素慶によりて復活せらる、即ち『古文尙書孔氏傳』十三卷にして宋槧本を飜刻せるものなり、其跋文に儒以知道釋以助才の句あり、儒佛の融和を示せるものにして、所謂五山文學の基因ともいふべく、從來貴族の手に獨占せられし文學の終に僧侶の手に移りしは開版てふ利器亦與て力ありしや必せり、

○當時代開版書跋錄

選擇本願念佛集　二冊

此書序跋及刊行年代なしと雖も建久九年の開版にかゝる印書考に著者自筆刻の原本といひ古刻書跋に其摸刻を載せ原版と稱せしもの即これ也

成唯識論　十卷

爲報春日四所之神恩敬彫唯識十軸之論模爲聖朝安穩天下泰平興隆佛法利益有情矣建仁元年八月十三日始之至同二年六月廿日終其功畢施入沙門要弘往生要集　三帖

承元四年四月八日刻彫畢願主大法師實眼勵微力於自心拋財寶於佛界迄功于一百枚但此模者先年之比有聖人勸進十方刻彫之於此所不慮之外逢失火燒失畢仍以自力刻之偏是爲四恩七世無緣法界成佛得道也

新彫選擇本願念佛集　二冊

序藏人頭從三位行左大辨兼兵部卿平朝臣基親

夫以專稱南謨之敎門者直至西刹之要路也不但釋迦金口之宣亦爲彌陀素意之願二日三日執持名號之證諸佛舒舌十聲一聲必得往生之義衆生銘肝爰吾大師空和尙有一軸文集之書號選擇本願念佛集誠是渡苦海之通津亦爲照長夜之靈光人無三學橫截四流弘願密意斯彰佛以一行普濟萬機大悲本懷方暢隨犯隨懺之行誰非我分易修往之法須仰他力不入此門安到彼岸我等何幸遇斯靈典萬劫一聞寧惜身

命雖然祕密壇行人可閣之定慧優備凝即身之觀也大小乘學者難操之戒聞精進愛隨心之法也惟於願生念佛之衆生者道俗貴賤誰不歸者喜哉天祐神護濁世之法潤否命早通時哉君感臣悅淨土之宗敎嘉運大啓因玆雖知埋壁之誡還貽彫版之印於戲玄元聖祖五千言令尹早著上下之典選擇本願十六章門徒將得摺寫之益思德之志古今惟同者歟于時辛未之歲建子之月聊勒意樹遙傳來葉云爾

瑜伽師地論　百卷

跋文ハ建長元年大法師尭心再摺ノ條ニアリ

梵網經盧舍那佛說菩薩心地戒品　一卷

校合太子御本彫此經了

承久二年庚辰四月日佛子乘願當悲母十三年自力不堪故勸進有緣衆終此功者也願結緣人爲始不漏一切衆生令至無上妙果矣

成唯識論　十卷

沙門弘睿蒙滿寺衆命造唯識論模矣

承久辛巳初秋下旬彫刻功畢

願繼應理宗法命　久惜春日靈威光遠生有情類慧解　皆共必得龍華益

大般若波羅蜜多經　六百卷

奉爲慶圓上人滅罪生善彫刻當卷資彼菩提矣

貞應二年三月廿九日　佛子貞榮

佛母大孔雀明王經　三卷

貞應三年甲申初秋之比爲果宿慮之善懷

既彫刻之微力而已

願主　權僧正法印大和尚位覺敎

經生　阿闍梨大法師　禪海

彫手　大法師　實永

般若波羅蜜多心經幽贊　二卷

貞應三年甲申正月十五日爲助先師眞歸上人餘業敬彫模畢兼以此功令故權大僧都重信蕩流轉妄執趣菩提正道及自他群類同開眞解矣

願主　性如

大般若波羅蜜多經　六百卷

加茂神宮寺舊藏也爲沙彌政阿彌奉雕供養親父安倍時次君

嘉祿元年乙酉九月一日

大般若波羅蜜多經　六百卷

爲先師成遍出雛脫門弟合力敬奉雕當卷模畢

于時嘉祿三年丁亥三月九日釋永全記之

又願以此善普及自他生々世々開發智慧修學佛法展轉敎授爲世燈明五十七億六萬歲間見佛聞法因緣純熟大聖慈尊成道之時親近奉仕發菩提心塵刹之中修習般若四恩法界同證佛道

嘉祿三年丁亥三月廿六日當慈父一周忌辰奉彫當卷畢　釋範眞敬白

般若波羅蜜多心經幽贊添改科

京齊等諸大法師先製滂陽比丘　守千添改

寬喜三年辛卯十月日依慈母禪尼性如之遺言敬彫此模於廻向者併任幽靈所願也

大乘本生心地觀經　八卷

願主　藤原氏女

天福元年九月六日爲二親師匠出離生死證得菩提及以法界平等利益敬彫令一部八軸模矣

願主　佛子成玄

阿彌陀經　一卷

嘉禎二年丙申七月十六日始之

同　歲八月十七日畢　願主安那定親

梵網經菩薩戒經　一帖

嘉禎丙申八月十九日

於上野國新田莊長樂寺彫模竟

勸進　比丘隆圓

妙法蓮華經觀世音菩薩普門品　一卷

嘉禎二年丙申九月十八日始十一月廿三日畢

但爲法界衆生幷父母也　願主出羽氏

金剛壽命陀羅尼經　一卷

嘉禎三年丁酉五月廿一日　願主　定親

選擇本願念佛集　二冊

延應第一之曆沽洗第六之天校根源正本直展轉錯謬即寫印字用令流布矣

四分律比丘戒本疏　三帖

寬元二年甲辰八月十五日

勸進沙門行算開板

安樂集　二卷

斯集一部就現行本開彫刻印唯爲通淨敎沾蒼生也但虎唐之謬魚魯難詳正本流傳後昆删定庶使乃至一聞之類同結九品之緣而已

寬元三年乙巳仲秋日　願主比丘往成

比丘六物圖

寬元四年十月初一日　　寓泉湧小比丘道玄謹題

論語集註　十卷

頃得婺刻宋大儒紫陽先生論語集註十卷驚動刻以餉好古君子

寶治元年丁未五月　　陋巷子謹跋

上宮王法華義疏　四冊

上宮太子御草本在法隆寺校彼本彫此模畢

寶治元年丁未十月　日

往生拾因　二帖

此十因者爲刻彫印字寫作者草本一點一畫敢莫取捨唯仰先師之筆跡擬備結緣之指南矣

寶治二年戊申仲春日　　願主比丘往成

梵網經盧舍那佛說心地法門品菩薩戒本

此經廣文留在印土心地一品纔傳此方人知有緣無不學者是故受戒說戒偏用此文自行化他實多利益因茲爲令廣流諸方遠傳來際普勸四部衆敬開一卷板即施入泉涌律塲以擬衆生福田願以此功德普及於一切自他同成菩薩戒行怨親悉登舍那覺位寶治戊申極月既望入宋比丘塔海謹記

瑜伽師地論　百卷

沙門弘濟依專心上人命勸都鄙貴賤類奉彫瑜伽論一部模于時建曆癸酉終功矣願以作模所生福　令法久住利有情主伴勸進結緣衆　共生知足終成佛願以摺寫功　　值遇大明神

生々學佛法　廣度諸衆生

建長元年七月五日　願主大法師堯心

釋淨土群疑論　七帖

建長二年庚戌季夏日　願主　比丘往成

選擇本願念佛集　二冊

淨土敎門解脫詮　今開板印弘流傳廻施尊儀及群類　順次同生九品蓮

建長三年七月　日　願主入阿彌陁佛

三敎指歸　三卷

酬四恩之廣德與三寶之妙道此吾願也云云仍謹開印板矣

建長六年甲寅正月　日　　金剛峯寺阿闍梨快賢

秘藏寶鑰　三帖

建長六年甲寅正月　日　　金剛峯寺阿闍梨快賢

秘密曼荼羅十住心論　十帖

酬四恩之廣德與三寶之妙道此吾願也云云仍謹開印板矣

建長六年甲寅又五月　日　　金剛峯寺阿闍梨快賢

又

與三寶之妙道酬四恩之廣德此吾願也云云仍守高祖遺誡謹開印板矣

建長七年乙卯臘月之日

高野山檢校執行法橋上人位實眞

（第三卷ハ阿闍梨與實第四卷ハ入寺覺能第七卷ハ金剛峯寺法辨ノ開版ナリ）

釋摩訶衍論　十帖

窃窺鑽仰之窓徒疲書寫之勞既踈于諳誦之業因茲且奉守高祖之遺誡且爲末學之稽古謹開印板敬報祖德

建長八年二月　日　　高野山金剛佛子快賢

三論玄義　一帖

爲弘破邪顯正宗　新遂開板彫文功

早耀八不正觀月　速拂三界迷倫霧

于時建長八年丁巳三月七日沙門聖守

遍照發揮性靈集　七帖

卷之一

酬四恩之廣德與三寶之妙導者是吾願也

云々同玆忝仰高祖之遺誡敬開製作之模

範而已

正嘉二年戊午十月三日　　高野山佛子快賢

卷之二、三

酬四恩之廣德與三寶之妙道此吾願也云

云仍勸與力於十方開模範於万代而已

正嘉二年戊午十二月三日　　勸進　高野山快賢

勝鬘獅子孔一乘大方便方廣經　一卷

文永三年丙寅四月日彫之　　菩提寺比丘證圓

維摩詰經　三卷

開壹卷印板　顯大乘幽深　與三寶妙道

酬四種鴻恩　老妣幷師弟　衆生及我心

願共出夢野　悉皆入覺林

于時文永四年歲次丁卯三月七日

東大寺眞言院住持沙門聖守

又

文永四季歲次丁卯四月九日

於東大寺敬寫之　筆師膽惠

大乘入道次第　一卷

夫此章者殊開出之戶牖正亦入道之階級

行人之目足能詮之肝心也所以年來雖發

刊印板弘遐邇之願齋唉常空一鉢之中資

貯全絕三衣之外因玆徒抱流通志米及彫

刊營之處幸蒙一乘院家之厚助忽遂多年

惻隱之本望偏是冥感之所致也請願採手

觸眼同益本性之種讀文解義速成菩提之

果而已

文永八年辛未三月　日　　願主　西大寺沙門叡尊

佛說如意虛空藏菩薩陀羅尼經　一帖

于時文永十年癸酉九月十三日願主

下總國千葉庄堀籠住人沙門道忍

奉彫此經施入法輪寺祈二世利三

有矣

續遍照發揮性靈集　三帖

爲報佛恩□德謹開印板傳之末葉矣

建治三年正月　日　　佛子慶賢

御請來目錄　一冊

建治三年七月廿八日　　於金剛峯寺信藝書之

大佛頂首楞嚴經會解　十帖

弘安元年戊寅中秋日　開板

金剛頂一切如來眞實攝大乘顯證大敎王經

三卷

弘安二年三月　日　開板

大毗盧舍那成佛經疏　二十帖

卷一

建治三年丁丑五月四日於金剛峯寺信藝書

爲續三寶慧命於三會之出世廣施一善利

益於一切之衆生是則守大師之遺誡倫令

遂小臣之心願謹以開印板矣

建治三年丁丑八月　日

從五位上行秋田城介藤原朝臣

卷十　弘安元年戊寅八月三日於金剛峯寺信藝書

卷十九　弘安二年四月於金剛峯寺信藝書

卷二十　建治三年丁丑十一月十九日於金剛峯寺信藝書

又

大經疏一部廿卷招學侶十許輩廣考覈其文字於是願主尊閣啓　仁和寺二品大王賜證本兩帙兼得當山中院明算闍梨書本今彼兩本以爲准的若猶致有疑則間披諸本審決差當第九疏翻梵文博吃又義援字諸本有異魚魯難辯第十二疏引線定方位拼字可用絣歟加之庵註相濫廻文紛綸並用證本不得自由又至文字作者以切韻及玉篇所勘載也但融字則獨載和書猶指當疏亦復准多本此例稍非一依深謹愼之思不顯加顯之功者也

弘安元年十一月十一日　　金剛佛子良和記之

弘安二年四月廿三日　　於金剛峯寺信藝書

爲續三寶慧命於三會之出世廣施一善利益於一切之衆生是則守大師之遺誡偷令遂小生之心願謹以開印板矣

弘安二年己卯四月　日　　權少僧都能海

從五位上行秋田城介藤原朝臣泰盛

大毗盧遮那成佛神變加持經　七帖

弘安二年己卯六月廿七日於金剛峯寺書訖　　權少僧都能海

秘密曼荼羅教付法傳

弘安二年己卯仲秋候爲紹隆密教自書開印板矣　　權少僧都能海

稱讚淨土佛攝受經　一帖

弘安三年庚辰六月十五日爲末代弘通以本願御眞筆所奉模寫也　　勸進　西方行者昌觀

大毗盧遮那經供養次第法疏　二帖

弘安二年十二月五日於金剛峯寺信藝書

弘安三年庚辰七月日開板

從五位上行秋田城介藤原朝臣泰盛

又一本

上卷　弘安三年三月廿一日於金剛峯寺信藝書

下卷　弘安二年十二月五日於金剛峯寺信藝書

蘇悉地羯羅經　三帖

弘安三年庚辰四月九日於關東明王院草庵書訖　　權少僧都能海

弘安三年庚辰八月日開板

從五位上行秋田城介藤原朝臣泰盛悉曇字記　一帖

弘安三年四月一日於金剛峯寺信藝書

弘安三年庚辰十一月日開板

從五位上行秋田城介藤原朝臣泰盛安樂集　二卷

彼往成所雕刻之板凉燠推移字點盡消爰悟阿數嘆摺寫之云絕強抽弘通之懇志之間續前願主之蹤開斯印板之文願酬上下一部勸進之功將成貴賤諸人引導之誠而已

弘安三年庚辰四月　日　　佛子悟阿

釋摩訶衍論抄　四卷